

# アーツカウンシル東京

## 平成27年度事業報告書

---

# アーツカウンシル東京

## 平成27年度事業報告書

---



# 目次

■アーツカウンシル東京の役割と事業展開	4	31 AKITEN	115
■平成27年度の活動を振り返って	6	32 トッピングイースト	117
<b>I. 芸術文化支援事業</b>			
01 東京芸術文化創造発信助成／東京地域芸術文化助成／芸術文化による社会支援助成	23	33 TOKYO FABBERS	120
02 フェスティバル/トーキョー 15	27	34 三原色〔ミハライロ〕	122
03 上野「文化の社」新構想	30	35 リライトプロジェクト	124
04 タレンツ・トーキョー 2015	32	36 東京迂回路研究	126
<b>II. 芸術文化創造・発信事業</b>			
05 伝統芸能公演	33	37 東京スーパとブランケット紀行	128
06 子供のための伝統文化・芸能体験事業	35	38 隅田川ルネサンス事業 「ピクニック形式パフォーマンス公演 《威風DoDo》」	130
07 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム	37	39 東京都による芸術文化を活用した 被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo	131
08 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	39	<b>2020年に向けたリーディング・プロジェクト</b>	
09 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2015	40	40 東京キャラバン	133
10 東京大茶会 2015	41	41 TURN	135
11 キッズ伝統芸能体験	42	<b>III. 人材育成事業</b>	
12 Music Program TOKYO	46	42 アーツアカデミー	137
13 プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	53	43 Tokyo Art Research Lab	138
14 アンサンブルズ東京	56	<b>IV. 国際ネットワーク事業</b>	
15 ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭2015連携事業	57	44 アーツカウンシル・フォーラム/ オープンフォーラム	142
16 六本木アートナイト2015	59	<b>V. 企画戦略事業</b>	
17 東京アートミーティング	63	45 企画戦略事業	143
18 第8回恵比寿映像祭	65	46 広報活動	144
19 Museum Start あいうえの	67		
20 芸劇セレクション	71		
21 パフォーマンスキッズ・トーキョー	73		
22 TACT/FESTIVAL 2015	76		
23 Shibuya StreetDance Week 2015	77		
<b>東京アートポイント計画</b>			
24 TERATOTERA	96		
25 小金井アートフル・アクション!	99		
26 としまアートステーション構想	101		
27 アートアクセスあだち 音まち千住の縁	105		
28 長島確のつくりにかた研究所: だれかのみたゆめ	111		
29 汐入タワープログラム	112		
30 Art Bridge Institute	113		

# アーツカウンシル東京の役割と事業展開

**世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。**

アーツカウンシル東京では、新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組み、東京の文化を創造・発信しています。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに向けて、先導的役割を担うプロジェクトを展開しています。

## 設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。

2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献します。

3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点に立ち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

## I. 芸術文化支援事業

東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、東京の芸術文化の創造と発信、芸術創造環境の向上に資する活動を行う団体に対する助成・支援を実施します。

### 助成

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。また、対象事業の評価等をふまえ、現場ニーズに応じた効果的な助成システムを整えています。平成27年度には、地域の芸術活動や様々な人々が芸術に触れることができるプロジェクトへの助成など、新たな助成プログラムを開始しました。

### 活動支援

アニメや映像、テクノロジーアートなどの創造活動を支援します。主なプログラムとして、アジア各国の若い映画人を支援し、東京の創造環境の向上を目指します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの展開も視野に入れ、東京の多彩な文化的特色をもった地域の活動を支援することで、東京の都市としての多様性や魅力の向上につなげます。

## II. 芸術文化創造・発信事業

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、演劇、音楽、美術・映像等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信しています。

### フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、演劇、舞踊、音楽、美術・映像等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や、子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

### 文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域・市民が参画するアートプロジェクトを通じて、東京の多様な魅力を創造・発信することを目指しています。

まちなかにある様々な地域資源を結ぶアートプロジェクトを、アーティストと市民が協働して実施・展開することで、継続的な活動を可能にするプラットフォームを形成し、地域社会の担い手となるNPOを育成します。

#### **東京の文化力による震災からの復興**

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災、被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

#### **リーディング・プロジェクト**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムの先導的役割を果たす、多彩な人材・文化資源を活用した大規模なリーディング・プロジェクトを東京都とともに実施します。

### **Ⅲ. 人材育成事業**

世界をリードし、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成しています。

#### **アーツアカデミー**

若手制作者や研究者に、助成プログラム等の調査を委託し、東京都の文化政策や助成制度、芸術文化活動の評価のあり方について知見を深め、公的機関等で活躍する人材を育成することを目的とした事業です。この他、東京芸術劇場でのOJTプログラムも実施しています。

#### **Tokyo Art Research Lab (TARL)**

アートプロジェクトを実践する人々にひらき、共につくりあげるプログラムです。現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行うことで、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指します。

### **Ⅳ. 国際ネットワーク事業**

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていきます。

### **Ⅴ. 企画戦略事業**

東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力及びアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信しています。

# 平成27年度の活動を振り返って

アーツカウンシル東京は、東京都の文化政策実現の中核的役割を果たすため、本年度より東京文化発信プロジェクト室をアーツカウンシル東京に移管し、統合した組織となりました。両組織が従前行ってきた事業に、新たな事業を加えて再編整理し、芸術文化支援事業と芸術文化創造・発信事業に大きく区分しました。

柱の一つ、芸術文化支援事業では、これまでの「東京芸術文化創造発信助成」に加え、新たに「東京地域芸術文化助成」と「芸術文化による社会支援助成」を開始しました。

「東京地域芸術文化助成」では、多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域が取り組む芸術文化活動の支援を行い、「芸術文化による社会支援助成」は、社会に向けて新しい価値を提示する創造的で多様性のある芸術活動の支援を通し、あらゆる人々が芸術文化を享受できる社会基盤の構築を目指しました。また、助成金だけでなく、文化拠点の魅力向上に資する、上野「文化の杜」新構想の事業支援に着手しました。

もう一つの柱である、芸術文化創造・発信事業では、東京2020大会に向けた文化プログラムを先導する取り組みである「リーディング・プロジェクト」がスタートしました。演出家・野田秀樹さんの発案による「東京キャラバン」では、「文化混流」をテーマに時代や地域を横断する表現が展開されました。また、アーティスト・日比野克彦さんの監修による「TURN」は、福祉や教育、社会の課題に取り組む施設・団体等とアーティストとの対話を軸とした様々な表現活動を行いました。

また、伝統芸能の分野では新たに、外国人旅行者や学校で子供たちが伝統文化、芸能を体験することにより、理解を深める事業を実施し、好評を得ました。

その他、多くの方が参加できる屋外空間を使った取り組みを新たに行いました。音楽家・大友良英さんのディレクションによる「アンサンブルズ東京」では、観客と出演者の間の壁を取り除き、相互に創る新たな音楽祭がスタートしました。さらに、ストリートダンスの聖地である「渋谷」にフォーカスした「Shibuya StreetDance Week」では、海外でも高い評価を得ている東京のストリートダンスを、様々な切り口で紹介しました。

一方、「東京アートポイント計画」では、NPOや基礎自治体と協働した事業を都内各地で展開しました。中でも、東日本大震災以降、その灯を消し続けていた現代美術家・宮島達男さんによるパブリックアート作品「Counter Void」（六本木けやき坂）を5年ぶりに再点灯させた「リライトプロジェクト」は、災害を芸術文化、市民とアーティスト、など社会の様々な関係性を再構築していく必然を感じさせる事業でした。

また、未来へ向けた取り組みとして、プログラムオフィサーや劇場スタッフの養成を見据えた実践的な事業「アーツアカデミー」とアートプロジェクトの現場を担うNPOの人材を育成することを目途とした「思考と技術と対話の学校」を人材育成事業として体系化しました。

さらに、芸術文化に関する知見を共有し、東京の推進力としての位置付けを明確にしていくため、調査研究活動や国際的なネットワークの構築、様々なメディアを活用した広報活動にも取り組みました。

1年を振り返って、一連の事業が目指すのは、社会のシステムとして芸術文化が持つ力をもっと発揮できるようにすることです。多様性に富んだ営みとしての芸術文化は、それ自体が豊かな人間性を育み、人々が相互に理解しあえる社会を形成する基盤となるものです。こうした認識のもとに事業を実施していくことで、東京の活力が高まり魅力が増すと考えています。今後の展開にご理解とご協力をお願いいたします。

公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京  
機構長

三好勝則

## フェスティバル/トーキョー 15



フェスティバルFUKUSHIMA!

▶ 詳細p.27



ブルーシート

▶ 詳細p.27



God Bless Baseball

▶ 詳細p.27



ゾンビオペラ

▶ 詳細p.27

## タレンツ・トーキョー2015



© TOKYO FILMeX

▶ 詳細p.32



© TOKYO FILMeX

▶ 詳細p.32

## ≡ 伝統芸能公演



日本美と伝統芸能の饗宴～FUJIYAMA～  
日本舞踊「八合目」

▶ 詳細 p.33



古典芸能の祭典 アジアの記憶 日本の宝  
半能「石橋 大獅子」

▶ 詳細 p.33



江戸系あやつり人形の世界 ～女形人形の美～  
伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の場

▶ 詳細 p.33



神楽坂を楽しむ 神楽坂で楽しむ  
能「絵馬」(半能)

▶ 詳細 p.33



多摩川流域郷土芸能フェスティバル (第16回)  
狛江市「おはやし」

▶ 詳細 p.33



大江戸寄席と花街のおどり その五

▶ 詳細 p.33

## ≡ 子供のための伝統文化・芸能体験事業



紙切り

▶ 詳細p.35



箏

▶ 詳細 p.35

## ≡ 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム



演芸

▶ 詳細p.37



日本舞踊

▶ 詳細 p.37

## ≡ 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム



Noh Theater : Beyond Words, Beyond Borders  
能 ～ことばを超えて、世界へ向けて～  
公演の様子

▶ 詳細p.39



Let's All Enjoy the World of Nihon Buyo  
みんなで楽しむ日本舞踊の世界  
体験の様子

▶ 詳細 p.39

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2015



神楽坂タイムスリップ スタンプラリー・歴史ガイド ▶詳細p.40



神楽坂楽座講釈場 神田きらり ▶詳細p.40



神楽坂芸能めぐり 街角ライブ 丸一仙翁社中 ▶詳細p.40



神楽坂路上界限 新内流し 鶴賀若狭掾一門 ▶詳細p.40



店めぐり・古典芸能ライブ シリル・コピーニ ▶詳細p.40



覗いてみようお座敷遊び ▶詳細p.40

# 東京大茶会 2015



浜離宮恩賜庭園（茶席／中島の御茶屋）

▶ 詳細 p.41



浜離宮恩賜庭園（野点／中の橋袂）

▶ 詳細 p.41



浜離宮恩賜庭園（イングリッシュ野点／中の橋袂）

▶ 詳細 p.41



浜離宮恩賜庭園（高校生野点／中の橋袂）

▶ 詳細 p.41



江戸東京たてももの園（野点／伊達家の門前）

▶ 詳細 p.41



江戸東京たてももの園（子供のための茶道教室／万徳旅館） ▶ 詳細 p.41

## キッズ伝統芸能体験



長期プログラム お稽古 (篠笛)

[▶ 詳細p.42](#)



長期プログラム お稽古 (三味線)

[▶ 詳細p.42](#)



長期プログラム お稽古 (日本舞踊)

[▶ 詳細p.42](#)



長期プログラム 発表会 (箏曲／浅草公会堂)

[▶ 詳細p.42](#)



長期プログラム 発表会 (日本舞踊／浅草公会堂)

[▶ 詳細p.42](#)



長期プログラム 発表会 (狂言／宝生能楽堂)

[▶ 詳細p.42](#)

# Music Program TOKYO



小曽根真 & ブランフォード・マルサリス  
"Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団  
©青柳聡

▶ 詳細 p.46



プラチナ・シリーズ 第1回 タンブッコ  
©青柳聡

▶ 詳細 p.46



まちなかコンサート Vol.1 シネマ・セレナーデ  
©ヒダキトモコ

▶ 詳細 p.46



まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ  
東京国立博物館  
©ヒダキトモコ

▶ 詳細 p.46



ムジカ・ピッコラ

▶ 詳細 p.46



ワークショップ・コンサート  
©Mino Inoue

▶ 詳細 p.46

## プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～



ソプラノを交えた室内楽公演（奥多摩町公演）

[▶ 詳細 p.53](#)



木管五重奏による室内楽公演（瑞穂町公演）

[▶ 詳細 p.53](#)



地元中学生との共演（檜原村公演）

[▶ 詳細 p.53](#)



オーケストラ公演の様子①（小平公演）

[▶ 詳細 p.53](#)



オーケストラ公演の様子②（小金井公演）

[▶ 詳細 p.53](#)



指揮体験コーナーの様子（小金井公演）

[▶ 詳細 p.53](#)

# アンサンブルズ東京



プロジェクトFUKUSHIMA!による大風呂敷アート [▶ 詳細p.56](#)



会場の様子 [▶ 詳細p.56](#)



一般参加者とアーティストの共演① [▶ 詳細p.56](#)



一般参加者とアーティストの共演② [▶ 詳細p.56](#)

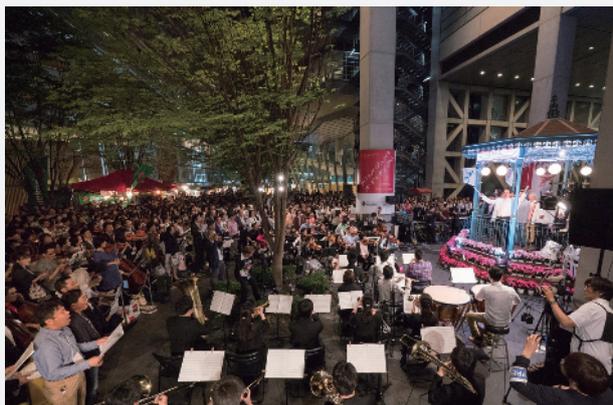


芸術監督 大友良英 [▶ 詳細p.56](#)



東京駅前 行幸通り [▶ 詳細p.56](#)

# ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2015連携事業



みんなでハレルヤ  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57



熱狂のプレナイト  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57



地上広場キオスクコンサート  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57



展示ホールキオスクコンサート  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57



こどもたちの音楽アトリエ  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57



マスタークラス  
撮影：teamMiura

▶ 詳細p.57

## 六本木アートナイト2015



六本木ヒルズアリーナの様子  
©六本木アートナイト実行委員会

▶ 詳細 p.59

## 東京アートミーティング



サーダン・アフィフ《Her Ghost Friend スリー・トーキョー・セッションズ》2015年  
撮影：森田兼次

▶ 詳細 p.63



スーパーフレックス《フラッグシップ・シェルター》2015年  
撮影：森田兼次

▶ 詳細 p.63



YMO + 宮沢章夫 展示風景  
撮影：森田兼次

▶ 詳細 p.63



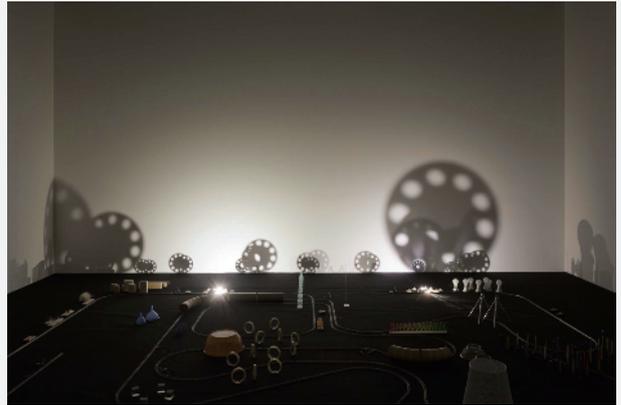
蛭川実花《TOKYO INNOCENCE》2013-2015年  
撮影：森田兼次

▶ 詳細 p.63

## 第8回恵比寿映像祭



中谷英二子《霧の庭“ルイジアナのために”》2016年  
第8回恵比寿映像祭 オフサイト展示より  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明



クワクボリョウタ《風景と映像》2016年  
第8回恵比寿映像祭 展示より  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明



動いている庭—パフォーマンス編：平井優子+山内  
朋樹+古舘健《猿媢-The face of strangers- Hybrid  
version》  
第8回恵比寿映像祭 イベントより  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明



ベン・ラッセル 映像パフォーマンスより《われわれ  
が享受している素晴らしいもの》+スペシャル上映  
第8回恵比寿映像祭 上映より  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明



銅金裕司《シルトの岸边あるいは動く庭》2016年  
第8回恵比寿映像祭 展示より  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明



JODI《GEOGOO》2009-2012年  
第8回恵比寿映像祭 展示より  
© TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM  
撮影：新井孝明

## ≡ Museum Start あいうえの



学校向けプログラム「スペシャル・マンデー・コース」  
(東京都美術館) [▶ 詳細p.67](#)



学校プログラム「平日開館コース」  
(国立西洋美術館) [▶ 詳細p.67](#)



先生のための特別研修会「ティーチャーズ・カフェ」  
(東京都美術館) [▶ 詳細p.67](#)



個人向けプログラム「放課後のミュージアム」  
(東京国立博物館) [▶ 詳細p.67](#)



個人向けプログラム「キュッパ部」  
(東京藝術大学大学美術館) [▶ 詳細p.67](#)



個人向けプログラム「あいうえの冒険隊」  
(東京文化会館) [▶ 詳細p.67](#)

## 芸劇セレクション



『障子の国のティンカーベル』  
撮影：引地信彦

▶ 詳細p.71



『書を捨てよ町へ出よう』  
撮影：江森康之

▶ 詳細p.71



ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場  
『ガリバー旅行記』

▶ 詳細p.71



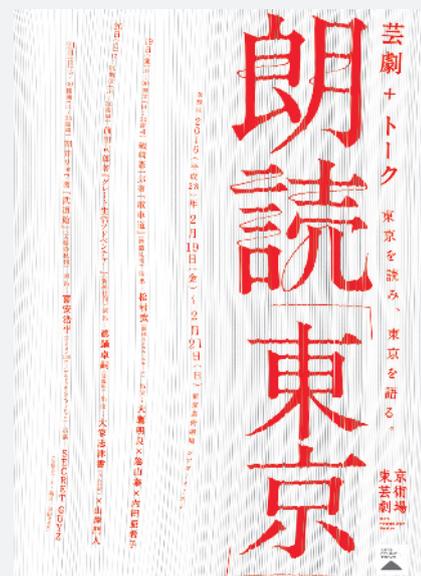
ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場  
『オイディプス』

▶ 詳細p.71



「カントールと演劇の二十世紀」  
撮影：Jacek Maria Stoklosa.  
This picture is a part of  
Tadeusz Kantor exhibition at  
Cricoteka

▶ 詳細p.71



『朗読「東京」』

▶ 詳細p.71

## パフォーマンスキッズ・トーキョー



三鷹市公会堂 発表公演  
(アーティスト 鈴木ユキオ) ©松本和幸

▶ 詳細 p.73



くにたち市民芸術小ホール 発表公演  
(アーティスト 平原慎太郎) ©Haru

▶ 詳細 p.73



IMA ホール 発表公演  
(アーティスト 青木尚哉) ©松本和幸

▶ 詳細 p.73

## TACT/FESTIVAL 2015



ジョゼ・モンタルヴォ 『アサニシマサ〜魔法の呪文』  
撮影：Patrick Berger

▶ 詳細 p.76



クレール・リュファン 『眠れない……L'insomnante』  
撮影：Vincent Beaume

▶ 詳細 p.76



劇団コープス 『ひつじ』  
撮影：Gary Mulcahey

▶ 詳細 p.76

# Shibuya StreetDance Week 2015



SSDW CONTEST  
©HAMA SHOW

▶ 詳細 p.77



SSDW CONTEST  
©HAMA SHOW

▶ 詳細 p.77



DANCE WITH music  
©HAMA SHOW

▶ 詳細 p.77



A Frame  
©Tadamasa Iguchi

▶ 詳細 p.77



Lecture Spot

▶ 詳細 p.77



Talk Spot

▶ 詳細 p.77

# 01 東京芸術文化創造発信助成／東京地域芸術文化助成／ 芸術文化による社会支援助成

## 【概要】

東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、発信力のある創造活動を行う団体に対する助成を実施する。

## 【事業趣旨（目的）】

### 東京芸術文化創造発信助成（単年助成プログラム、長期助成プログラム）

〈単年助成プログラム〉では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動を支援する。

〈長期助成プログラム〉では、これまでにない意欲的なプロジェクトや、東京を代表する国際的な芸術団体へのステップアップとなる活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動を当該年度4月から最長3年間継続して支援する。

### 平成27年度実績

申請件数：単年助成プログラム295件、長期助成プログラム30件

採択数：単年助成プログラム105件、長期助成プログラム7件

交付決定総額：167,860千円

### 単年助成第1期（対象期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日）

申請者名	申請活動名	活動分野	
東京現音計画	東京現音計画 #05：コンポーザーズセレクション3～稲森安太己	音楽	
公益財団法人サントリー芸術財団	作曲家の個展2015—原田敬子		
空間現代	空間現代 Collaborations		
サンガツ	サンガツ公演・ワークショップin SHIBAURA HOUSE		
インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン組織委員会	第25回「インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン」2015		
會田瑞樹パーカッションリサイタル2015実行委員会	會田瑞樹パーカッションリサイタル2015の開催		
公益社団法人日本演奏連盟	公益社団法人日本演奏連盟創立50周年記念事業<演奏家と邦人作曲家シリーズ>		
任意団体Ftarri	FTARRI FESTIVAL 2015		
岡崎藝術座	島と似非芸術家（仮）		演劇
篠田千明	非劇（仮）		
サンプル	サンプル「三角関係（仮）」		
サインアートプロジェクト・アジア	サインアートプロジェクト・アジア創立10周年記念公演「残夏—1945—」		
範宙遊泳	範宙遊泳3都市ツアー『幼女Xの人生で一番楽しい数時間』東京公演		
劇団子供鉦人	真昼のジョージ		
有限会社ブーク人形劇場	ブーク人形劇場企画 欧州国際交流事業		
チェルフィッチュ	チェルフィッチュ「スーパープレミアムソフトWバニラリッチ」ヘルシンキ、ペイルート、パリツアー		
開幕ベナントレース	1969：A Space Odyssey？ Oddity！		
有限会社アゴラ企画	青年団『冒険王』『新・冒険王』ソウル公演		
江戸糸あやつり人形座	江戸糸あやつり人形座 欧州・フェスティバル参加・文化交流公演	舞踊	
合同会社マームとジブシー	マームとジブシーイタリア滞り製作「タイトル未定・新作」		
国際演劇評論家協会日本センター	震災と演劇—断たれた日常をつなぐ		
団体せきかおり	関かおり PUNCTUMUN 公演（タイトル未定）		
公益財団法人アルカンシエール美術財団原美術館	島地 保武×アマンシオ・ゴンザレス×ジョシュ・ジョンソン 公演（仮題）		
SHIBAURA HOUSE	SHIBAURA HOUSEを拠点としたダンスカンパニー「ポートシバウラ」の結成とダンス公演		
有限会社カラス	カラス・アバラタス「アップデートダンス」シリーズ公演		
Ko&Edge Co.	Nijinski a minuit-真夜中のニジンスキー」国際協働制作		
BATIK	レパトリー作品「落ち合っている」スリランカ公演（仮称）		
株式会社アンクリエイティブ	国際共同制作「SOMAプロジェクト」		
セッションハウス企画室	セッションハウス若手ダンサー支援プロジェクト		

申請者名	申請活動名	活動分野
桑田卓郎展実行委員会	桑田卓郎展	美術・映像
バシエ協会	バシエ音響彫刻の修復と活用	
映画『島の女たち(仮)』製作プロジェクト実行委員会	映画『島の女たち(仮)』製作プロジェクト	
津田直縄文プロジェクト実行委員会	津田直縄文プロジェクト	
株式会社コンパス	「氷の花火 山口小夜子」	
株式会社テレビマンユニオン	「あえかなる部屋 内藤礼と、光たち」	
活動写真実演会	日欧における活動写真文化の普及事業	
オールピスト東京実行委員会	オールピスト東京2015	
岸野雄一	「正しい数の数え方」製作委員会	
視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ	視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ	
ARTISTS' GUILD	ARTISTS' GUILD	
ドキュメンタリー・イン・プログレス実行委員会	ドキュメンタリー・イン・プログレス	
株式会社 米川敏子音楽事務所	研箏会創立百周年記念特別演奏会	
飛鳥山薪能実行委員会	第十三回飛鳥山薪能 出羽庄内・黒川能・飛鳥山薪能公演	
代々木果迺会	代々木果迺会別会「一之輔落語×竹灯笼能『狸々乱』」	
一般社団法人もんでん	放浪の系譜…贅女唄とアジアの遊行文化	
藤本昭子	第75回「藤本昭子 地歌ライブ」四季の地歌歌曲 ～秋～ なきひとをしをのぶ	
株式会社万作の会	万作の会 狂言 ニューヨーク公演	
一般社団法人日本伝統芸術国際交流協会	さくらこまち和楽団・イタリア公演2015	
株式会社藤間オフィス	日ブラジル修好120周年記念 藤間勘十郎ブラジル公演	
乙津理風	NEO SHIGIN PROJECT ~Japanese voice and spirit~	
スロームーブメント実行委員会	スロームーブメント	複合・その他
株式会社オフィス・アンフィニ	OPERA "q"	
一般社団法人向源	寺社フェス 向源	
特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター	サウンド・ライブ・トーキョー	
Interdisciplinary Art Festival Tokyo	IAFT15/16	
一般社団法人谷中のおかって	こども創作教室 ぐるぐるミックス	
core of bells	core of bells	
リクウズルーム	『失憶中 玩笑編。』台湾公演	
公益財団法人梅若会	ネキア NEKYIA	
第8回世界俳句協会大会実行委員会	第8回世界俳句協会大会	
NPO法人芸術公社	レクチャーパフォーマンス・シリーズ	
特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク	舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) による創造環境整備事業	

単年助成2期

申請者名	申請活動名	活動分野
ensemble-no	コンサート「Italy meets Noh! イタリア作曲家特集」	音楽
一般財団法人合唱音楽振興会	東京混声合唱団 第239回定期演奏会	
Point de Vue	Point de Vue vol.10	
一般社団法人もんでん	第2回 両国アートフェスティバル2016	
栗コーダーカルテット	栗コーダー&フレンズ アジア6カ国 ミュージック&アート 共同制作プロジェクト	
□字ツク	□字ツク第十一回本公演「荒川、神キラーチェーン(再演)」	演劇
FUKAIPRODUCE羽衣	FUKAIPRODUCE羽衣第20回公演「イトイランド」	
有限会社スコット	SCOT 吉祥寺シアター公演2015と演劇人のための鈴木教室	
一般社団法人なかふら	中野成樹+フランケンズ2015秋「ロボットの未来改(または、つながらない星と星)」	
特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン	たちかわ創造舎 オープニング公演「想稿・銀河鉄道の夜」	
to R mansion	日仏国際共同創作公演「The Wonderful Parade」東京初演	

申請者名	申請活動名	活動分野	
岡崎藝術座	+51 アピアシオン、サンボルハ ブリュッセル公演		
チェルフィッチュ	チェルフィッチュ新作『部屋に流れる時間の旅』欧州3都市ツアー		
公益社団法人国際演劇協会日本センター	高校生劇評応援プロジェクト		
Baobab	Baobab ディレクション公演		
BONUS	BONUS 第2回連結クリエイション 「牧神の午後」編	舞踊	
クリエイティブ・アート実行委員会	インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響—Kyo 第3回公演 “BORDER”		
一般社団法人C o .山田うん	東京 — イスラエル ダンス交流プロジェクト		
川口隆夫	Touch of the other		
Ko&Edge Co.	室伏鴻アーカイブ制作とMurobushi Research international conference	美術・映像	
羽永光利アーカイブ展企画委員会	羽永光利アーカイブ展 (仮)		
山城大督	山城大督 新作映像インスタレーション《TALKING LIGHTS / トーキング・ライツ》		
株式会社VACANT	VACANT VERNACULAR		
小山泰介	小山泰介個展「Generated Images」(仮)		
大和田俊	インドのサウンドアートフェスティバル「Sound Reasons」でのインスタレーション展示		
アートヴェイントーキョー	アートヴェイントーキョー VIDEOFORMES 2016 上映展示+ワークショップ		
公益財団法人日本チャリティ協会	バラアート国際交流活動事業		
特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト	ウォールアートフェスティバル ウィズ ノコ 2016		
一般社団法人アート東京	アジア・アート・フォーラム2016		
公益社団法人日本三曲協会	日本三曲協会 定期公演 第2回「日本の響」		伝統芸能
創邦21	創邦21 第13回作品演奏会		
お囃子プロジェクト	新感覚お囃子エンターテインメント! お囃子プロジェクト		
高市雅風	高市雅風 箏リサイタルⅩ 船に乗って		
西田英智	『特別名勝 六義園で楽しむ、江戸の“灯り”と“太神楽”』		
辻雄貴	華道家 辻 雄貴 個展		
山本亜美	山本亜美 二十五絃箏 NY文化交流 2016		
一般財団法人観世文庫	ニューヨーククリンカーンセンターフェスティバル2016「観世宗家ニューヨーク公演」		
国際能プロジェクト実行委員会	能フェスティバル「序破急」- 能とイギリス現代アーティストのコラボレーション (仮)		
ここん	伝統芸能情報サイト ここん		
NPO法人日本伝統文化推進協会	伝統文化を東京からアジアへ広げようプロジェクト	複合・その他	
株式会社ニューディアー	GEORAMA2016		
有限会社ネビュラエクストラサポート	Next舞台制作塾EX『西山葉子ゼミ』の実施 並びに公開アーカイブの作成		
Art Translators Collective	翻訳・通訳を通じた芸術創造環境の向上事業		

長期助成 (対象期間：平成27年4月1日～平成29年3月31日 [2年間] または平成27年4月1日～平成30年3月31日 [3年間])

申請者名	申請プロジェクト名	実施年数 (年)
特定非営利活動法人 MultipleTap	東京ノイズ拠点化プロジェクト	3
特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク	演劇・舞台などにおける観劇サポート推進事業	3
Dance New Air 実行委員会	Dance New Air	2
Office A/LB	クロス/トランジット プロジェクト (仮タイトル)	3
チャーム・ポイント	音から作る映画の展開と完成・公開	3
一般社団法人 伶楽舎	伶楽舎・子どものための雅楽プロジェクト	3
任意団体 てんらい	『イナンナの冥界下り』欧州公演	3

東京地域芸術文化助成

多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域における文化拠点としての場の魅力を向上させることで、東京の芸術文化を広く国内外に発信するとともに、観光振興にも繋がる優れた芸術文化活動を支援するため、東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体等に対して支援する。

平成27年度実績

応募総数：19件、採択数：10件  
 交付決定総額：12,588,000円

平成27年度東京地域芸術文化助成

申請者名	申請活動名
木場木遣保存会	木場木遣保存会 木響會
高円寺演芸まつり実行委員会	第六回 高円寺演芸まつり
小金井市伝統文化による地域活性化推進事業実行委員会	小金井市伝統文化による地域活性化事業 小金井市伝統文化フェスタ in お正月2016
一般社団法人ノマドプロダクション	「生活と表現」フェスティバル(仮)
調布市郷土芸能祭ばやし保存会	第58回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会
府中囃子保存会	府中囃子保存会
東久留米アートプロジェクト	大小島 真木 南沢氷川神社拜殿に天井画を描く《生きとし生けるものたちの饗宴》
第13回両国にぎわい祭り実行委員会	第13回両国にぎわい祭り実行委員会
特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン	多摩・たちかわエリア 地域活性化事業 たちかわ創造舎 オープニングプロジェクト
特定非営利活動法人アートフル・アクション	江戸写し絵によるものがたりづくりと発表

芸術文化による社会支援助成

障害者をはじめ、高齢者や子供、外国人といった、様々な人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動を支援していきます。平成27年度は、特に障害者の多様な芸術文化鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動、その実現を支える環境整備に資する活動、並びに障害者等の芸術文化活動の社会理解の促進に資する活動を支援する。

平成27年度実績

応募総数：19件

採択数：16件

交付決定総額：9,998,000円

社会支援

申請者名	申請活動名	活動分野
特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク	ホスピタルシアタープロジェクト2015-障害児施設巡演&オープンディの開催	複合・その他
特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	「障害者アートとソーシャルデザイン」フォーラム	
マイノリマジョリテ・トラベル・クロニクル実行委員会	マイノリマジョリテ・トラベル「東京境界線紀行」の活動アーカイブと短編映画上映	
新宿アートプロジェクト	外国人の子ども・若者と芸術文化活動をつなぐための調査及び人材育成事業	
スロームーブメント実行委員会	ジェニー・シーレイ招聘トークイベント「障害の先にあるパフォーマンスが社会にもたらすもの(仮)」	
東京シューレ	不登校、ひきこもり、障害等、社会的ハンディを負う若者の自己否定の表現活動による軽減	演劇
社会福祉法人トット基金日本ろう者劇団	日本ろう者劇団 欧州公演2015	
NPO法人シニア演劇ネットワーク	視覚障害者向け音声ガイド制作者育成講座	
シアター・アクセシビリティ・ネットワーク	英国の舞台・アート分野におけるアクセス事情の現地調査および報告	
knock-knock	knock-knock	美術・映像
特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター	(仮) MASC 認定 字幕・音声ガイドモニター養成ワークショップ	

※各助成プログラムの申請者名、申請活動名は、申請時のものであり、実際に使われた名称と異なる場合があります。

# 02

## フェスティバル/トーキョー 15 (F/T15)

### 【概要】

開催日時	2015年10月31日(土)～12月6日(日)
開催場所	東京芸術劇場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) にしすがも創造舎 アサヒ・アートスクエア 彩の国さいたま芸術劇場 池袋西口公園 豊島区 旧第十中学校 ほか
主催	フェスティバル/トーキョー実行委員会 豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/NPO法人アートネットワーク・ジャパン、 アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催	公益社団法人国際演劇協会日本センター アジアシリーズ共催 独立行政法人国際交流基金アジアセンター
協賛	アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
後援	外務省、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、J-WAVE 81.3 FM
特別協力	西武池袋本店、東武百貨店池袋店、東武鉄道株式会社、株式会社サンシャインシティ、チャコット株式会社
協力	東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、一般社団法人豊島区観光協会、 一般社団法人豊島産業協会、公益社団法人豊島法人会、池袋西口商店街連合会、特定非営利活動法人ゼファー池袋まちづくり、ホテルメトロポリタン、ホテル グランドシティ、池袋ホテル会
宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー

平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業(池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業、としま国際アートフェスティバル事業)

公益社団法人企業メセナ協議会 2021芸術・文化による社会創造ファンド採択事業

### プログラム数

主催プログラム	12演目・3企画
連携プログラム	18演目

### 鑑賞者数 延べ鑑賞者数

主催プログラム	34,612人
主催企画	415人
関連イベント	275人
人材育成	312人
連携プログラム	20,010人

### 【事業趣旨(目的)】

第8回となる東京発の国際的舞台芸術フェスティバル。「融解する境界」をテーマに、先鋭的舞台芸術作品の魅力が多角的に提示し、多様な価値が出会い、互いを刺激しあうことであらたな可能性を拓く場を作り出す。テーマにふさわしく、国籍やジャンルを横断するコラボレーション作品制作や「アジアシリーズ」ではミャンマーを取り上げ、3組のアーティストを招聘するなど、創造性と国際性に溢れるフェスティバル事業を展開。

### 【開催状況】

- トークイベント  
「2020年に向けて、アートフェスティバルの展望」  
7/28(火) 会場：東京芸術劇場 シンフォニースペース

●シンポジウム『アートフェスティバルの展望』

10/30（金） 会場：豊島区役所 としまセンタースクエア

●主催プログラム

『フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園』

10/31（土）、11/1（日） 池袋西口公園

SPAC－静岡県舞台芸術センター『真夏の夜の夢』

10/31（土）－11/3（火・祝） にしすがも創造舎

ゾンビオペラ『死の舞踏』

11/12（木）－11/15（日） にしすがも創造舎

地点×空間現代『ミステリヤ・ブッフ』

11/20（金）－11/28（土） にしすがも創造舎

『ブルーシート』

11/14（土）、11/15（日）、12/4（金）－12/6（日） 豊島区 旧第十中学校 グラウンド

『God Bless Baseball』

11/19（木）－11/29（日） あうるすぽっと

富士見市民文化会館 キラリふじみ『颱風奇譚 태풍기담』

11/26（木）－11/29（日） 東京芸術劇場 シアターイースト

『地上に広がる大空（ウェンディ・シンドローム）』

11/21（土）－11/23（月・祝） 東京芸術劇場 プレイハウス

パリ市立劇場『犀』

11/21（土）－11/23（月） 彩の国さいたま芸術劇場大ホール

ギンタースドルファー/クラークセン『LOGOBI 06』

11/26（木）－11/29（日） アサヒ・アートスクエア

ゲーテ・インスティトゥート韓国×NOLGONG『Being Faust—Enter Mephisto』

11/19（木）－11/22（日） 東京芸術劇場 シアターイースト

アジアシリーズ vol.2 ミャンマー特集『ラウンドアバウト・イン・ヤンゴン』

11/13（金）－11/15（日） アサヒ・アートスクエア

●F/Tトーク

・タデウシュ・カントル生誕100年記念「ポーランド演劇の現在形」

11/24（火）－11/29（日） 東京芸術劇場 アトリイースト ほか

・多民族国家マレーシアにおける舞台芸術

11/6（金）－11/7（土） ホテルグランドシティ レストランセゾン

・中国現代演劇の現在形

11/23（月） 東京芸術劇場 アトリイースト

●展示

・豊島区役所内庁舎まるごとミュージアム 11/1（日）－11/30（月）

・豊島区立中央図書館 9/26（土）－11/26（木）

●F/T Books

- ・ ジュンク堂書店 池袋本店 9F 芸術書フロア 10/31 (土) -12/6 (日)
- ・ シアターアートショップ 11/17 (火) -11/29 (日)

●関連イベント

- ・ アンジェリカ・リデルワークショップ 7/24 (金) -7/30 (木) 会場：東京芸術劇場
- ・ レクチャー「アンジェリカ・リデル 作品と創造のプロセス」7/27 (月) 会場：早稲田大学戸山キャンパス
- ・ フェスティバル/トーキョー15×美術手帖 コラボレーション企画  
石黒 浩×安野太郎×岩淵貞哉 トークイベント  
ゾンビオペラ『死の舞踏』公演記念「人間と機械 一操り、操られるのはどちらか？」  
10/27 (火) 会場：かもめブックス
- ・ アテネ・フランセ特別講演 フランス前衛劇の魅力 ～イヨネスコ『犀』上演によせて～  
11/14 (土) 会場：アテネ・フランセ
- ・ 岡田利規×高橋源一郎) トークイベント「ぼくたちの野球論」  
11/7 (土) 会場：la kagū 2F レクチャースペース sōko

●人材育成プログラム

- ・ F/T サポーター
- ・ インターン
- ・ F/T キャンパス

●連携プログラム

F / T と同時期に東京近郊で上演される18演目を連携プログラムとして広報協力を行った。

# 03

## 上野「文化の杜」新構想

### 【事業趣旨（目的）】

平成25年12月に青柳正規文化庁長官および宮田亮平東京藝術大学学長を発起人として、上野「文化の杜」において年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面にわたる整備方針について検討するため、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足し、議論をすすめてきた。平成27年7月に上野「文化の杜」新構想およびアクションプランがとりまとめられ、それを受け、9月に上野「文化の杜」新構想推進実行委員会が設立された。

上野「文化の杜」実行委員会メンバー（順不同）

東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、上野の森美術館、東京都美術館、東京文化会館、東京都恩賜上野動物公園、東京藝術大学、台東区、上野観光連盟、東日本旅客鉄道会社

### 【事業概要】

共通パスポート事業では、国立文化施設3館で始まったものを、11館の連携に拡大させることができ、マスコミでも大きく取り上げられた。ポータルサイト事業では、上野「文化の杜」ウェブサイトを開設し、上野公園に関する多くの情報を日本語と英語で国内外に発信した。共通イベント事業では、数多くの来訪者に高い満足を与えることができ、特に文化シンポジウムを始めとするステージプログラムや藝祭御輿展示などは高い評価を得た。

平成27年度は事務局の立上げと、共通パスポート事業、ポータルサイト事業、共通イベント事業（アーツフェスタ）の3事業を実施した。

#### （1） 共通パスポート事業

平成27年の春に上野観光連盟との連携事業として実施した国立3館（東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館）の共通入場券を発展させ、11機関が連携し上野地区の回遊性を高めることを目指して実施。また、5施設以上回ると記念品がもらえるスタンプラリーも実施した。

実施期間：平成28年1月2日～5月31日

販売枚数：4,270枚（1月～3月）

価格：2000円（税込）

多言語対応：日本語および英語

常設展示：東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都恩賜、上野動物園、下町風俗資料館、旧岩崎邸庭園、

指定の展覧会：東京都美術館、東京藝術大学大学美術館

ポストカード配布：上野の森美術館、東京文化会館、国立国会図書館国際子ども図書館

#### （2） ポータルサイト事業

上野「文化の杜」の各機関・団体が連携することによって、個々に発信する情報の一元化を図り、国内外に広く発信する文化芸術のポータルサイトを開始した。

開始時期：平成28年3月24日

多言語対応：日本語および英語

#### （3） 上野「文化の杜」アーツフェスタ2016

上野公園は、日本有数の文化資源の宝庫であり、桜の名所としても知られる東京を代表する観光地である。その環境と資源を活かし、日本の文化の素晴らしさを発信するための1回目の芸術文化イベントを開催。

日程：平成28年3月25日～3月27日

場所：上野恩賜公園 竹の台広場（噴水前広場）

入場無料

主催：上野「文化の杜」新構想実行委員会、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

協力：うえの桜フェスタ2016（上野観光連盟主催）、東京・春・音楽祭実行委員会

来場者数：218,800人

① 平成27年度文化プログラムシンポジウム@上野「文化の杜」

世界最高水準の文化拠点形成に向けて～文化芸術資源で日本の未来を創造する～  
(オープニングセレモニー)

概要：

文化芸術立国の実現をめざし、世界最高水準の文化拠点形成に向けて文化芸術資源で日本の未来をどのように創造するかをテーマとしたシンポジウム。

主催：文化庁、上野「文化の杜」実行委員会、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

会場：竹の台広場ステージ

参加者：約500名

プログラム内容

16：00～16：10 上野「文化の杜」とは？ 上野「文化の杜」の取組紹介

16：00～17：00 トークセッション：世界最高水準の文化拠点形成に向けて

登壇者：

青柳正規（文化庁長官）

宮田亮平（東京藝術大学 学長、上野「文化の杜」発起人）

吉見俊哉（東京藝術大学 教授、東京文化資源会議 幹事長）

山崎 亮（コミュニティデザイナー）

② アートプログラム

・藝祭神輿展示

東京藝術大学の学園祭「藝祭」で制作された「藝祭神輿」のうち、5基を竹の台公園に展示

・ワールドカフェ「上野で語る。100人で語る。文化の杜の未来」（事前申し込み制）

3月27日17：00～20：00 会場：東京都美術館

上野公園をより魅力的にそだてていくことをテーマとしたディスカッション。山崎亮氏によるレクチャーの他、ワールドカフェ形式の100人によるディスカッションを行った。

・「CAFFE CARAVAGGIO」

国立西洋美術館で開催されている「日伊国交樹立150周年記念カラヴァッジオ展」を記念した3日間限定のカフェ

3月25日

時間	公演名	観覧者数（人）	出演者、企画者
13：00～13：30	オープニング演奏会：台東区立上野中学校プラスバンド	約300	台東区立上野中学校 東京藝術大学音楽学部
14：00～14：30	「まちなかコンサート」第1回 Produced by 東京文化会館 東京音楽コンクール入賞による金管アンサンブル	約300	東京文化会館
15：30～16：00	「まちなかコンサート」第2回 Produced by 東京文化会館	約300	
16：00～18：00	オープニングセレモニー文化プログラムシンポジウム（後述）	約500	
17：00～17：30	UENO芸術サンバパーティー	約500	東京藝術大学サンバパーティ部

3月26日

時間	公演名	観覧者数（人）	出演者、企画者
13：00～13：30	台東区立忍岡小学校 箏合奏	約500	台東区立忍岡小学校 東京藝術大学音楽学部
14：00～16：00	藝大邦楽科演奏（2回公演）	約500	東京藝術大学音楽学部邦楽科
18：00～19：00	江戸写し絵	約400	劇団みんわ座

3月27日（土）

時間	公演名	観覧者数（人）	出演者、企画者
11：00～11：30	台東区立田原小学校 マーチングバンド	約300	台東区立田原小学校 東京藝術大学音楽学部
11：45～12：45	「東京・春・音楽祭」Conduct Us 第1回	約700	東京春祭 桜の街のオーケストラ
13：00～14：00	藝大金管十重奏（2回公演）	約500	東京藝術大学音楽学部 金管演奏者10人
14：00～15：00	「東京・春・音楽祭」Conduct Us 第2回	約700	東京春祭 桜の街のオーケストラ
15：30～16：30	「東京・春・音楽祭」Conduct Us 第3回	約700	東京春祭 桜の街のオーケストラ
16：30～17：00	藝大チンドン	約500	東京藝術大学音楽学部有志 ほか

## 04

## タレンツ・トーキョー 2015

## 【概要】

開催日時	平成27年11月23日（月）から28日（土）
開催場所	有楽町朝日ホールスクエア
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
提携	ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）
協力	東京ドイツ文化センター、その他
参加者数	タレンツ15人、エキスパート（講師）4人

## 【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents, タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施する。

## 【開催状況】

現在世界で活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Expert）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施した。第一線の人材の視線に晒されることにより、タレンツに強烈なインスパイアを受ける体験を促すとともに、タレンツ同士やエキスパートとタレンツ、さらには映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画作家たちとの交流により、国際的なネットワークを広めた。

参加人数 タレンツ15名

Somchanrith CHAP（カンボジア）  
 Mauricio OSAKI（ブラジル/中国）  
 LIN Jianjie（中国）  
 Dwi Sujanti NUGRAHENI（インドネシア）  
 ODA Kaori（日本）  
 LEE Joo Hyun（韓国）  
 Josh KIM（米国/韓国）  
 Kek Huat LAU（マレーシア）  
 Alyx Ayn ARUMPAC（フィリピン）  
 Francis Raphael SOLAJES（フィリピン）  
 YEO Siew Hua（シンガポール）  
 HSIEH Chun-yi（台湾）  
 TSOU Rina（台湾）  
 Sorayos PRAPAPAN（タイ）  
 Thanh HOANG（ベトナム）

# 05

## 伝統芸能公演

### 【概要】

**開催期間** 平成27年10月25日（日）～平成28年1月2日（土）  
**会場** 東京文化会館 大ホール、矢来能楽堂、東京国際フォーラム ホールC、狛江エコルマホール、小金井 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）、明治座  
**主催** アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
**助成・協力** 東京都  
**入場者数** 延べ4,960人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の活性化・普及およびその魅力を幅広く国内外に発信することを目的として、多様なジャンルの伝統芸能を取り上げる。伝統芸能に馴染みのない層や外国人等、初心者にもわかりやすく、その魅力を様々な角度や切り口から紹介する実演・ワークショップから一流の芸を紹介する公演まで、幅広い事業展開を図る。

### 【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料（円）	入場者（人）
10/25	古典芸能の祭典 アジアの記憶 日本の宝	東京文化会館 大ホール	・真伎楽（市民参加） ・舞楽「陵王」 ・半能「石橋 大獅子」観世流 ・人形浄瑠璃文楽（義太夫節）『本朝 廿四孝』から「奥庭 狐火の段」 ・歌舞伎舞踊「操り三番叟」 ・大田楽（市民参加）	・舞楽：しのばず雅楽会 ・能：藤波重彦（シテ）、角幸二郎（ツレ） ・歌舞伎舞踊：西川扇与一、花柳寿太郎 ・人形浄瑠璃文楽（義太夫節）：竹本千蔵大夫、鶴澤清介 ・真伎楽・大田楽（音楽）：和田啓、稲葉明德、朴根鐘、李東信、ラティール・シー ・真伎楽：張春祥、小谷野哲郎 ・大田楽：野村万蔵 ほか	S席： 4,000 A席： 3,000 学生： 2,000	1,364
11/1	神楽坂を楽しむ 神楽坂で楽しむ	矢来能楽堂	【第一部】 ・トーク&解説 ・日本舞踊「毘沙門」 【第二部】 ・能「絵馬」（半能） ・ワークショップ「日本舞踊と能楽の違いについて」	【日本舞踊】 弧の会：市山松扇、猿若清三郎、西川大樹、花柳寿美蔵、藤間仁風、若柳吉優、若柳里次郎 琵琶：田原順子、藤高理恵子、竹本彩乃、伊藤純子 【能楽】 観世九皇会：観世喜之、観世喜正、五木田三郎、弘田裕一、駒瀬直也、中森貴太、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島充、佐久間二郎、小島英明、桑田貴志、中森健之介、河井美紀、森常好、館田善博、森常太郎、一噌幸弘、田邊恭資、安福光雄、小寺真佐人	一般 学生 3,000 2,000	252
11/8	大江戸寄席と花街のおどり その五	東京国際フォーラム ホールC	【第一部】 大江戸寄席 落語「試し酒」 三味線漫談 落語「船徳」 【第二部】 花街のおどり 「五月雨や空」 「萩桔梗」 「奴さん」 「木遣りくずし」ほか	〈第一部〉 三遊亭歌武蔵、柳家紫文、柳家花緑 〈第二部〉 新橋芸者連中、赤坂芸者連中、浅草芸者連中、神楽坂芸者連中、芳町芸者連中、向島芸者連中、櫻川七助	一般 学生 4,000 2,000	1,022
12/6	第16回 多摩川 流域郷土芸能 フェスティバル	狛江エコルマ ホール	小菅村 神楽、丹波山村 ささら獅子舞、奥多摩町 獅子舞、日野市 囃子、府中市 和太鼓、多摩市 多摩市山王下粉屋踊り、稲城市 囃子、調布市 囃子、狛江市 おはやし	小永田神代神楽保存会、丹波山村文化財保存会、川野獅子舞保存会、日野市祭ばやし連合会、武蔵国府太鼓翔駒会、多摩市山王下粉屋踊り保存会、青渭囃子保存会、調布市郷土芸能祭ばやし保存会、国領囃子連、駒井ばやし保存会	無料	702
12/19	江戸糸あやつり 人形の世界～女 形人形の美～	小金井 宮地楽器 ホール（小金井市民交流 センター）大 ホール	・人形の遣い方実演解説 ・「釣女」 ・「加羅先代萩 政岡 忠義の段」 ・「伊達娘 恋緋鹿子 火の見櫓の場」 ・人形の遣い方体験コーナー	十二代目結城孫三郎、結城千恵、結城育子、結城数馬 ほか結城座人形遣い 観劇ナビゲーター：河原さとる 舞台通訳：ポイド真理子	一般 学生 2,500 1,500	332

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料 (円)	入場者 (人)
平成28年 1/2	日本美と 伝統芸能の饗宴 「FUJIYAMA」	明治座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剣舞『喜昇富士』</li> <li>・ 『吉兆手打式』</li> <li>・ 落語『初天神』</li> <li>・ 日本舞踊『八合目』</li> <li>・ 日本舞踊×殺陣『日本武尊 剣勇 功』</li> <li>・ (ロビーにて) お正月体験コーナー 【獅子舞、投扇興、紙切り芸、江戸のおもちや、羽子板・凧】</li> </ul>	藤間勘十郎 (宗家藤間流八世宗家) 尾上菊之丞 (尾上流四代家元) 若柳吉蔵 (若柳流五世宗家家元) 市川ぼたん (日本舞踊市川流) 柳家花緑 (落語家 真打) ほか	S席: 5,000 (学生 2,500) A席: 3,000 (学生 1,500)	1,288

### 【参加者の声】

#### ● 古典芸能の祭典 アジアの記憶 日本の宝

- ・ 以前から伝統芸能の公演を観たいと思っていましたが、敷居が高く、足を運ばずにいました。今回のイベントは非常に参加しやすく、学生でも手が出せる値段だったので非常に良かったです。内容も充実していて良かったです。
- ・ 系統立てた説明や語りで大変わかりやすく、演目も代表的で理解しやすいもので素晴らしい。日本の古典芸能を観ること、聞くことができ大変楽しかった。勉強にもなった。

#### ● 神楽坂を楽しむ 神楽坂で楽しむ

- ・ 解説が楽しく、またこちらの能楽堂は初めてで、素晴らしい場所でした。ありがとうございました。素晴らしかったです。

#### ● 大江戸寄席と花街のおどり その五

- ・ 落語はいろいろなところで聞く公演も多いのですが、踊りは機会がなく、美しさと楽しさを感じる良い機会でした。
- ・ ふたつの日本文化を一度に体験できて良かった。

#### ● 江戸糸あやつり人形の世界

- ・ 現代語でないセリフは、あらすじが分かっていると理解できないので、パンフは役に立った。一般に知られていない伝統芸能をよく知る意味で、有意義な公演だった。

#### ● 日本美と伝統芸能の饗宴「FUJIYAMA」

- ・ 伝統芸能を大事にするこのような催し物を大いにやっていただきたい。お正月気分を満喫させてくださり感謝しております。
- ・ 会場内に子供や外国人の方々の姿が見えました。また、年齢層も幅広く、お正月ということもあり、どんな人にとってもとても楽しめる公演(イベント)だったように思えました。

# 06

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

### 【概要】

開催期間	平成27年6月～平成28年2月
会場	東京都内小中高等学校および特別支援学校
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
参加者数	2,282人

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い理解を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校教育と連携した取組として実施する。

### 【開催状況】

学校名	開催日	内容	実施団体（協力）	体験者（人）
東村山市立回田小学校	6/12	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	72
北区立谷端小学校	6/25	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	50
新宿区立西新宿小学校	6/26	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	62
中野区立江古田小学校	6/30	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	42
葛飾区立新宿小学校	7/1	箏曲	公益社団法人日本三曲協会	72
大田区立多摩川小学校	7/3	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	92
練馬区立旭丘小学校	7/6	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	26
荒川区立第二日暮里小学校	7/7	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	16
国分寺市立第五小学校	7/14	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	74
東大和市立第二小学校	7/14	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	115
青梅市立第一小学校	7/14	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	72
豊島区立西巣鴨小学校	9/8	三味線	一般社団法人長唄協会	25
台東区立柏葉中学校	9/11	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	178
町田市立三輪小学校	9/15	箏曲	公益社団法人日本三曲協会	87
足立区立鹿浜西小学校	9/18	三味線	一般社団法人長唄協会	37
日の出町立平井小学校	9/19	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	65
武蔵野女子学院高等学校	10/3	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	19
稲城市立稲城第六中学校	10/8	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	187
福生市立福生第四小学校	10/20	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	34
西東京市立本町小学校	10/23	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	46
清瀬市立芝山小学校	11/5	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	68
府中市立府中第五小学校	11/9	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	69
墨田区立中川小学校	11/13	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	30
江戸川区立小岩小学校	11/14	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	55
調布市立八雲台小学校	11/26	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	93
立川市立幸小学校	11/30	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	71
文京区立大塚小学校	12/4	箏曲	公益社団法人日本三曲協会	21
三宅村立三宅小学校	12/8	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	31
杉並区立宮前中学校	12/14	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	86
板橋区立大谷口小学校	12/18	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	51
東久留米市立南町小学校	12/22	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	63
小金井市立前原小学校	1/16	三味線	一般社団法人長唄協会	70
国立市立国立第三小学校	1/20	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	89
千代田区立千代田小学校	2/4	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	60
渋谷区立広尾中学校	2/10	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	54

### 【参加者の声】

- ・今回初めて能楽を体験して、能楽は奥が深いなと思いました。謡の一つ一つの言葉のイントネーションにも気をつけながら演技するのはとても難しいことだと思ったし、今回私たちがやったのは、まだ簡単なものだったけど、実際はもっと難しいんだと思うと、大変だなと思いました。
- ・めったに体験しないことなので楽しかったし、私はミュージカルはよく見に行くのですが、能などの伝統文化は見たことがなかったので、とてもいい経験になりました！
- ・日舞は堅苦しいというイメージがとても強かったけれど、実際体験したら、とても楽しく踊れました。今日覚えた振りを留学先でみんなに披露したいと思いました。
- ・本物の落語を見られたし、体験もあっていいと思いました。



演芸（落語）

# 07 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

## 【概要】

開催期間	平成27年4月25日（土）～平成28年3月27日（日）
会場	東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
共催	台東区（日本舞踊プログラム、長唄三味線プログラムのみ）
後援	公益財団法人東京都公園協会（書道プログラムのみ）
参加者数	延べ28,042人

## 【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化を国内外に広く発信するため、外国人が伝統文化を理解できるよう、観光拠点等において短時間で体験できるプログラムを実施。

## 【開催状況】

開催日	プログラム名	会場	内容	実施団体（協力）	料金（円）	入場者(人)※
4/25～H28.3/26毎週土曜日 計42日 ※H27.12/26は除く 平日開催2/9、3/15 計2日	演芸プログラム	東京都江戸東京博物館	演芸（曲芸・紙切り・和妻）の体験及び実演鑑賞	公益社団法人落語芸術協会		19,997
5/3～H28.3/27毎週日曜日 計40日 ※H27.5/17、24、7/26、12/13、H28.1/10、2/14、2/28、3/13は除く 平日開催2/12、3/24 計2日	日本舞踊プログラム	浅草文化観光センター	日本舞踊の体験及び「藤娘」実演の鑑賞	公益社団法人日本舞踊協会（東京支部城東ブロック）	無料	4,246
12/12、13、H28.1/9、10、2/13、14、3/12、13 計8日	長唄三味線プログラム		三味線演奏の体験及び長唄メドレー実演の鑑賞	一般社団法人長唄協会		1,690
10/10、11	華道プログラム	浜離宮恩賜庭園	講師の見本を基に華道を体験	東京都華道茶道連盟	無料	674
	江戸木版画プログラム		江戸木版画の体験及び実演	東京伝統木版画工芸協同組合	500	
	木遣りプログラム		木遣りの実演鑑賞	一般社団法人江戸消防記念会	無料	
11/6、7、8	MOSHI MOSHI NIPPON FESTIVAL 2015 in TOKYO 連携事業	東京体育館	書道・演芸・日本舞踊のパフォーマンス及び七宝焼・隈取りの体験	書道：一般財団法人毎日書道会 演芸：公益社団法人落語芸術協会 日本舞踊：公益社団法人日本舞踊協会 七宝焼：東京七宝工業協同組合 隈取り：アナザー・カンパニー	書道・演芸・日本舞踊パフォーマンス：無料 七宝焼・隈取り体験：1,000	634
11/10、11、12、22、23、24	書道プログラム	清澄庭園 大正記念館	書道の体験及び実演鑑賞	一般財団法人毎日書道会	無料	559
11/17	茶道プログラム	護国寺	茶席・立礼の体験及び茶室の見学	茶席：遠州茶道宗家 立礼席：護国寺	500	105
3/18、19	東京手描友禅プログラム	MOSHI MOSHI BOX 原宿観光案内所 2F MOSHI MOSHI GALLERY	友禅挿しの体験	東京都工芸染色協同組合		55
3/19	江戸手描提灯プログラム		江戸手描提灯文字入れ体験	東京提灯業組合	無料	28
3/20、21	着物着付けプログラム		着物を着て原宿の街を散策体験	一般財団法人民族衣裳文化普及協会		54
計						28,042

※鑑賞者のみを含む

## 【参加者の声】

### ●演芸プログラム

- ・楽しかったし、時間的にちょうど良い長さだった。伝統について学べて良かった。
- ・なかなか見られない伝統芸能を体験できてとても良かった。
- ・この素晴らしいプログラムを是非続けてほしい。こういうふうに手軽に体験できることが観光客にとって意味があ

る。どうもありがとう。

●日本舞踊プログラム

- ・忘れられない素晴らしい経験になりました。日本文化と彼らがなぜ彼ら独自の方法でそうするのかについて多くのことを学ばせてもらった。
- ・とっても楽しめました。これが無料だという事実もまた気に入りました。日本文化を宣伝する素晴らしい手段です。他の伝統芸能も巻き込んでほしい。

●長唄三味線プログラム

- ・日本文化を体験したいと思っているが予算のない、私たちのような旅行者のためにもこの活動を続けてほしい。
- ・日本を知るには一番良いイベントですね。このイベントに参加できたことは特別な体験となりました。演奏家の人たちはみんな親切に三味線を教えてくれました。



長唄三味線



書道



江戸手描提灯

# 08 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

## 【概要】

開催期間	平成27年11月21日（土）、12月20日（日）
会場	十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）、渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホール
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
参加者数	延べ552人

## 【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、外国人に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を行う。公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるように、実際に楽器や道具に触れる等の工夫を凝らした体験をセットで実施。

## 【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目・演目等	体験内容	出演者	制作団体	料金（円）	入場者（人）
11/21	Noh Theater Beyond Words, Beyond Borders 能～ことばを超えて、世界へ向けて	十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）	プレトーク 仕舞（日本語・英語比較）「敦盛」「松風」 バイリンガル狂言 「癡痢」 能「黒塚」（間狂言・英語版 ※日英2か国語ツイッター解説） アフタートーク	小鼓、笛、能面、装束	長島茂、狩野了一、大島輝久、安田登、茂山董司、リチャード・エマートほか	公益財団法人十四世六平太記念財団	全席指定 一般 3,500 学生 1,500	344
12/20	Let's All Enjoy the World of Nihon Buyo みんなで楽しむ日本舞踊の世界	渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホール	大和楽「花だより」 大和楽「雪の降る街を」 長唄「連獅子」	三味線、囃子、箏、かつら、衣装、小道具	西川扇与一、藤間恵都子、水木佑歌、藤間達也、花柳寿太郎、若柳里次朗、望月左之助、大和櫻笙、成田涼子ほか	アナザー・カンパニー	無料	208
計								552

## 【参加者の声】

- 能～ことばを超えて、世界へ向けて
  - ・初めての試みである日本語・英語比較の仕舞に加え、ツイッターでの解説とともに演目を観るといった新しい取り組みにとっても興味を持ちました。
  - ・字幕などではなく、実際に英語の謡で舞われる舞台を初めて拝見しましたが、予想以上に違和感がなくてびっくりしました。訳において韻律にもかなり気を配られたのかと思いました。狂言もわかりやすい演目を選んでとても楽しめました。間狂言も良かったです。またこのような企画を続けてほしいです。ありがとうございました。
  - ・こんなにも狂言と英語が違和感ないとは思いませんでした。とてもおもしろかったです。また、英語がシンプルなのでむしろ昔の日本語より理解しやすいと思いました。
  - ・狂言や間狂言のセリフがとてもおもしろく訳されていて楽しめました。アイ・ワキを能の口調で語っているのが興味深かったです。再演、レギュラー公演を切望します！ほとんどの日本人が能を見たことがない現状で外国の方が何十年も能を舞っていらっしやることを知り、本当に驚きました。ありがたいです。
  - ・公演をとっても楽しめた。英語によって動きの意味が理解できたり、日本の伝統的な部分も見ることができた。
- みんなで楽しむ日本舞踊の世界
  - ・日本舞踊は動いている絵のように美しかったです。大和楽という言葉を知り、それはすごくやさしい音楽だと感じました。中国の獅子舞とはかなり違っていますが、同じく獅子の勇ましさを表現していました。大変感動しました。
  - ・すばらしい内容でした。ありがとうございます。とりわけ英語で邦楽の試みは良かったです。感動しました。
  - ・着付けや化粧などの舞台準備を見せてもらって、とても楽しめた。

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2015

### 【概要】

開催日	平成27年11月14日（土）、15日（日）
会場	神楽坂界限
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
後援	新宿区、一般社団法人新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、江戸東京ガイドの会、東京都消費生活総合センター、日本出版クラブ、あずさ監査法人、第一勧業信用組合（神楽坂支店）
来場者数	約26,491人

### 【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用しつつ、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加してもらえる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能の屋外型フェスティバルを実施する。

### 【開催状況】

<前夜祭>

開催日	プログラム名	会場	参加作家等	料金（円）	参加者（人）
11/14	店めぐり・古典芸能ライブ	ザ・ロイヤル・スコッツマン、龍公亭、風雅すたいるカフェ、アグネスホテル東京カフェ&バー「オントレ・アー」	尻流複写二（シビル・コピー二）、鳥羽屋里夕、岡村慎太郎、春日とよ徳花	無料	355
	神楽坂路上界限	神楽坂界限	新内流し：鶴賀伊勢一郎、鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸 城端曳山祭（庵唄）：宝槌会（ほうてつかい）	無料	524

<本祭>

開催日	プログラム名	会場	参加作家等	料金（円）	参加者（人）
11/15	神楽坂楽座～講釈場	毘沙門天善國寺境内 特設ステージ	神田山緑（講談）、神田きらり（講談）、琵琶デュオ 後藤幸浩 × 水島結子（薩摩琵琶）、竹本京之助 × 鶴澤澤寿（義太夫節）、鶴賀伊勢吉 × 鶴賀伊勢幸（新内節）	無料	2,320
	神楽坂芸能めぐり街角ライブ	神楽坂界限	丸一仙翁社中（江戸太神楽）、マクイーン時田 深山（箏）× 吉峯勇二郎（コントラバス）、セ三味ストリート（津軽三味線パフォーマンズ）、温泉たまご（笛・尺八・中棗三味線）、小山 豊（津軽三味線）× 大多和正樹（和太鼓）、極楽三味 中村さんち（笙・箏・龍笛）、シェン響盟（尺八）× たしまみちを（ギター）× 栗山豊二（パーカッション）、上條 充（江戸糸あやつり人形）、木場大輔（胡弓）× 喜羽美帆（箏）	無料	16,450
	神楽坂路上界限	神楽坂界限	新内流し：鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸 城端曳山祭（庵唄）：宝槌会（ほうてつかい）	無料	625
	覗いてみようお座敷遊び	東京神楽坂組合 見番	神楽坂芸者衆：立方：万り、千佳、英子 地方：真由美（唄）、あやめ・櫻子（三味線）、由み奈（鳴物）	2,500	72
	赤城神社 夕暮れライブ	赤城神社 神楽殿	芳村伊十治郎連中（長唄）、雅楽三味 中村さんち（雅楽）、木場大輔（胡弓）× 喜羽美帆（箏）、丸一仙翁社中（江戸太神楽）	無料	1,020
	神楽坂タイムスリップ スタンプラリー／歴史ガイド	神楽坂エリア内7か所	日本大道芸：大道芸の会（絵解き地獄極楽、南京玉すだれ、わいわい天王 ほか）	無料	5,125

### 【参加者の声】

- ・とても楽しかったです。この地域は何回か回っていましたが、初めて詳しく説明を聞いて良かった。
- ・神楽坂の路地等も歩くイベントだったので、改めて興味深いエリアだと認識しました。楽しいイベントです。
- ・いろいろな芸能が観られてよかった。

# 10

## 東京大茶会 2015

### 【概要】

- 開催日** 平成27年10月3日(土)・4日(日)、10月10日(土)・11日(日)  
**会場** 江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園  
**主催** 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
**共催** 公益財団法人東京都公園協会(浜離宮恩賜庭園開催のみ)  
**後援** 中央区(浜離宮恩賜庭園開催のみ)  
 小金井市、小金井市商工会(江戸東京たてもの園開催のみ)  
**特別協力** 東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門(浜離宮恩賜庭園開催のみ)  
 東京都茶道会(江戸東京たてもの園開催のみ)  
**来場者数** 約19,300人

### 【事業趣旨(目的)】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする野点、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

開催日	会場	体験者(人)		茶席参加料(円)	イベント	出店	来場者(人)
10/3、4	江戸東京たてもの園	茶席	高橋是清邸	351	津軽三味線、獅子舞、大正琴	小金井市商工会	約11,100
			西川家別邸	329			
			川野商店	223			
		野点	933	300			
		茶道はじめて体験	443	300			
		子供のための茶道教室	121	200			
10/10、11	浜離宮恩賜庭園	茶席	中島の御茶屋	578	ステージイベント(書道パフォーマンス、江戸手妻等)	茶菓子、抹茶、軽食等	約8,200
			芳梅亭	400			
		野点	1,827	300			
		イングリッシュ野点	559	300			
		高校生野点	527	300			
		茶道はじめて体験	514	300			
計			6,805		計	約19,300	

### 【参加者の声】

- 江戸東京たてもの園
  - ・江戸東京たてもの園は初めてでしたが、歴史を感じる趣のある建物でお茶をいただくことができ幸せでした。毎日の疲れが吹き飛びました。ありがとうございました。(50代・女性)
  - ・日本の伝統芸能は意識して足を運んだり目を向けたりしないと日常で触れることはなくなってしまっているので、近くでこのようなイベントがあると大変うれしいです。子供にも伝えていきたいです。(40代・女性)
  - ・天気も良く素晴らしい立地の中でお茶会を存分に楽しませていただきました。(50代・男性)
- 浜離宮恩賜庭園
  - ・お茶を実際に点てることができ貴重な体験でした。(40代・男性)
  - ・野点での茶席は初めての体験でしたので、新鮮な気持ちでお茶を味わうことができました。(30代・男性)
  - ・外国人に日本の文化をシェアしてくれてありがとう。(20代・女性)
  - ・お茶を理解するのに英語の説明があり、助かりました。(30代・女性)

## キッズ伝統芸能体験

### 【概要】

開催期間	平成27年8月23日（日）（開講式：国立能楽堂）～平成28年3月30日（水）
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]、（立川での短期プログラムのみ）公益財団法人立川市地域文化振興財団
企画制作・運営協力	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本三曲協会、公益社団法人日本舞踊協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター）、台東区、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団（江東区文化センター）（江東での短期プログラムのみ）
後援	新宿区、立川市教育委員会（立川での短期プログラムのみ）
参加申込者数	1,196人（長期プログラム965人、短期プログラム231人）
参加費	長期プログラム 10,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ※ユース特別コース（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回） 短期プログラム3,000円（全7回／稽古6回、リハーサル・発表会1回）
参加者数	1,652人（長期プログラム304人、短期プログラム1,348人【サマーキャンプ72人、1-DAY1,276人「ワークショップ200人、フリータイム270人、みでみる・きいてみる582人※、フィナーレ（江東のみ）224人】）
観覧者数	2,725人（発表会 長期プログラム2,143人、短期プログラム582人） ※1-DAYの「みでみる・きいてみる」は短期プログラム観覧者にも換算
お試し体験	平成27年7月5日（日）参加者数365人（申込者数946人）

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の一流の実演家が伝統芸能にふさわしい稽古場で、子供たちに直接、そして定期的かつ継続的に指導を行うこと。これらの条件を重ねて果たすことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を子供たちが自然に身につけられるような学びの場をつくる。さらに、その成果を舞台で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知る。この本格的な伝統芸能体験を通して、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的とする。

### 【開催状況】

子供たちの豊かな感性の育成、伝統芸能の世界に触れる機会の提供を目的として、能楽・長唄・三曲・日本舞踊の一流の実演家が数か月にわたり子供たちを直接指導し、その成果をひのき舞台で発表するとともに、プロである講師による舞台の鑑賞会を実施した。また、より多くの子供たちに機会を提供するため、昨年度より引き続き長期プログラムでは中学生・高校生のみを対象としたユース特別コースを実施した。長期プログラムの他に地域に密着した夏休み期間中の短期プログラムを実施した。

#### 1. 長期プログラム

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者（人）	発表会場	発表日	鑑賞者（人）
能楽	宝生能楽堂	9/14 10/5 11/2、9、30 12/7、21、 H28.1/18、25 2/1、8、15、 22、29 3/7、12、14	水上優、 前田晴啓、 當山淳司、 金野泰大	20	宝生能楽堂	3/21	422
			三宅右矩、 三宅近成、 高澤祐介、 前田晃一、 金田弘明	20			

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者 (人)	発表会場	発表日	鑑賞者 (人)
長唄	杵家会館	10/25 11/1、8、15、 22 12/6、13 H28.1/10、17、 24	杵家弥七、 東音岩田喜美子、 今藤政太郎、 今藤政子、 今藤政音、 杵屋勝孝、 東音植松美名、 芳村伊十治郎、 芳村孝次女 ほか	11	浅草公会堂	3/30	
		12/6、13 H28.1/10、17、 24 2/7、14、28 3/6、13、20、 28		42			
		12/6、13 H28.1/10、17、 24 2/7、14 3/6、13、20、 28		15			
		10/25 11/1、8、15、 22 12/6、13 H28.1/10、17、 24		16			
		10/25 11/1、8、15、 22 12/6、13 H28.1/10、17、 24 2/7、14、28 3/6、13、20、 28		24			
三味線 (低学年)	新宿文化セン ター	11/1、15、22、 29 12/6、13、20 H28.1/10、17、 24	(山田流) 伊藤ちひろ、 朝香麻美子、 佐野博月、 設楽千聡代、 萩岡未貴、 三橋乙勢 (生田流) 久東操惠壽、 大嶋敦子、 大嶋礼子、 小畔香子、 阪元沙有理、 長塚梨秋	10	浅草公会堂	3/30	1,716 (内訳 第1部866、 第2部850)
三味線 (中学年以上)		2/7、14、28 3/6、13、20、 29		42			
三味線 (コース)		12/6、13、20 H28.1/10、17 2/7、14 3/6、13、20、 29		15			
囃子 (篠笛)		11/1、8、15、 22 12/6、13、20 H28.1/10、17、 24 2/7、14、28 3/6、13、20、 29		20			
囃子 (小鼓・大鼓・ 太鼓)		神 令、 芦垣皋盟、 櫻井咲山、 樋口景山					
日本舞踊	芸能花伝舎	11/1、8、15、 22 12/6、13、20 H28.1/10、17、 24 2/7、14、28 3/6、13、20、 29	泉秀樹、 五條詠絹、 西川一右、 花柳大日翠、 花柳輔蔵、 藤陰静寿、 藤間聖衣嘩、 若柳吉優亮	42	浅草公会堂	3/30	
		日本舞踊 (女子)		12			
		日本舞踊 (男子)		15			
日本舞踊 (女子コース)	12/6、13、20 H28.1/10、17 2/7、14 3/6、13、20、 29						
計				304	発表会鑑賞者計		2,138

## 2. 短期プログラム

長期間・定期の稽古参加が困難な子供たちに向けて、また多摩地域においてのプログラム提供を図る取組として、短期プログラムを実施した。

短期間に集中的に稽古を受け、最終日に発表会を行うクラスとその発表会当日に、会場を活用して様々なジャンルを体験できる参加型イベントで構成した。

### 【おけいこサマーキャンプ in 江東】平成27年7月25日（土）～8月2日（日）

内容		稽古場所	稽古日	指導者（人）	参加者（人）	発表会場	発表日	鑑賞者（人）
三曲	箏曲	江東区文化センター	7/25、26、28、29、31、8/1	5	16	江東区文化センター	8/2	336
長唄	三味線			16	20			

### 【おけいこサマーキャンプ in 立川】平成27年8月18日（火）～25日（火）

内容		稽古場所	稽古日	指導者（人）	参加者（人）	発表会場	発表日	鑑賞者（人）
三曲	箏曲	たましんRISURUホール	8/18、19、20、21、22、24	5	16	たましんRISURUホール小ホール	8/25	246
日本舞踊	日本舞踊			4	20			

### 【1-DAYいろいろ体験！】

**開催日** 江東：平成27年8月2日（日）15:00～17:00  
立川：平成27年8月25日（火）13:30～16:00

**場所** 江東：江東区文化センター（ロビー）  
立川：たましんRISURUホール（小ホール）

**内容** 1、「ワークショップ」日本舞踊、お箏、三味線の三種類から参加者が一つ選び体験する。

【内容】日本舞踊（定員30人）、お箏（定員40人）、三味線（定員40人）

【対象】小学1年生～高校3年生

2、「フリータイム！」

館内全体を使用した自由参加型の伝統芸能体験（三味線・尺八等実演）

3、「みでみる・きいてみる！」

プロの実演鑑賞とサマーキャンプ参加者の発表会（長唄・日本舞踊・三曲の3ジャンル）

**定員** 1、「ワークショップ」3コース合計110人 2、「フリータイム！」、3、「みでみる・きいてみる！」定員なし

**参加費** 1、「ワークショップ」 無料・事前申込制・多数抽選  
2、「フリータイム！」、3、「みでみる・きいてみる！」 無料・参加自由

**体験者数** 江東：472人（1、「ワークショップ」108人 2、「フリータイム！」140人 3、「フィナーレ」224人）

立川：222人（1、「ワークショップ」92人 2、「フリータイム！」130人）

**観覧者数** 江東：336人  
立川：246人

### 【参加者の声】

#### ●お稽古に参加した子供の声

- ・さいしょは一人できものがきれなかったし、おもうようにおどれなかったけど、おもしろく、やさしく、しどろしどろと楽しんでながらうまくできました。先生たちのおかげでとてもおおきいたっせいかんがあじわえました。（長期／小5女子）
- ・部活や塾の予定をやりくりして毎週通う価値がありました。このプログラムは私の一生物になりました。期待以上でした。（長期／高1女子）
- ・自分の国の文化を知ることと外国の文化も興味がわくし、とても良い経験になりました。やればできるということが自信になりました。（長期／高2女子）
- ・音楽を自分で演奏して楽しむものという新しい面を知ることができ、自分の人生を楽しむ上での視野がまた広がったかなと思います。（長期／高2男子）
- ・はじめは思ったように三味線の糸に当てられなかったり、指を動かすのがむずかしくてなかなかうまくひけなかったけれど、先生に教えてもらってできるようになったのでうれしかったです。（短期江東）
- ・今回の「おこと」すごく楽しかったです。先生達がひいた曲素晴らしかったです。私も目指したいです。（短期江東）

- ・日本舞踊を体験して、指先のきれも、美しくなり、静かに踊る、昔からある日本舞踊を踊ることができて、よかったです！！（短期立川）
- ・あまりよく知らなかったこのことがこんなひきかたもあるんだーとおどろき感心した。（短期立川）

●保護者の声

- ・それぞれのお子さんたちが、日本の伝統芸能（古典芸能）を一所懸命演じる姿がとても愛らしく、楽しい時間でした。能舞台を身近に気軽に体験できる良い機会でした。（宝生能楽堂 発表会）
- ・子供が参加させていただいて、本当に良い経験をさせていただきました。下の子も次回は参加させていただきたいです。（宝生能楽堂 発表会）
- ・子供の頃から触れると興味が湧くと思います。参加した子供たちは良い機会を与えられたと思います。（浅草公会堂 発表会）
- ・伝統芸能はなかなか体験する機会がありませんでしたが、同じ位の年齢の友達と一緒に稽古でき、いい経験になりました。これをキッカケにさらに興味を持ってもらえるといいなと思います。（浅草公会堂 発表会）
- ・伝統芸能系のお稽古は興味はあっても敷居が高いイメージがあるので、身近で体験出来たことは大変貴重だと思う。（短期江東）
- ・日本の昔から伝わってきたものは子供に伝わると良いと思い、いい機会でした。また子供も興味を持ったようで、本物の持つ力のすごさを感じました。（短期江東）
- ・一週間という短い期間に発表まで“カタチ”になり驚きました。また本物にふれる事が出来、親も子供にとっても貴重な時間でした。お世話になりありがとうございました。（短期立川）
- ・子どもにとって経験することが、1番の興味をひきつけることだと思います。1週間の短い期間でしたが、この先の経験が自信や興味に変わっていけば良いなと思います。（短期立川）



お稽古（箏曲）



お稽古（日本舞踊）



発表会（三味線）

## 12

## Music Program TOKYO

## 【概要】

開催期間	平成27年4月25日（土）～平成28年3月25日（金）
会場	東京文化会館 ほか
主催	東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
入場者数	延べ33,160人

## 【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラム。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信する。

## 【開催状況】

## 1. Enjoy Concerts!

## (1) メイン公演 小曾根真&amp;ブランフォード・マルサリス“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

開催日	会場	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
10/24	東京文化会館 大ホール	ピアノ：小曾根真 サクソフォン：ブランフォード・マルサリス	<第一部> ジョン・アダムズ：サクソフォン協奏曲 ほか <第二部> プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番 ほか	S席： 5,000 A席： 4,000 B席： 3,000 学生席： 1,000	2,192
10/25	オリンパスホール 八王子	指揮：エドウィン・アウトウォーター 管弦楽：東京都交響楽団			1,557
計					3,749

## (2) プラチナ・シリーズ

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
10/4	東京文化会館 小ホール	第1回 タンプッコ ～メキシコ発、驚異のパーカッション・アンサンブル～	リカルド・ガヤルド、アルフレッド・プリンガス、ミゲル・ゴンサレス、ラウル・トゥドン	S.ライヒ：木片のための音楽 G.フィットキン：フック ほか	[5回セット券] S席： 22,500 A席： 18,000 [1回券] S席： 5,000 A席： 4,000 B席： 2,500	527
10/18		第2回 秋吉敏子 ～TOSHIKO JAZZ LIVE!～	ピアノ：秋吉敏子	秋吉敏子：Long Yellow、Hope ほか		615
11/27		第3回 ゴーティエ・カブソン&児玉桃 ～二人のエスプリが奏でるチェロ・ソナタ～	チェロ：ゴティエ・カブソン ピアノ：児玉桃	ブリテン：チェロ・ソナタ ブラームス：チェロ・ソナタ第1番 ほか		614
2/2		第4回 ザ・クラリネット ～スーパー・クラリネット・アンサンブル～	クラリネット：エルスト・オッテンザマー、ダニエル・オッテンザマー、アンドレアス・オッテンザマー ピアノ：菊池洋子	“ON STAGE” ～オペラ、舞曲、そして映画音楽とともに～ モーツァルト：オペラ『コジ・ファン・トゥツテ』より“風はおだやかに” ほか		605
2/20		第5回 荘村清志 ゲスト：小林沙羅 ～20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた～	ギター：荘村清志 ピアノ：小林沙羅	【第1部】 フォーリオス 「SONGS」より島へ ほか 【第2部】 エキノクス ほか		548
計						2,909

## (3) まちなかコンサート

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
10/17	東京文化会館 小ホール	Vol.1 シネマ・セレナーデ	ナビゲーター：松尾紀子 ヴァイオリン：石亀協子、 トランペット：守岡未央 ホルン：濱地宗 トロンボーン：府川雪野 ほか	マンシーニ：ピンク・パンサーのテーマ ピアソラ：リベル・タンゴ ほか	1,000 (全席自由)	598

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
10/24	東京文化会館 小ホール	Vol.2 3歳からの楽しいクラシック	ピアノ：白石光隆 トランペット：高見信行	クラーク：トランペット・ ヴォランタリー アンダーソン：トランペット 吹きさの休日 ほか	500 (全席自由)	581
12/22		Vol.3 よりみちコンサート～歌 で贈るクリスマス・プレ ゼント～	ソプラノ：上田純子 清水理恵 テノール：宮里直樹 バリトン：高橋洋介 ほか	ブッチーニ：歌劇「ラ・ボ エーム」ハイライト	500 (全席自由)	567
計						1,746

(4) まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ

開催日	会場	編成	公演数	料金(円)	鑑賞者(人)
10/2	国立西洋美術館 本館1階ロビー 共催：国立西洋美術館	ソプラノ&バリトン	2	無料	258
10/3	江戸東京たてもの園 子宝湯 ※1	弦楽四重奏	2		439
		トロンボーン四重奏	2		448
クラリネット四重奏		2	449		
ヴァイオリン二重奏		2	651		
10/3	旧岩崎邸庭園 芝庭 (10/3)、洋館 (10/17) ※2	フルート&オーボエ&ピアノ	2		390
10/17	共催：公益財団法人東京都公園協会	弦楽四重奏	2		225
10/10	東京文化会館 キャノピー	フルート四重奏	2		683
10/11		金管五重奏	2		660
10/25	国立科学博物館 日本館1階中央ホール ※2	弦楽四重奏	2		635
10/31	東京国立博物館 本館エントランス ※2	金管五重奏	2		330
10/31	東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ	ソプラノ&ヴァイオリン	2		467
11/1		木管三重奏	2		230
11/1	恩賜上野動物園 西園 動物園ステージ ※2	木管五重奏	2		610
11/3	下町風俗資料館付設展示場 旧吉田屋酒店	金管三重奏	2		230
計					6,705

※1 まちなかコンサートの一環として「東京大茶会2015」と連携。

※2 施設への入館料/入園料別途。

(5) まちなかコンサート in 東京ミッドタウン

協 力：東京ミッドタウン（「六本木アートナイト2015」同日開催）

開催日	会場	編成	公演数	料金(円)	鑑賞者(人)
4/25	東京ミッドタウン アトリウム (ガレリアB1F)	弦楽四重奏	2	無料	702
4/26		金管五重奏	2		723
計					1,425

(6) まちなかコンサート×YOUフェス

共 催：YOUフェス実行委員会

開催日	会場	編成	公演数	料金(円)	鑑賞者(人)
9/5	JR御徒町駅南口前 パンダ広場	フルート四重奏	1	無料	326
		金管八重奏	1		

(7) まちなかコンサート×ドリーム夜さ来い祭り

ドリーム夜さ来い祭り主催：一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団

共催：一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会/フジテレビジョン/首都圏夜さ来い祭り振興協議会

開催日	会場	編成	公演数	料金(円)	鑑賞者(人)
10/30	お台場会場 シンボルブロード	金管八重奏	1	無料	150

(8) まちなかコンサート 上野「文化の杜」アーツフェスタ2016 春

主 催：上野「文化の杜」新構想実行委員会

開催日	会場	編成	公演数	料金 (円)	鑑賞者 (人)
3/25	上野恩賜公園 竹の台広場 (噴水前広場)	金管十重奏&打楽器	2	無料	1,080

2. Music Education Program

(1) Talk&Lesson

①小曾根真ワークショップ「自分で見つける音楽」Vol.3

開催日	会場	出演者	演奏曲目	料金 (円)	入場者 (人)
10/21	東京文化会館 小ホール	小曾根真	Ray Bryant: Cubano Chant Joseph Kosma: Autumn Leaves Makoto Ozone: Bienvenidos al Mundo Victor Young: My Foolish Heart	一般： 1,500 25歳以下： 1,000 (全席自由)	568

②玉木優トロンボーンワークショップ

開催日	会場	講師	料金 (円)	入場者 (人)
2/11、12	東京芸術劇場 シンフォニースペース	玉木優	受講： 30,000 (全3日間) 聴講： 1,000 (1日券) 2,500 (3日通し券)	延べ73 受講： 8 聴講： 49
2/13	東京文化会館 小ホール	高良仁美、越智大輔 黒金寛行、佐藤敬一朗 鳥塚心輔、青木昂、品川隆		

(2) Workshop! Workshop! 国際連携企画

共 催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、文京シビックホール (公益財団法人文京アカデミー)

協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

助 成：一般財団法人地域創造

①ワークショップ・リーダー育成プログラム

開催期間	会場	講師	対象	料金 (円)	参加者 (人) ※
7/16~3/21	東京文化会館、東京芸術劇場、文京シビックセンターほか	ジョルジュ・ブレンダス、ブルーノ・エステイマ、ソフィア・レアンドロ、パウロ・ネット、ジョルジュ・ケイジョ	18歳以上 アーティスト、教職員、学生、音楽ワークショップ・リーダーの活動に興味がある方	受講： 10,000 聴講： / ①全日コース： 6,000 ②各日コース： 2,000	延べ1,752 [79] 受講： 17 聴講： 8

※ □ 内は見学者数

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
6/7	東京文化会館 リハーサル室A	とびだせ! おんがくたんけん隊	伊原小百合、桜井しおり、野口綾子	6~18か月	500	53 [5]
				19~35か月		36 [1]
				5~6歳		38 [7]
8/23	東京文化会館 リハーサル室B	あけてみよう! 海のふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子	19~35か月		32
				3~4歳		39 [1]
		カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	一般 (未就学児不可)		25 [8]
12/5	東京文化会館 リハーサル室B	とびだせ! おんがくたんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	3~4歳		31 [1]
				5~6歳		23 [1]
				19~35か月		22
1/24	東京文化会館 リハーサル室A	鳴り響け! 日本の音!	伊原小百合、坂本夏樹	3~4歳	36	
				5~6歳	38	
		リズムカル・キッチン	磯野恵美、野口綾子	一般 (未就学児不可)	29	
計						402 [24]

※ □ 内は見学者数

③東京文化会館ミュージック・ワークショップin立川

主 催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
11/28	たましんRISURUホール 展示室	とびだせ!おんがく たんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお	6~18か月	300	49
				19か月~3歳		37
	たましんRISURUホール サブホール	リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子	小学生~大人		25
				あけてみよう!海の ふしぎな宝箱		磯野恵美、桜井しおり
11/29	たましんRISURUホール 展示室	とびだせ!おんがく たんけん隊	伊原小百合、たかせみお、 野口綾子	4~6歳	300	33
				カラダ・オト・ウタ ウ		伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお
	たましんRISURUホール サブホール	あけてみよう!海の ふしぎな宝箱	磯野恵美、桜井しおり	6~18か月		42
				19か月~3歳		35
計						273 [2]

※ [] 内は見学者数

④東京文化会館ミュージック・ワークショップin赤坂

共 催：公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
2/9	赤坂区民センター 多目的室	とびだせ!おんがく たんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお	6~18か月	500	16 [3]
				19~35か月		18 [1]
2/10		あけてみよう!海の ふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子	19~35か月		9 [2]
				6~18か月		18 [2]
計						61 [8]

※ [] 内は見学者数

⑤ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
7/17	文京シビックセンター レクリエーションホール	コオロギの大冒険	パウロ・ネット、ジョル ジュ・ケイジヨ	6~18か月	500	64 [21]
				19~35か月		57 [23]
7/18		とびだせ!おんがく たんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお	6~18か月		66 [21]
				19~35か月		59 [21]
7/19		ボディ・パーカッ ション	ブルーノ・エステイマ、ジョ ルジュ・ケイジヨ	一般 (未就学児 不可)		32 [3]
7/20		ムジカ・ピッコラ	ブルーノ・エステイマ、ソ フィア・レアンドロ	3~4歳		60 [26]
	5~6歳			61 [27]		
計						399 [142]

※ [] 内は見学者数

⑥ミュージック・ワークショップ・フェスタ

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
10/22	東京芸術劇場 リハーサ ルルームL	コオロギの大冒険	パウロ・ネット、ジョル ジュ・ケイジヨ	6~18か月	500	46 [4]
				19~35か月		28 [2]
10/23	東京文化会館 小ホール	コオロギの大冒険	パウロ・ネット、ジョル ジュ・ケイジヨ	6~18か月	500	41
	東京文化会館 リハーサ ル室B	とびだせ!おんがく たんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお	3~4歳		37 [11]
				生後19~35か月		38
	東京芸術劇場 シンフォ ニススペース	あけてみよう!海の ふしぎな宝箱	磯野恵美、桜井しおり	3~4歳		24 [2]
				6~18か月		43
19~35か月	30					
東京文化会館 リハーサ ル室A	シング&ビート	ジョルジュ・ブレンダス、 ソフィア・レアンドロ、ジョ ルジュ・ケイジヨ	小学生~大人	51 [41]		
10/24	東京文化会館 大ホール ホワイエ	カラダ・オト・ウタ ウ	伊原小百合、坂本夏樹、た かせみお	小学生~大人	29 [1]	

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	入場者 (人) ※
10/24	東京文化会館 大ホール 控室1	ライオン・ビート	ブルーノ・エスティマ、パウロ・ネート、磯野恵美	3~4歳 5~6歳	500	35 [1] 34 [2]
	東京文化会館 リハーサル室A	リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子	小学生~大人 中学生~大人		30 [2] 32 [21]
	東京文化会館 リハーサル室B	ムジカ・ピッコラ	ブルーノ・エスティマ、ソフィア・レアンドロ	5~6歳		24
	東京芸術劇場 リハーサルルームM3	新制作A スペース・アドベンチャー	ワークショップ・リーダー 育成プログラム 受講生	5~6歳		15 [1]
	東京芸術劇場 リハーサルルームM1	新制作B タネまき、タネまき、大きくなあれ!		3~4歳		18 [4]
	東京芸術劇場 リハーサルルームL	新制作C 咲かせよう! 音楽の花		6~18か月		40 [2]
10/25	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート「タ・タ・パ・トウ・エラvol.2」	ジョルジュ・ブレンダス、ブルーノ・エスティマ、ソフィア・レアンドロ、パウロ・ネート、ジョルジュ・ケイジュ、磯野恵美、伊原小百合、坂本夏樹、桜井しおり、たかせみお、野口綾子	小学生~大人 (未就学児入場可)		424 [97]
計						1,019 [191]

※ □ 内は見学者数

⑦ Museum Start あいうえの「あいうえの冒険隊」3館連携

主 催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
共 催：国会図書館国際子ども図書館、恩賜上野動物園

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	参加者 (人)
8/9	国立国会図書館 国際子ども図書館	あいうえの冒険隊	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	小学校3~6年生	無料	19
9/13	東京文化会館 リハーサル室B					20
10/11	東京都美術館・上野恩賜公園					20
計						59

⑧ プリティッシュ・カウンシルとの連携

主 催：プリティッシュ・カウンシル、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
協 力：KAJIMOTO

開催日	会場	プログラム名	講師	料金 (円)	入場者 (人)
9/29	東京芸術劇場 シンフォニースペース	フォーラム ロンドン交響楽団の教育プログラム「Discovery」	キャスリン・マクドウェル	無料	86

(3) オペラをつくろう!

共 催：文京シビックセンター（公益財団法人文京アカデミー）

開催日※1	会場	プログラム名	対象	料金 (円)	参加者 (人)
7/27~9/13 (22)	東京文化会館 文京シビックホール	ワークショップ1 オペラの登場人物になる! (うた・合奏・演技)	小学生~高校生	2,000	29
8/2、3 (4) 9/5 (ゲネプロ見学)	東京文化会館 アカデミー文京	ワークショップ2 オペラに登場するものづくり!? (工作)	小学生	500 ※2	108
7/27~9/13 (27)	東京文化会館 文京シビックホール	ワークショップ3 舞台を学ぶ! (演出・舞台装置・衣裳・照明・制作)	18~25歳	2,000	2
計					139

※1 () 内は実施回数

※2 ゲネプロ見学は無料

(4) アウトリーチ・コンサート

開催日	学校名	会場	編成・出演者 (代表者)	鑑賞者 (人) ※
5/27	小平市立上宿小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎 (トランペット) ほか	75
5/29	多摩市立西愛宕小学校	体育館	弦楽四重奏・瀧村依里 (ヴァイオリン) ほか	135

開催日	学校名	会場	編成・出演者(代表者)	鑑賞者(人)※
6/4	台東区立忍岡小学校	体育館	弦楽四重奏・瀧村依里(ヴァイオリン)ほか	266
6/9	町田市立南第一小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	572
6/12	東村山市立秋津小学校	体育館	弦楽四重奏・瀧村依里(ヴァイオリン)ほか	356
6/15	江戸川区立大杉東小学校	体育館	木管五重奏・梶川真歩(フルート)ほか	545
6/20	台東区立浅草小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	361
6/25	台東区立松が谷保育園	ホール	フルート&ピアノ・梶川真歩(フルート)ほか	156
6/26	江東区立亀高小学校	体育館	木管五重奏・梶川真歩(フルート)ほか	347
11/4	台東区立富士幼稚園	ホール	ヴァイオリン&ピアノ・瀧村依里(ヴァイオリン)ほか	71
11/6	江東区立大島南中央小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	172
11/11	八王子市立由木西小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	80
11/16	西東京市立谷戸小学校	体育館	弦楽四重奏・瀧村依里(ヴァイオリン)ほか	420
11/17	江東区立第二大島小学校	体育館	ソプラノ&テノール・清水理恵(ソプラノ)ほか	329
11/21	港区立赤坂中学校	体育館	ソプラノ&テノール・清水理恵(ソプラノ)ほか	105
11/25	江東区立川南小学校	体育館	弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン)ほか	406
12/15	台東区立台東保育園	ホール	フルート&ピアノ・梶川真歩(フルート)ほか	52
1/30	昭島市立富士見丘小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	350
2/8	台東区立金竜幼稚園	リス組 教室	トランペット&ピアノ・多田将太郎(トランペット)ほか	54
3/9	東久留米市立第三小学校	体育館	木管五重奏・梶川真歩(フルート)ほか	522
3/11	調布市立滝坂小学校	体育館	弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン)ほか	354
計				5,728

※鑑賞者には見学者(保護者)の数を含む

(5) アウトリーチ・ワークショップ、クリニック

開催日	学校名	プログラム	出演者/指導者※	参加者(人)
5/27	青梅市立第一小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	69
6/4	世田谷区立花見堂小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、たかせみお(坂本夏樹)	54
6/11	板橋区立上板橋第四小学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、たかせみお(伊原小百合)	68
6/12	台東区立大正幼稚園	あけてみよう!海のふしぎな宝箱	磯野恵美、桜井しおり	93
6/12	小平市立第十二小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹(たかせみお)	66
6/18	小平市立第九小学校	リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子(磯野恵美)	94
6/25	八王子市立恩方第一小学校	リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子(磯野恵美)	56
7/2	羽村市立羽村西小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	80
7/7	文京区立根津幼稚園	あけてみよう!海のふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子(磯野恵美)	75
7/17	台東区立谷中保育園	とびだせ!おんがくたんけん隊	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	59
9/24、25	文京区立小日向台町幼稚園	咲かせよう!音楽の花 タネまき、タネまき、大きくなあれ! スペース・アドベンチャー~宇宙を旅しよう、 音楽とともに!~	ワークショップ・リーダー育成プログラム受講生	111
9/30	三鷹市立第五小学校	打楽器ワークショップ	タンブッコ	534
9/30	葛飾区立青葉中学校	打楽器ワークショップ	タンブッコ	395
10/7	練馬区立大泉西小学校	リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子(磯野恵美)	54
10/29	目黒区立五本木小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	41
11/16	台東区立台桜幼稚園	鳴り響け!にほんの音!	坂本夏樹、たかせみお	62
12/10	品川区立大井第一小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、桜井しおり、野口綾子	141
12/24 1/14、25 2/4、6	台東区立千束小学校	クリニック(演奏指導)、成果発表	多田将太郎(トランペット)ほか	389
1/15 2/16、25 3/5	台東区立浅草小学校	クリニック(演奏指導)、成果発表	加藤文枝(チェロ)ほか	483
1/28	青梅市立第一小学校	カラダ・オト・ウタウ	伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお	21
2/1	文京区立本駒込幼稚園	ムジカ・ピッコラ	桜井しおり、磯野恵美	94
計				3,039

※()内の出演者は立会いのみ。

(6) 東京都内における特別支援学校コンサート

主催：東京オーケストラ事業協同組合

開催日	会場	出演	プログラム	入場者(人)
12/15	杉並区立済美養護学校	日本フィルハーモニー交響楽団	ビゼー：歌劇『カルメン』より「闘牛士の行進」ほか	195
1/26	東京都立光明特別支援学校	東京フィルハーモニー交響楽団	ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より「スイス軍の行進」ほか	150
2/3	東京都立八王子特別支援学校	東京交響楽団	ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より「スイス軍の行進」ほか	747
3/8	東京都立墨田特別支援学校	新日本フィルハーモニー交響楽団	ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」ほか	380
計				1,472

【参加者の声】

- 小曽根真&ブランフォード・マルサリス“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団
  - ・トップジャズミュージシャンが、クラシックのオケと融合していく様子がとてもリアルで興奮しました。指揮者が北米の方でジャズに精通しているように思い、音楽の世界がどんどん広がっていくようでした。
- プラチナ・シリーズ 第4回 ザ・クラリノッツ
  - ・最高のパフォーマンスでした。人気の演奏者を小ホールくらいの距離で見られるのはとてもよいです。
- まちなかコンサート Vol.2 3歳からの楽しいクラシック
  - ・時間、選曲も良くて4歳児も大人も楽しめました。ホールなのに低料金でありがたかったです。
- 東京文化会館ミュージック・ワークショップ「ココロギの大冒険」
  - ・未就学児の回でしたが、同伴者も楽しめました。また別のプログラムも参加したいと思います。
- オペラをつくろう！ワークショップ1 オペラの登場人物になる！（うた・合奏・演技）
  - ・すごく楽しかったです。舞台を作る楽しさを間近で感じられたと思います。



小曽根真&ブランフォード・マルサリス  
“Jazz meets Classic”with 東京都交響楽団  
©青柳聡



プラチナ・シリーズ第4回ザ・クラリノッツ  
©青柳聡



まちなかコンサートVol.3よりみちコンサート  
©ヒダキトモコ



Talk&Lesson小曽根真ワークショップ  
©青柳聡



あけてみよう！海のふしぎな宝箱



タネまき、タネまき、大きくなあれ！  
©鈴木穂蔵

# 13

## プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～

### 【概要】

開催期間 平成27年6月20日（土）～平成28年2月7日（日）  
 会場 都内12地域  
 主催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 入場者数 5,379人

### 【事業趣旨（目的）】

子供から大人まで幅広い方々にクラシック音楽を身近に楽しんでいただくため、観客参加・体験型のオーケストラ公演やアンサンブル公演を、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団が多摩・島しょ地域で開催する。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げていけるよう気運の醸成を図る。

### 【開催状況】

東京の音楽文化の発信に寄与することを目的として、多摩地域での10公演（オーケストラ公演6、アンサンブル公演4）、島しょ地域では大島町、新島村2町村（3島）でアンサンブル公演を入場無料で実施。オーケストラ公演では、開演前・後にヴァイオリン、チェロ、打楽器等の楽器体験企画も実施し、多くの方々に楽器に触れていただいた。

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
6/20	武蔵村山公演（武蔵村山市民会館（さくらホール）大ホール）	指揮：大井剛史 司会：江原陽子 東京都交響楽団	ロッシェニ：歌劇『セビリアの理髪師』序曲 ヴォーン・ウィリアムズ：グリーンズリーヴスによる幻想曲 スメタナ：連作交響詩《わが祖国》より「ウルタヴァ（モルダウ）」 チャイコフスキー：バレエ組曲《くるみ割り人形》（全曲） 【参加体験企画】ミニコンサート（弦楽四重奏）	780
6/21	奥多摩町公演（奥多摩文化会館 視聴覚室） 共催：奥多摩町教育委員会	東京都交響楽団による弦楽四重奏&ソプラノ	クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリ カッチーニ：アヴェ・マリア※ レハール：喜歌劇「メリー・ウィドウ」より「ワルツ（唇は語らずとも）」 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番 ヘ長調「アメリカ」より第1楽章、第4楽章 山口景子編曲：子どもたちみんな大好き！「キッズソングメドレー」（アンパンマンのマーチ～マル・マル・モリ・モリ！～勇気100%） 海沼実：みかんの花咲く丘 中山晋平：ゴンドラの唄 絢香：NHK連続テレビ小説「花子とアン」主題歌『にじいろ』 北原白秋作詞、山田耕筰作曲：からたちの花 高野辰之作詞、岡野貞一作曲：ふるさと ※ソプラノによる	76
7/13	町田公演（町田市民ホール） 共催：一般財団法人町田市文化・国際交流財団	指揮：グスターボ・ヒメノ 司会：山田美也子 東京都交響楽団	ベートーヴェン：序曲《コリオラン》op.62 ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92 【参加体験企画】楽器体験	744
7/22	大島公演（昼公演）（大島町開発総合センター） 後援：大島町	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏&ソプラノ	エルガー：愛のあいざつ 【楽員による楽器解説】 クライスラー：愛の喜び&愛の悲しみ ヘンデル：歌劇「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」※ レハール：喜歌劇「メリー・ウィドウ」より「ワルツ」※ すぎやまこういち：ドラゴンクエストの音楽から「序曲」 木村 弓：宮崎駿アニメ「千と千尋の神隠し」より「いつも何度でも」 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 菊谷知樹：ようかい体操第一 K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」より主題歌「Let it go」 K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」より「生まれてはじめて」 ※ソプラノによる	91
7/22	大島公演（夜公演）（大島町開発総合センター） 後援：大島町	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏&ソプラノ	エルガー：愛のあいざつ クライスラー：愛の喜び&愛の悲しみ ヘンデル：歌劇「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」※ レハール：喜歌劇「メリー・ウィドウ」より「ワルツ」※ 木村 弓：宮崎駿アニメ「千と千尋の神隠し」より「いつも何度でも」 久石 譲：宮崎駿アニメ「天空の城ラピュタ」より「君をのせて」 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 絢香：NHK連続テレビ小説「花子とアン」主題歌『にじいろ』 中島みゆき：NHK連続テレビ小説「マッサン」主題歌「麦の唄」 K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」より主題歌「Let it go」 山口景子編曲：古き良き時代「懐かしい歌ヒットメドレー」 （高原列車は行く～鉄腕アトム～すみれの花咲く頃～月光仮面は誰でしょう～ここに幸あり～銀座カンカン娘） ※ソプラノによる	113

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
7/29	小平公演 (ルネこだいら 大ホール (小平市民文化会館))	指揮：梅田俊明 ソプラノ：三宅理恵 司会：朝岡聡 東京都交響楽団	メンデルスゾーン：劇音楽《真夏の夜の夢》序曲 ムソルグスキー (リムスキー=ニコルサコフ編曲)：交響詩《はげ山の一夜》 プッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」※ J.シュトラウス：歌劇『こもり』より「公爵様、あなたのようなお方は」※ 【参加体験企画】ソプラノと一緒に合唱 中田喜直：夏の思い出※ ストラヴィンスキー：バレエ組曲《火の鳥》(1919年版) ※ソプラノによる	997
10/4	瑞穂町公演 (スカイホール小ホール) 共催：瑞穂町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる木管五重奏	イベール：三つの小品より第1曲 ハイドン作曲、ペリー編曲：ディヴェルティメント 変口長調 Hob. II -46「聖アンソニーのコーラル」 宮崎 駿 名作アニメより「となりのトトロ」 近衛秀健編曲：日本の歌メドレー (五木の子守唄～ずいずいずっころばし～七つの子～通りゃんせ～浜辺の歌) 近衛秀健編曲：フォスターメドレー (故郷の人々 (スワニー河)～おおサンナ～夢路より～オールド・ブラック・ジョー～草競馬) ロジャース作曲、ホルコム編曲：サウンド・オブ・ミュージックメドレー (サウンド・オブ・ミュージック～マリア～私のお気に入り～ドレミの歌～もうすぐ17歳～ひとりぼっちの羊飼～さようなら、ごきげんよう～エーデルワイス～全ての山に登れ)	102
10/13	新島公演 (新島住民センター2階 集会室) 協力：新島村教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	エルガー：愛のあいさつ モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク 長調 より第1楽章 ポロディン：弦楽四重奏曲第2番 より第1楽章、第3楽章「ノクターン」 菊谷知樹：ようかい体操第一 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」主題歌『Let it go』 アンドレア・モリコーネ：ニューシネマパラダイスより『愛のテーマ』 中島みゆき：NHK連続テレビ小説「マッサン」主題歌『麦の唄』 山口景子編曲：古き良き時代「懐かしい歌ヒットメドレー」 (高原列車は行く～鉄腕アトム～すみれの花咲く頃～月光仮面は誰でしょう～ここに幸あり～銀座カンカン娘) 高野辰之作詞、岡野貞一作曲：ふるさと	90
10/14	式根島公演 (式根島開発総合センター 集会室) 協力：新島村教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	エルガー：愛のあいさつ モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク 長調 より第1楽章 ポロディン：弦楽四重奏曲第2番 より第1楽章、第3楽章「ノクターン」 菊谷知樹：ようかい体操第一 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」主題歌『Let it go』 アンドレア・モリコーネ：ニューシネマパラダイスより『愛のテーマ』 中島みゆき：NHK連続テレビ小説「マッサン」主題歌『麦の唄』 山口景子編曲：古き良き時代「懐かしい歌ヒットメドレー」 (高原列車は行く～鉄腕アトム～すみれの花咲く頃～月光仮面は誰でしょう～ここに幸あり～銀座カンカン娘) 高野辰之作詞、岡野貞一作曲：ふるさと	60
10/17	日の出町公演 (日の出町やまびこホール) 共催：日の出町、日の出町教育委員会	東京都交響楽団による金管五重奏	すぎやまこういち：「ドラゴンクエスト」序曲のマーチ ヘンデル：組曲「王宮の花火の音楽」より フォスター：草競馬の一日 【楽員による楽器紹介】 L.アンダーソン：トランペット吹きの日 H.フィルモア：ラッサス トロンボーン ディズニーメドレー (星に願いを～ミッキー・マウスマーチ～ハイホー～ホール・ニュー・ワールド～美女と野獣～くまのプーさん～バンビ～101匹ワンちゃん～アンター・ザ・シー) 映画「となりのトトロ」より (さんぽ～ねこバス～となりのトトロ) K.A.ロベス & R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」より主題歌『Let it go』 【平井中学校吹奏楽部とジョイント】 アンコール① インスタントコンサート アンコール② ワシントン・ポスト (金管五重奏のみ)	120
10/19	小金井公演 (小金井市民交流センター 大ホール) 共催：小金井市	指揮：藤岡幸夫 司会：朝岡聡 東京都交響楽団	モーツァルト：歌劇『魔笛』序曲K.620 ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調 op.67《運命》 【参加体験企画】指揮体験コーナー (『運命』を使って)	497
10/21	秋川公演 (秋川キララホール)	指揮：藤岡幸夫 バス・バリトン & 司会：久保和範 東京都交響楽団	モーツァルト：歌劇『魔笛』序曲K.620 モーツァルト：歌劇『魔笛』より「おいらは鳥刺し」※ モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」※ ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調 op.67《運命》 【参加体験企画】ミニコンサート ※バス・バリトンによる	688

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
12/5	檜原村公演(檜原村やすらぎの里 多目的ホール) 共催: 檜原村、檜原村教育委員会	東京都交響楽団による金管五重奏	ベートーヴェン: 交響曲第9番「合唱付」より「歓喜の歌」 チャイコフスキー: バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 高橋敦 編曲: ディズニー・ソングス・メドレー (ミッキーマウス~いつか王子様が~チム・チム・チェリー~ホール・ニュー・ワールド~美女と野獣~小さな世界~星に願いを) 【檜原村長 オカリナとジョイント】 中田喜直: ちいさい秋みつけた すぎやまこういち: 「ドラゴンクエスト III」より「冒険の旅」ジョン・アイヴソン 編曲: クリスマス・クラッカーズ 1 ジングル・ベル~ひいらぎ飾ろう 2 キャロル・ファンタジー 3 クリスマスおめでとう 【檜原中学校吹奏楽部とジョイント】 福田洋介: 3つの花	79
2/7	立川公演(たましんRISURUホール) 共催: 立川市	指揮: 山下一史 司会: 江原陽子 東京都交響楽団	チャイコフスキー: 歌劇『エフゲニー・オネーギン』より「ワルツ」 チャイコフスキー: バレエ組曲《くるみ割り人形》 チャイコフスキー: 幻想序曲《ロメオとジュリエット》 【参加体験企画】 楽器体験	942

### 【参加者の声】

#### ●オーケストラ公演

- ・子供がオーケストラを初めて聞く機会となり、喜んでいたので良かった。(武蔵村山公演)
- ・コンサートをとても身近に感じられ、豊かで幸せな気持ちになりました。これからも企画して欲しいと思います。(町田公演)
- ・19:30の開演は会場到着までの時間に余裕が出来て良かったです。(小金井公演)
- ・素敵な時間をありがとうございました。生で聞くのは格別でした。子供2人と素敵な時間を過ごしました。(立川公演)

#### ●アンサンブル公演

- ・演奏会に出かけて行く機会が中々ないので地元で公演会を開いてもらってとても良かったです。(奥多摩町公演)
- ・大変楽しかった。大島ではなかなか生演奏にふれる機会がないので子供にとってはとっても貴重です。(大島公演)
- ・以前から、このような活動をされていると聞いていましたが、今回観ることができて本当に嬉しく感じました。内地から距離があるので、スポーツ、芸術などは「本物」を見る機会がほとんどありません。特に島の子供たちはなかなかこのような機会に恵まれていないように感じます。小さい頃から本物を感じる、感動する機会がもっとほしいです。ありがとうございました。(新島公演)
- ・コンサートに行く機会がないので、とても良かったです。ありがとうございました。(式根島公演)
- ・アットホーム的で親しみがもてた。中学生にも素直に一緒に恥らう事なくやって良かった。(日の出町公演)
- ・久しぶりに生演奏に感激しました。ありがとうございました。良い時間を過ごせた。(檜原村公演)



楽器体験の様子(立川公演)



オーケストラ公演の様子(武蔵村山公演)

## 14

## アンサンブルズ東京

## 【概要】

開催日	平成27年8月30日（日）
会場	東京駅前丸の内側 行幸通り
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、アンサンブルズ東京実行委員会【一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、ピースリーマネジメント有限公司】
助成・協力	東京都
協力	国際交流基金アジアセンター、TodaysArt Japan、アサヒビール株式会社
後援	千代田区
鑑賞・参加者数	約10,348人

## 【事業目的（目的）】

東京ならではの独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信するため、東京の玄関口であり各地から多様な人々が集まる象徴的な場所・東京駅の目の前の行幸通りで、地域と共に文化拠点形成を図り、誰もが参画できる音楽フェスティバルを実施。音楽家・大友良英のディレクションのもと、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手でフェスティバルを作り上げ、地域の新たな魅力を発見し、東京の持つ芸術文化の力を引き出す音楽祭を目指す。

## 【開催状況】

開催日	プログラム名	会場	出演者等	料金（円）	参加者（人）	
8/28、29	ワークショップ	「一緒に演奏するワークショップ」	たなか舞台芸術スタジオ	大友良英とテニスコーツ	一律 3,000	32
		「パフォーマンスワークショップ」	たなか舞台芸術スタジオ	渋谷知らズ		7
		「管楽器ワークショップ」	東京芸術劇場 リハーサルルーム			15
		「リズム楽器ワークショップ」	東京文化会館 リハーサル室	Orquesta Nudge! Nudge!		23
		「ヴォイスパフォーマンス」	東京芸術劇場 リハーサルルーム	ルリー・シャバラ		21
		なってるはうす				
8/29	大風呂敷ワークショップサミット	東京・天王洲大風呂敷工場（東品川バナソニックビル 特設会場）	福島、札幌、名古屋、多治見、猪苗代、東京豊島区など各地の大風呂敷工場から集まったメンバー	無料	約50	
8/30	アンサンブルズ東京	東京駅前丸の内側 行幸通り	大友良英とテニスコーツ、渋谷知らズ、Orquesta Nudge! Nudge!、ルリー・シャバラ、プロジェクト FUKUSHIMA!、ワークショップ参加者	無料	累計約 10,200	

## 【参加者の声】

- ・アンサンブルズ東京。舞台と観客の隔たりが無くなった。みんな大声で歌って、音が鳴り響く。素晴らしい夜でした。
- ・音楽って別に言葉なんか通じなくて最高だなと思った瞬間 アンサンブルズ東京
- ・アンサンブルズ東京、楽しかった。うまく叩けたかどうかは別として、思いっきり叩けて気持ちよかった。WSのみなさん、ナッジナッジのみなさま、そしてスタッフのみなさまに感謝。

# 15

## ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭2015連携事業

### 【概要】

開催日 平成27年5月1日（金）～4日（月・祝）  
 会場 東京国際フォーラム ほか  
 主催 株式会社東京国際フォーラム  
 共催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 観覧・参加者数 29,149人（音楽祭来場者数 延べ427,000人）

### 【事業趣旨（目的）】

日本を代表するクラシックの祭典である「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」と連携し、子供たちを対象としたワークショップの実施など、若手音楽家の育成を図る。

### 【開催状況】

開催日	プログラム名	講師・出演者	参加校	観覧者（人）
4/13	アウトリーチ	三宮正満（バロックオーボエ） 荒木優子（バロックヴァイオリン） 懸田貴嗣（バロックチェロ）	千代田区立お茶の水小学校（5、6年生）	105
			千代田区立昌平小学（4、5、6年生）	117
5/1	公開リハーサル	池上直子（ダンサー） 蛭子奈緒美（ダンサー） 宇山たわ（ダンサー） シンフォニア・ヴァルソヴィア ロベルト・トレヴィーノ（指揮） 中村萌子（司会）	千代田区立お茶の水小学校（6年生）	62
			千代田区立昌平小学校（4、5、6年生）	126
			千代田区立富士見小学校（6年生）	57
			千代田区立麹町小学校（4年生）	61
			千代田区立九段中等教育学校（1年生）	169
			中央区立泰明小学校（5、6年生）	117
中央区立常盤小学校（5、6年生）	30			

開催日	プログラム名	会場	出演者	観覧者（人）
5/1	みんなでハレルヤ	地上広場	曾我大介（指揮）、辰巳琢郎（LFJ2015アンバサダー）、クレティオ プラス アンサンブル、みんなでハレルヤオーケストラ、みんなでハレルヤ合唱団、一般参加者 【曲目：ヘンデル オラトリオ「メサイア」より「ハレルヤ・コーラス」(LFJ 2015スペシャルバージョン)】	1,500
	熱狂のプレナイト		御喜美江	300
			アントニオ・ザンブージョ・クインテット	200
5/2			The Pink BAcCHus！（オーケストラ）[1回目]	500
			The Pink BAcCHus！（オーケストラ）[2回目]	1,200
			SPARK ※有料公演出演者によるサプライズ出演	1,000
			洗足学園音楽大学サクソフォン・オーケストラ	600
			東邦音楽大学ブラスクワイア（金管バンド）	600
			東京ユヴェントス・フィルハーモニー合唱団、坂入健司郎（指揮）	200
5/3	キオスクコンサート	展示ホール	イズミノーツ（千代田区立和泉小学校ビッグバンドクラブ）	1,100
			SPARK ※有料公演出演者によるサプライズ公演	1,700
			丸の内フェスティバルシンガーズ&市川交響楽団有志	1,400
			竹内正実&マトリョミンアンサンブル "Mable" & "Da"	600
			東京ユヴェントス・フィルハーモニー、坂入健司郎（指揮）	600
			Orchestra MOTIF、日置駿（ヴァイオリン）、田村桃子（フルート）	300
5/4			丸の内合唱団 高野秀峰（指揮）、赤司美苗（ピアノ）	700
			芝学園ギター部	1,300
			クラシックソムリエ・シンフォニック/オペラコンサート「恋のバシオン」	2,000
			東京音楽大学ピアノクインテット	600
			打楽器集団「男群」	1,100

開催日	プログラム名	会場	出演者	観覧者(人)	
5/2	キオスクコンサート	地上広場	上野学園大学ピアノ連弾	400	
			Adventurous Hornists Organization	300	
5/2		地上広場	ハチャトゥリア楽団(ニューオリンズ・ジャズ)	250	
			渋さ知らズオーケストラ※有料公演出演者によるサプライズ公演	500	
			Quartet POMPA	250	
			エールスト木管合奏団	250	
5/3		地上広場	東邦音楽大学ホルンアンサンブル「マジカルエスカルゴ」	200	
			FEAMS(フルート・カルテット)	500	
			アントニオ・ザンブージョ※有料公演出演者によるサプライズ出演	400	
			アンサンブル・ソユーズ	400	
			芸劇ウィンド・オーケストラ トロンボントリオ	300	
5/4		地上広場	TakatoSatopi	250	
			東邦音楽大学弦楽四重奏団	400	
			Immortal Instant Jazz	450	
	上野耕平(サクソフォン)		400		
	東京トロンボーンオーケストラ		300		
	打楽器集団「男群」		600		
5/2	こどもたちの音楽アトリエ	展示ホール	上野学園大学サクソフォン五重奏	400	
5/3			「連弾コンサート ～舞曲のバシオン! 踊りだす民族のリズム!～」 エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)、クレール・デゼール(ピアノ)	700	
5/4			「おはなしコンサート ～音楽からきこえる“ものがたり”と“きもち”～」 シャニ・ディリュカ(ピアノ)	700	
5/2	マスタークラス	G402 会議室	「うたとリズムでかなでよう みんなでオーケストラ!!!」 永峰大輔(指揮)、崎谷直人(コンサートマスター)、弦楽合奏団(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)	800	
			加藤知子(ヴァイオリン)	103	
			ルイス＝フェルナンド・ベレス(ピアノ)	147	
			マスタークラス特別編「バシオンを語る」 バルナバシュ・ドゥカイ(作曲家) 聞き手: 林田直樹(音楽ジャーナリスト・評論家)	72	
			エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)	119	
			広瀬悦子(ピアノ)	142	
			5/3	アブデル・ラーマン・エル＝バシャ(ピアノ)	146
			オーギュスタン・デュメイ(ヴァイオリン)	156	
			5/3	マスタークラス特別編「バシオンを語る」 ジャン＝クロード・ペヌティエ(ピアノ) 聞き手: 梅津時比古(音楽評論家)	145
			クレール＝マリ・ルゲ(ピアノ)	168	
5/4	クレール・デゼール&エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ/連弾作品)	152			
	エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)	100			
	佐藤俊介(ヴァイオリン)	159			
	クレール・デゼール(ピアノ)	157			
	アンヌ・ケフェレック(ピアノ)	146			
5/4	マスタークラス特別編「バシオンを語る」 ミシェル・コルボ(指揮) 聞き手: 飯田有抄(音楽ライター)	143			

【参加者の声】

- ・プレイベント「みんなでハレルヤ」に参加しました。自分もこの音楽祭に参加しているという思いをもつことができました。来年もぜひ、企画してください。
- ・地上キオスクコンサートが充実していた。バラエティに富んでいてとても楽しめた。
- ・展示ホールの演目は質が上がり十分満足できる内容だったと思う。
- ・マスタークラスは普段参加できる機会がなく、とても興味深く拝見しました。

# 16

## 六本木アートナイト2015

### 【概要】

開催日時	平成27年4月25日（土）～26日（日）
開催場所	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
主催	東京都 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
共催	港区
特別助成	アムステルダム市、オランダ王国大使館、スイス大使館、台湾文化部、ブリティッシュ・カウンシル
後援	観光庁、台北駐日経済文化代表処 台北文化センター、ドイツ大連邦共和国使館、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、テレビ朝日、J-WAVE、六本木“Art&Designの街”推進会議
特別協賛	アクセンチュア株式会社
エリア協賛	サントリーウイスキー響くジャパニーズハーモニー、西武・そごう
協賛	飯田電機工業株式会社、株式会社ヴァリアス・ディメンションズ、株式会社クオラス、株式会社東京タカラ商会、オートデスク株式会社、株式会社コングレ、T S P 太陽株式会社、中村展設株式会社、ピーディーシー株式会社、アットホーム株式会社、株式会社アルタイル、株式会社イースト、株式会社オリコム、株式会社川島織物セルコン、株式会社共立、株式会社クラフト、株式会社グリーンディスプレイ、株式会社ジールアソシエイツ、笑遊堂、シンテイ警備株式会社、大成株式会社、株式会社つむら工芸、株式会社 東京スタデオ、東京メトロ、株式会社トランジットジェネラルオフィス、富士急グループ 株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社ブランコ、株式会社フロンティアインターナショナル、株式会社モンタージュ、郵船トラベル株式会社
プログラムサポート	Google
特別協力	グランド ハイアット 東京
制作協力	ライゾマティクス、NPO法人 Offsite Dance Project、全日本ダンストラック協会
運営協力	六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ
協力	経済産業省、あじさいバーキング、アマンド 六本木店、市川バラ園、WIND、ウルフギャング・バック カフェ 六本木ロアビル店、Ebonye 六本木店、カラオケ館六本木本館、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、GROUNDRIIDIM、クリスティ・デジタル・システムズ 日本支社、国立大学法人政策研究大学院大学、C-DEPOT、株式会社シーマ、株式会社シネ・フォーカス、株式会社誠志堂ワールド、DINNING BAR roose、株式会社TASKO、立原金物店、ターナー色彩株式会社、多摩大学 村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」、TOKYO（株式会社太陽企画）、東京工芸大学芸術学部 アニメーション学科、東宝株式会社、ドン・キホーテ 六本木店、HYS INC.、株式会社パース、Patata 六本木、パールデルソーレ六本木本店、フォトショップ 銀嶺、船水誉喜、フラワーアートアワード2015実行委員会（PLAINS.INC.）、フリホーレス 六本木、ホットマン 六本木店、MountPosition Inc.、MALINS、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ、リオグランデグリル 六本木、株式会社RYU、リュネット・ジュラ ミヤコヤ 六本木、レゴジャパン株式会社、ロア六本木 六本木共同ビル株式会社、ローズファームケイジ、ロティ 六本木、ワイモバイル六本木Internet Park
協力ホテル	グランド ハイアット 東京、ザ・リッツ・カールトン東京
鑑賞者数	2日間の全プログラムの延べ鑑賞者数78万人

### 【事業趣旨（目的）】

六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴。様々な文化施設や商業施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を作り出す。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案する。また、アートと街が一体化する

ことによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街作りの先駆的なモデルを創出する。東京を代表するアートの祭典として、日本のみならず世界的に認知され、高い評価を得ることを目指す。

## 【開催状況】

### 【広域プログラム】

#### (1) ハルはアケボノ広場

##### ①六本木ヒルズアリーナ

- ・コアタイムキックオフセレモニー
- ・アケボノ号始動！ライブ with HIFANA+ゲスト
- ・《ドラ×ヨーコ 六本木スペクタクル》(ドラびでお×東野祥子)
- ・ディレクターズトーク(日比野克彦、齋藤精一)
- ・《六本木アンビエント》(蓮沼執太、石塚周太、木下美紗都、福留麻里)
- ・《六本木演舞場(ろくほんもくやまいば) Vol.3》
- ・あけぼのトーク&アケボノ号の帰還
- ・ストローでつくろう！コテトラワークショップ
- ・《ズンマチャンゴのかけら箱》
- ・夢を撮る、踊る、「夢と踊りと音」

##### ②東京ミッドタウン アトリウム

- ・《六本木演舞場(ろくほんもくやまいば) Vol.3》
- ・《ズンマチャンゴのかけら箱》
- ・《川村美紀子/サイレントナイト》
- ・アケボノ号出張パフォーマンス with HIFANA

#### (2) アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号

- ・アケボノ号始動！ライブwith HIFANA+ゲスト(HIFANA、DJ吉沢、ドラ+ヨーコ)
- ・アケボノ号出張パフォーマンス@国立新美術館
- ・アケボノ号との対話@六本木ヒルズ
- ・アケボノ号出張パフォーマンスwith HIFANA@東京ミッドタウン
- ・ハル号ライブペインティング@東京ミッドタウン(MHARO、DOPPEL MON)
- ・スペシャルトーク「都市×アート×テクノロジー：東京の未来を考える」  
(齋藤精一、水口哲也、クレア・レディントン、ベン・パーカー、サム・ヒル)

#### (3) 街なかインスタレーション

- ・《Bloom》Tim van Cromvoirt + Marleen Maathuis
- ・《キャンディ》東恩納裕一
- ・《結びつく街》ジェイ・ムーン(オープン・コール・プロジェクト選出作品)
- ・《SENSELESS DRAWING BOT》菅野 創+やんツ一
- ・《KAWAT Tower》おかだゆか&川名宏和(オープン・コール・プロジェクト選出作品)
- ・《Morphing Cube》山岡潤一
- ・《ROPPONGI DATA OF MIND》Rhizomatiks
- ・「リライトプロジェクト」キックオフ!!
- ・《Sign for public art》中崎 透
- ・《とるにたらない》《潜る》クリスティーン・カメニッシュ、ヨハン・ヴェツチュ
- ・ダムタイプ映像祭
- ・《写場》曾根光揮
- ・《TME - Tokyo Metropolitan Expressway》ニナ・フィッシャー & マロアン・エル・サニ
- ・《Lungplant》Tim van Cromvoirt
- ・《Wirel》《Crystal City 002》ウー・ジーツォン
- ・《Hello Lamp Post Tokyo》PAN Studio, Tom Armitage and Gyorgyi Galik

#### (4) 街なかパフォーマンス

- ・ダンス・トラック・プロジェクト  
(鈴木ユキオ、中村 蓉×豊福彬文、白井 剛、MOKK、Jon (犬)、向雲太郎、未来.Co、AEROBIX、新宅一平、北尾 亘)
- ・サイレントダンスプログラム

《ご多分にもれず、ふつう。～六本木の空の下バージョン～》モモンガ・コンプレックス with 舞台美術人間、  
《Dancing in the Street》室伏 鴻

- ・《六本木アートナイトスイッチ》スイッチ総研（オープン・コール・プロジェクト選出作品）
- ・《ズンマチャンゴのかげら箱》ズンマチャンゴ（オープン・コール・プロジェクト選出作品）

(5) 街なかミーティング

①ハルはアケボノカフェ

- ・脳波ビジュアライゼーション《BrainsDreamMusic-脳が夢見る音楽》(.pf)
- ・ライブウォールペイント (Steven Van Lummel × Adrian Pusher)
- ・ライブウィンドウペイント (高橋 洋平、SUI the TOKYO、小田佑二、ホタテサキ)
- ・シンポジウム

第一部「Art meets Life」(生駒芳子、清川あさみ、宮津大輔)

第二部「真に文化を創り出すのは夜である！」(木幡和枝、Mirik Milan、茂木健一郎、箭内道彦、日比野克彦)

- ・「ハルはアケボノカフェ J-WAVE NIGHT」

②「六本木ダークナイト」organized by 真鍋大度 (Rhizomatiks)

③六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー

④昨日と今日の間に見る夢

⑤ストローでつくろう！コテトラ (Cotetra)ワークショップ

⑥第三回 六本木夜楽会 (ろくほんもくよらくえ)

- ・安齋肇×伊藤ガビン(キャンティ飯倉本店)
- ・大巻伸嗣×林千晶 (アンディアーモ)
- ・篠田太郎×しりあがり寿 (いろは)
- ・会田誠×坂部三樹郎 (セルベッサ)
- ・小沢剛×南條史生 (Lucia)
- ・大八木翼×八谷和彦 (串とろ)
- ・遠藤一郎×もふくちゃん (福嶋麻衣子)
- ・住吉智恵×椿昇 (アマンド)
- ・金氏徹平×遠山正道 (志る角)
- ・内沼晋太郎×西尾美也 (薫風)

⑦夢を撮る、踊る「夢と踊りと音」

【各館プログラム】

(1) 国立新美術館

- ・ルーブル美術館展 日常を描く-風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄
- ・マグリット展
- ・「ニッポンのマンガ\*アニメ\*ゲーム」「ニキ・ド・サンファル展」さきどりワークショップ動きだせ!色とかたちアニメーションのしくみを知ろう。
- ・「アーティスト・ファイル2015」展予告映像公開
- ・「ニキ・ド・サンファル展」関連企画～映像で見るニキ
- ・TOKYO ANIMA! 2015
- ・カンパニーデラシネラ「ある夜の出来事」

(2) 東京ミッドタウン

- ・MIDTOWN meets GODZILLA ～RETURNS～
- ・ギネス世界記録に挑戦！～LEDライトでひかるつながるさんかすル～
- ・Mid-Space ～ひかるパフォーマンス～
- ・ストリート ミュージアム 特別プログラム
- ・「六本木未来かるた大会」by 六本木未来会議
- ・桜ボディアート
- ・武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ企画 山田太郎プロジェクト～六本木アートナイトスペシャル～
- ・まちなかコンサート in 東京ミッドタウン
- ・「フラワーアートアワード2015」in東京ミッドタウン
- ・サモトラケのニケ (複製) の展示

(3) サントリー美術館

- ・ 生誕三百年 同い年の天才絵師 若沖と蕪村
- ・ フレンドリートーク
- ・ みんなで光の箱をつくろう！
- ・ 夜の虹をつくろう！

(4) 21\_21 DESIGN SIGHT

- ・ 単位展-あれくらい それくらい どれくらい？
- ・ 単位展コンセプトショップ「Measuring shop」
- ・ 六本木アートナイト特別企画「星田直彦によるギャラリートour」
- ・ 六本木アートナイト特別企画「みんなで測る、単位展計測ツアー」
- ・ 六本木アートナイト特別企画「単位展で会いましょう。」
- ・ スペシャルトーク「葛西 薫と皆川 明に会いましょう。」

(5) 六本木ヒルズ

- ・ 大山エンリコイサム ライブ・ペインティング・パフォーマンス
- ・ 《カンター・アクトⅡ》ポクロン・アナディン
- ・ 《future past perfect pt. 03》カールステン・ニコライ
- ・ 《気性とオオカミ》アローラ+カルサディーラ
- ・ 《リトル・サン・ガーデン》リトル・サン
- ・ 《願いのクリスタル花火》チームラボ
- ・ 《300mレインボー》賢嘸(あいおう)
- ・ 宇野亞喜良 「DEUX LIVRES」展
- ・ 響アートラウンジ

(6) 森美術館

- ・ シンプルなかたち展：美はどこからくるのか
- ・ トークセッション「『シンプルなかたち展』を企画者自ら語る」
- ・ MAMコレクション001：ふたつのアジア地図ー小沢剛+下道基行
- ・ MAMスクリーン001：ビル・ヴィオラ
- ・ MAMリサーチ001：グレイト・クレセント 1960年代のアートとアジテーションー日本、韓国、台湾
- ・ 「連載完結記念 岸本齊史 NARUTOーナルトー展」
- ・ アーティストトーク「MY WORK」

(7) 六本木商店振興組合

- ・ 第7回六本木フォトコンテスト
- ・ 《小橋と Colliu の顔はめ派時計》小橋陽介+ Colliu

【その他】

(1) 同時開催プログラム

- ・ 《イングレス 六本木アートナイトスペシャル》主催：Google
- ・ 《高音質爆音ライブペイント「Maximum Music Values Vol.1」》主催：KOTOBUKISUN
- ・ 《NIKKEIアートプロジェクト「アートは都市をまわる」》主催：日本経済新聞社デジタルビジネス局
- ・ 《Photo Circuit》主催：株式会社イメージソース
- ・ 《野性を祈れ》ケイティ・サコーンとGo! Push Pops 主催：公益財団法人 国際文化会館
- ・ 《Star!Star!Star!Circle!》ジョージ・フェランディ 主催：公益財団法人 国際文化会館
- ・ 《色の波の絵巻》石田尚志 主催：横浜美術館（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・ 《進化的トレーニング（堀川ー不安は消滅する）》ピピロッティ・リスト 主催：京都国際現代芸術祭組織委員会  
一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市

(2) 参加ギャラリー・施設 17ギャラリー・施設

開館時間延長や特別プログラムなど

(3) 参加店舗 110店舗

営業時間延長や特典など

(4) 無料シャトルバス

六本木と渋谷、新宿・池袋、品川、東京・上野、吉祥寺・国分寺・立川を結ぶ無料シャトルバスを運行

(5) 駐車場

コアタイムの間、六本木ヒルズ及び東京ミッドタウン駐車場が無料

# 17

## 東京アートミーティング

### 【概要】

開催日	平成27年11月7日（土）～平成28年2月14日（日）
展覧会名	東京アートミーティング（第6回）「TOKYO」—見えない都市を見せる
会場	東京都現代美術館 企画展示室1F、3F
主催	東京都、東京都現代美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、産経新聞社
特別協力	東京藝術大学美術学部
助成	デンマーク文化庁、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、Danish Arts Foundation
協賛	株式会社資生堂
協力	アルファミュージック株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、株式会社ソニー・ミュージックダイレクト、株式会社メディコム・トイ、東芝ライフスタイル株式会社、SCAI THE BATHHOUSE、東京リスマチック株式会社、深川資料館通り商店街協同組合
観覧料	一般1,200円、大学生・専門学校生・65歳以上900円、中高生700円、小学生以下無料
入場者数	34,285人

### 【事業趣旨（目的）】

現代アートを中心に、音楽、デザインなどの異なる表現ジャンル及びその他の専門領域が出会い、新しい切り口で現代アートを発信することを目的とする。

### 【開催状況】

#### ●本体プログラム

開催日	プログラム名	会場	参加作家等	料金（円）
11/7～2/14	「TOKYO」—見えない都市を見せる	東京都現代美術館 企画展示室1F、3F	YMO+宮沢章夫、蛭川実花、スーパーフレックス、ホンマタカシ、サーダン・アフィフ、岡田利規、目【め】、EBM(T)、林科、松江哲明、ほか	一般1,200 大学生・専門学校生・65歳以上900 中高生700 小学生以下無料

#### ●関連プログラム

開催日	プログラム名	会場	参加作家等	料金（円）
11/7	アーティスト・トーク	企画展示室1F、3F	林科、サーダン・アフィフ、スーパーフレックス	無料 ※1
11/29	松江哲明 スクリーニング&トーク①「トーキョードリフター」上映&前野健太ライブパフォーマンス	講堂	松江哲明、前野健太	無料 ※1
12/20	松江哲明 スクリーニング&トーク②「極東のマンション」（真利子哲也監督作品）ほか上映	講堂	松江哲明	無料 ※1
12/23	第52回MOT美術館講座 レクチャー「YMOと80年代、その文化的展開」	講堂	宮沢章夫	無料 ※1
2/14	サーダン・アフィフ アーティスト・トーク&Her Ghost Friend クロージング・ライブ	講堂	サーダン・アフィフ Her Ghost Friend	無料 ※1
1/17	トーク「Beyond the Kawaii —東京にあって、世界にないもの—」	講堂	増田セバスチャン	無料 ※1

※1 当日有効の「TOKYO」—見えない都市を見せる」展チケットが必要

#### ●他会場における関連プログラム

開催日	プログラム名	会場	参加作家等	料金（円）
2/10	Her Ghost Friend ライヴ・パフォーマンス	アンスティチュ・フランセ	Her Ghost Friend ほか	一般1,500 学生・アンスティチュ・フランセ会員1,000
2/11	Her Ghost Friend ライヴ・パフォーマンス	青山月見ル君想フ	Her Ghost Friend ほか	予約2,000 当日2,500

**【参加者の声】**

- ・YMOの映像がみられてとても良かったです。また、「自己演出の舞台装置」で撮影ブースを設置し、Instagramへの投稿をうながすことで、実際に自己演出をさせるというのが面白いと思いました。「ワームホールとしての東京」は、空間がとても広く見えて興味深かったです。
- ・キュレーションがとても良かった。東京もやがて色々な出身の人々が住むところになってゆくのだと最後のセッションで思った。それでいいのですが。
- ・良かった作品→ホンマタカシ、蜷川、目。見方、楽しみ方、捉え方が分かった。すぐに東京に対する自分の見方に変化を与えることができた。他はもう少し解説なり、ヒントなりがあればより楽しめたと思う。よく分からなかった。
- ・東京にこんなにもモチーフになるものがあるなんて。ホンマさんの作品は私が思う東京のイメージと似ていた。
- ・YMOの映像がみられてとても良かったです。また、蜷川さんの「自己演出の舞台装置」で撮影ブースを設置し、Instagramへの投稿をうながすことで、実際に自己演出をさせるというのが面白いと思いました。

# 18

## 第8回恵比寿映像祭

### 【概要】

開催期間	平成28年2月11日（木・祝）～ 20日（土）[10日間/会期中無休]
主催	東京都/東京都写真美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）/日本経済新聞社
共催	サッポロ不動産開発株式会社/公益財団法人日仏会館
後援	TBS/J-WAVE 81.3FM
協賛	株式会社資生堂/サッポロビール株式会社/東京都写真美術館支援会員
寄付	富士重工業株式会社
協力	アンスティチュ・フランセ日本/Culture.pl/KyotoDU/びあ株式会社/株式会社北山創造研究所/株式会社トリプルセブン・インタラクティブ/株式会社ロボット
入場者数	43,295人（1日平均 4,329人）

### 【事業趣旨（目的）】

映像分野における創造活動の活性化と映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として、恵比寿周辺エリアで、展示、上映、ライブ、トーク・セッションなど多彩な形式のプログラムによる映像のフェスティバルを開催する。

#### 1. 展示

開催日	出品作家	会場	料金（円）	入場者（人）
2/11～20	ジル・クレマン [フランス]、ジャーナール・アル＝アーニ [イラク/イギリス]、ピョートル・ボサツキ [ポーランド]、鈴木ヒラク [日本]、ウォー・ビクルス・プロジェクト [アメリカ]、銅金裕司 [日本]、クリス・ジョン・チャン・ファイ [マレーシア]、ジョウ・タオ [中国]、JODI (ジョディ) [オランダ]、佐々木有美+ドリタ [日本]、ロバート・スミッソン [アメリカ]、ジェーン・クロフォード&ロバート・フィオーリ [アメリカ]、ビデオアース東京 [日本]	ザ・ガーデンホール	無料	12,707
	上田麻希 [日本]、藤木淳 [日本]	STUDIO38		
	クワクポリョウタ [日本]	日仏会館ギャラリー		
	山内朋樹 [日本]	恵比寿ガーデンシネマ		

#### 2. 上映

開催日	出品作家	会場	料金（円）	入場者（人）
2/11～19	追悼シantal・アケルマン《No Home Movie》ジャパンプレミア	恵比寿ガーデンシネマ	前売り 500 当日 1,000	1,396
	ジル・クレマンドキュメンタリー——《動いている庭》ワールドプレミア			
	《トラブルメイカーズ——ランドアートの話》アジアプレミア			
	不在の庭——そして、誰もいなくなったら			
	荒れ地の先へ——短編アニメーション			
	花園、林、城市：現代中国からのビデオアート			
	ベン・ラッセル——「快樂の園」三部作			
	ベン・ラッセル 映像パフォーマンス 《われわれが享受している素晴らしいもの》+スペシャル上映			
	内戦を生き延びたカンボジア映画《12人姉妹》			
	ふたつの文化——リティ・バン《フランスは我等が故国》			
	80年代 Videobrasil 傑作選			
躍動するアジア——DigiCon6 ASIA				

#### 3. オフサイト展示

開催日	作品名	出品作家	会場	料金（円）	入場者（人）
2/11～20	《霧の庭 “ルイジアナのために”》	中谷芙二子	恵比寿ガーデンプレイスセンター広場	無料	26,027

4. ラウンジトーク

開催日	出品作家	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/11	クリス・チョン・チャン・フィ	ザ・ガーデンホール	無料	525
2/11	銅金裕司、佐々木有美+ドリタ			
2/12	ジョウ・タオ			
2/12	ジャーナーン・アル=アーニ			
2/13	ヨアン・ヘームスケルク (JODI)			
2/14	ピョトル・ボサツキ			
2/16	中島興 (ビデオアース東京)			
2/17	中ザワヒデキ (地域連携プログラム: NADiff a/p/a/r/t)			
2/18	クワクポリョウタ			
2/20	鈴木ヒラク			

5. ライヴ・イベント

開催日	プログラム	出演	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/19	動いている庭—ライブ編	SiQ++、入江陽+銅金裕司、古舘健、The SINE WAVE ORCHESTRA	ザ・ガーデンルーム	前売 1,500 当日 2,000	228
2/20	動いている庭—パフォーマンス編 《猿嬌-The face of strangers-Hybrid version》	平井優子、山内朋樹、古舘健、原瑠璃彦			

6. シンポジウム

開催日	プログラム	パネリスト	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/12	[日仏会館共催企画] ジル・クレマン 「動いている庭」をめぐって—庭と公共性	乾久美子 (建築家、乾久美子建築設計事務所主宰、東京藝術大学美術学部建築科准教授)、 山内朋樹 (庭園史研究者、庭師、兵庫県立大学客員研究員)、 松井茂 (詩人、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 准教授) 司会: 池村俊郎 (日仏会館文化事業委員 / 帝京大学経済学部教授) モデレーター: 田坂博子 (恵比寿映像祭キュレーター)	日仏会館ホール	前売 350 当日 600	162
2/13	ランドアートの話	小西信之 (愛知県立芸術大学教授)、 平野千枝子 (山梨大学准教授、美学・美術史) 上崎千 (慶應義塾大学アート・センター所員 [アーカイヴ担当]) モデレーター: 岡村恵子 (恵比寿映像祭キュレーター)			
2/14	庭=運動 (アヴァン・ガーデンニング) 以後	高祖岩三郎 (批評家・翻訳家)、 アンテク・ワルチャック (アーティスト)、 いちむらみさこ (アーティスト) モデレーター: 田坂博子 (恵比寿映像祭キュレーター)			

7. 地域連携プログラム

開催日	参加施設	会場	入場者 (人)
2/11~20	公益財団法人日仏会館、日仏メディア交流会、恵比寿ガーデンシネマ、伊東建築塾、MA2Gallery、GALLERY工房親、MuCuLスタジオ、NADiff a/p/a/r/t、MEM、G/P gallery、waitingroom、amu、AL (TRAUMARIS)、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]	恵比寿周辺ギャラリー及び文化施設各所 (13施設)	2,250

【参加者の声】

- ・香りのインスタレーションなどはじめてで印象的だった (30代・女性)
- ・ジョウ・タオ作品のような日常の認識に新たな変化を与えるような映像をもっとみたい (60代・男性)
- ・「映像」というものをあまり芸術作品として観る機会がなかったため、楽しめました (40代・女性)
- ・映像のイベントに、庭師の思想をコンセプトとして取り入れる。大胆さにおどろきました。ふだん全く足を踏み入れることのない世界をのぞけてとても良い経験になりました。これからも、未知の共鳴が生まれるイベントであって欲しいです。(20代・女性)

# 19

## Museum Start あいうえの

### 【概要】

開催期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
会場	上野公園内の9つのミュージアム
主催	東京都、東京都美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学
共催	上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館（五十音順）
参加者数	延べ3,087人（参加者数2,327人、アート・コミュニケータ（とびラー）など760人）

### 【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）である。さらに、アートを介してコミュニティを育む事業、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動しながら、子供と大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指す。

### 【開催状況】

美術館や博物館を舞台とした新しいコミュニケーションの回路をつくることで、さまざまな状況からミュージアムの利用を断念している学校の先生や子育て中の方々を応援したい！そうした思いから、東京都美術館、東京藝術大学が推進役となり、上野公園に集まる9つの文化施設が連携する参加型連携プログラム「Museum Start あいうえの」を25年度にスタートさせた。本年度は前年度の目的を踏襲し、より発展的に上野公園の文化的魅力の編み直しを進めた。

#### 1. 【あいうえの学校（学校向けプログラム）】

①スペシャル・マンデー・コース：東京都美術館の特別展の会場で鑑賞授業を行う、休室日（月曜日）のプログラム。

開催日	展覧会	参加校	参加者（人）
9/14	企画展「キュッパのびじゅつかん」展	小平市立小平第十二小学校	78
		荒川区立第九峡田小学校	68
		専門学校東京ネットウェイブ	18
11/9	特別展「マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展」	北区立西ヶ原小学校	38
		葛飾区立綾南小学校	52
11/24		私立田園調布雙葉小学校	123
品川区立小山台小学校		64	
台東区立千束保育園		25	
墨田区立言問小学校		42	
2/22	特別展「ポッティチェリ展」	私立東京韓国学校 初等部	113
		台東区立金曾木小学校	72
		足立区立足立入谷小学校	36
計		12 ※1	729

※1 参加者の他、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ135人がプログラムに参加

②平日開館コース：東京都美術館の通常開室日に美術館で鑑賞授業を行うプログラム。

開催日	参加校	参加者（人）
7/31	足立区立興本小学校	14
10/16	東京都立大崎高等学校 定時制課程	23
12/8	葛飾区立葛飾小学校	37
1/21	私立東京成徳大学中学校	121
1/22	文京区立根津小学校	27

開催日	参加校	参加者 (人)
1 / 29	私立国際バティシエ調理師専門学校	18
3 / 8	埼玉県立伊奈学園	74
計	7 ※2	314

※2 参加者のほかアート・コミュニケータ（とびラー）延べ68人がプログラムに参加

③ティーチャーズ・カフェ：過去の学校向けプログラムに参加された先生やその知り合いを対象とし、Museum Startあいうえのの活動を通じた先生同士のネットワークをつくる。

開催日	対象・定員	会場	参加者 (人)
3 / 29	これまで学校向けプログラムに参加した学校の先生とその知り合いの先生	東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム	14
		計	14

## 2. 【あいうえの学校 こどもと家族のミュージアム（個人向けプログラム）】

①放課後のミュージアム：全12回のプログラムを通じて、上野の文化施設にある文化財や、地域のものづくり現場にある素材を鑑賞・観察するとともに、その体験を自分なりの形にする造形活動。

開催日	対象・定員	会場	参加者 (人)
8 / 5	小学校1年生～高校3年生 (メンバー登録定員30人)	東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム	26
9 / 2			33
9 / 16			28
9 / 30			32
10 / 14			29
10 / 28			27
11 / 11			29
11 / 25			23
12 / 9			25
1 / 13			27
1 / 27			24
2 / 10			27
		計 ※3	330

※3 参加者のほかアート・コミュニケータ（とびラー）など延べ201人がプログラムに参加

②キュッパ部：東京都美術館の企画展「キュッパのびじゅつかん」展を体験し、キュッパのように身の回りの世界をクリエイティブに観察する練習をし、上野公園の他のミュージアムで大切にされてきたものを、アート・コミュニケータと一緒にじっくり観察し、自分だけの発見をする。

開催日	対象・定員	会場	参加者 (人)
8 / 1	小学校1年生～高校3年生 (定員 親子ペア10組20人)	国立西洋美術館 常設展	18
8 / 8		東京藝術大学大学美術館	22
8 / 20		東京国立博物館 総合文化展	14
8 / 27		東京藝術大学大学美術館	22
8 / 29		国立西洋美術館 常設展	28
9 / 5		国立科学博物館 常設展	18
			計 ※4

※4 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ42人がプログラムに参加

③あいうえの冒険隊：国立国会図書館国際子ども図書館・東京文化会館・東京都美術館を拠点として行われる、3回連続の美術と音楽のワークショップ。

開催日	対象・定員	会場	参加者 (人)
8 / 9	小学校3年生～小学校6年生 (定員20人/全日程参加できる方)	国立国会図書館国際子ども図書館・東京都美術館	19
9 / 13		東京文化会館	20
10 / 11		東京都美術館・上野公園	20

開催日	対象・定員	会場	参加者(人)
			計 ※5 59

※5 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ19人がプログラムに参加

④ホームカミングデイ：これまで「あいうえの学校」や「あいうえの日和」に参加した人々が、もう一度ミュージアムに集まるプログラム。

開催日	対象・定員	会場	参加者(人)
6/14	これまで「あいうえの学校」や「あいうえの日和」に参加した人々	東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム	44
8/30			50
12/13			99
			計 ※6 193

※6 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ45人がプログラムに参加

### 3. 【あいうえの日和（「ミュージアム・スタート・バック」の配布）】

上野にある9つの施設をめぐるための教育ツールを制作し「あいうえの学校」参加者に配布。東京都美術館だけではなく連携する施設でも配布を行い、参加の機会を増やした。（ミュージアム・スタート・バックは、ピビハドトカダブック（ノート）、9つの館のオリジナルバッジ、肩掛けバッグのセット）

配布日	配布場所	参加者(人)
4/11	国立西洋美術館	13
4/25		11
5/9		14
5/23		11
9/12		12
9/26		12
10/10		14
10/24		15
11/14		8
11/28		8
5/9	東京国立博物館	15
5/9		12
9/12		9
7/5	東京都美術館	30
7/26		29
9/6		35
10/4		25
11/8		19
12/6		21
1/17	32	
9/6	東京文化会館	28
10/25	恩賜上野動物園	7
11/14	国立科学博物館	23
1/31	東京藝術大学	3
3/26	国際子ども図書館	36
3/28	上野の森美術館	6
		計 ※7 448

※7 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ250人がプログラムに参加

### 4. 【学び合いカフェ】

年間を通じたプログラムの実施に向けて、継続的に本プロジェクトの趣旨を深く理解する人材（アート・コミュニケーターなど）を育成

開催日	会場	参加者(人)
7/22	放課後のミュージアム	7
2/24		7
8/8	あいうえの冒険隊	1
7/30	キュッパ部(国立西洋美術館)	2
8/7	キュッパ部(東京国立博物館)	3
8/23	キュッパ部(国立科学博物館)	3
8/23	キュッパ部(国立西洋美術館)	2
8/23	キュッパ部(東京藝術大学大学美術館)	4
8/24	ホームカミングデイ	3
3/19	あいうえの日和	4
9/7	スペシャル・マンデー・コース	20
10/26		7
11/15		7
11/20		3
11/23		1
2/15		17
7/30		4
10/9	平日開館コース	4
1/13		3
1/15		5
1/16		4
1/21		4
2/27		3
計		118

### 【参加者の声】

- ・「キュッパのびじゅつかん」ではモノをあつめるのが楽しくて親子で夢中になってしまいました。東京国立博物館では娘が思わぬものに夢中になっているのが面白かったです(キュッパ部保護者)
- ・学校や家でなかなか経験できないことができたこと、しかも唯一無二である上野で…美術館・博物館・動物園・伝統的なものの職人さんの元など全て「本物」「最高峰」のものに触れられたことがとても良かった。普段ではなかなか出来ない作品造りを思う存分取り組んでいる様子は本当に楽しそうでした。(放課後のミュージアム保護者)
- ・久しぶりにあいうえのに行けて、うれしかったです。バッチも、自分のオリジナルが作れて、うれしかったです。(ホームカミングデイ子供)
- ・ミュージアムスタートバックをいただいてから子供とくり返し上野に来る様になりました。バッチも集まってきて、楽しく博物館めぐりをしています。メールでイベントのお知らせがあり、今日も参加しました。親子で参加できる会があればまた来たいです。(ホームカミングデイ保護者)



放課後のミュージアム  
谷中の藍染め工房をとびラーとともに訪れ、  
素材に触れている様子



放課後のミュージアム  
東京都美術館アートスタディールームでの造形  
活動の様子



キュッパ部  
東京都美術館ギャラリーにてとびラーと「キュッ  
パのびじゅつかん」展を鑑賞している様子

# 20

## 芸術セレクション

### 【概要】

開催期間 平成27年5月26日（火）～平成28年2月21日（日）  
 会場 東京芸術劇場  
 主催 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 入場者・参加者数 15,640人

### 【事業趣旨（目的）】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

### 【開催状況】

公演日・実施日 (公演数・実施数)	公演名・事業名		作・出演者等	会場	料金(円)	入場者・ 参加者(人)
7/12～20 (8)	『障子の国のティンカーベル』		作：野田秀樹 演出：マルチェロ・マーニ 出演：穂谷友子 パフォーマー：野口卓磨	東京芸術劇場 シアターウエ スト	一般前売： 3,500 一般当日： 4,000 高校生： 1,000 25歳以下： 2,500 65歳以上： 3,000	1,805
10/15～18 (3)	ルーマニア国立 ラドゥ・スタンカ劇場	『ガリバー旅行記』	ルーマニア国立ラドゥ・ス タンカ劇場 演出：シルヴィウ・ブルカ レーテ	東京芸術劇場 プレイハウス	S席： 5,500 A席： 4,500 高校生： 1,000 25歳以下（A席）： 3,000 65歳以上（S席）： 5,000	1,155
10/21～23 (3)		『オイディプス』			2公演セット券（S席）： 10,000	
12/5～27 (26)	RooTS Vol.03 『書を捨てよ町へ出よう』		上演台本・演出：藤田貴大 出演：村上虹郎、青柳いづ み（ほか） 映像出演：穂村弘、又吉直 樹	東京芸術劇場 シアターイー スト	一般前売： 4,800 一般当日： 5,300 高校生： 1,000 25歳以下： 3,800 65歳以上： 4,300	5,401
12/13 (1)	芸術＋トーク『自作自演』第13回 (『書を捨てよ町へ出よう』スピンオフ企画)		穂村弘、又吉直樹	東京芸術劇場 シアターイー スト	一般： 3,000 高校生： 1,000 25歳以下： 2,000 65歳以上： 2,500	243
10/8～18 (15)	カントール生誕100 年記念 『カントールと演劇の 二十世紀』	作品上映『死の教室』『く たばれ！芸術家』『ヴォ エロポーレ、ヴィエロ ポーレ』『私は二度とこ こには戻らない』『愛と 死の機械』＋展示	【作品上映】作・演出：タ デウシュ・カントール 出演＝Teatr Cricot <sup>2</sup> 【展示】タデウシュ・カン トール	東京芸術劇場 シアターイー スト	前売・当日1本： 1,500 セット券2本： 2,800 セット券3本： 3,900 セット券4本： 4,800	1,021
10/10 (1)		レクチャー『カントール と演劇の二十世紀』＋ 展示	【レクチャー】 鴻英良 【展示】 タデウシュ・カン トール			
10/12 (1)		シンポジウム『カントール の衝撃』＋展示	【シンポジウム】 タニノク ロウ、清水信臣、アンナ・ R・フジンスカ、レフ・ス タンダレト、鴻英良 【展示】 タデウシュ・カン トール			
12/18～20 (6)		ワークショップ『カン トールの舞台の俳優術』	リュトゥカ・リーバ			
12/17～24(10)	ワークショップ『カントール の俳優術』	ワーク・イン・プログ レス公演 『タニノとドワーフ達に よるカントールに捧げる オマージュ』	作・演出：タニノクロウ 出演：マメ山田（ほか）	東京芸術劇場 アトリエイー スト	一般前売： 2,000 一般当日： 2,500 高校生： 1,000 25歳以下： 1,500	582
12/23 (1)		『鈴木忠志スペシャル・ レクチャー』	鈴木忠志、鴻英良（聞き手）	吉祥寺シア ター	前売・当日： 1,000	162
2/19 (1)	芸術＋トーク『朗読「東京」』		演出：松村武 出演：大鷹明良、陰山泰、 内田亜希子	東京芸術劇場 シアターイー スト	一般： 3,000 高校生： 1,000 25歳以下： 2,000 65歳以上： 2,500 3公演セット券： 6,000 2公演セット券： 4,500	445
2/20 (1)			演出：眞鍋卓嗣 出演：大家志津香（AKB 48）、山岸門人			
2/21 (1)			演出：喜安浩平 出演：SECRET GUYZ			

公演日・実施日 (公演数・実施数)	公演名・事業名		作・出演者等	会場	料金 (円)	入場者・ 参加者 (人)
5/26~7/23 (16)	「ストリートアーティ スト・アカデミー」	【夏季】	監修：橋本隆雄 講師：ちゅうサン、サン キュー手塚、村松卓矢 (大 駱駝艦) ほか	東京芸術劇場 リハーサル ルーム ほか	無料	受講生：22 観覧者：1,909
11/12~12/24 (13)		【冬季】				受講生：28 観覧者：1,250
10/21~26 (5)	「ダンスワークショップ」		講師：小野寺修二	東京芸術劇場 リハーサル ルーム	一回：2,000	88
11/14~27 (5)			講師：近藤良平			91
11/17~19 (3)			講師：山田うん			77
						計 15,640

### 【参加者の声】

#### ● 『障子の国のティンカーベル』

- ・感動しました。やっぱり生の舞台の迫力はすごいなあと思いました。穂谷さんすばらしかったです。ストーリーだけということではなく、感動で涙が出そうでした。一人でもお金をかけなくても、質の良い舞台をまた見たいです。穂谷さん、人形つかいさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・来てよかったと本当に思える劇でした。また再演してほしいです。

#### ● ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場『ガリバー旅行記』『オイディプス』

- ・迫力あり魅せられました。初めてルーマニアの方々をみましたが、芸術表現が素晴らしいと覆いました。毎年来て下さい。
- ・素晴らしい!!クールでスタイリッシュな大人な演出にしばれました。コロノスのオイディプスの章のセット、バックが森で皆々キシードとドレスのパーティシーンのセットとても美しくハッとしました。上手いなーと感激したシーンでした。

#### ● 『書を捨てよ町へ出よう』

- ・舞台を観たのは初めてだが、圧倒された。もう一度観たい。虹郎さんが素晴らしかった。
- ・人生で初めての舞台鑑賞。何度も観たい不思議な魅力がある。リフレインも印象的。
- ・寺山修司を藤田貴大が演出をするとどのようになるのか楽しみだった。舞台美術も映像を使った演出も面白かった。

#### ● カントール生誕100年記念 カントールと演劇の二十世紀「鈴木忠志スペシャル・レクチャー」

##### ワークショップ「カントールの舞台の俳優術」

- ・カントールについては、このような機会が無ければ、知ることができませんでした。なので、とても良かったです。「演劇とは何か」について 対話の中で深められていて、とてもわかりやすくまた 面白かったです。カントールに会ったことのある(共に演劇をやったことのある)鈴木忠志さんのお話は貴重でした。ありがとうございました。
- ・ワークショップというものに初めて参加しました。非常にクリエイティブなことを教えて頂いて、本当に良かったです。とても高度な内容でした。又受けたいです。

#### ● 『自作自演』

- ・ただシンプルに朗読するだけなのに、この世界に引き込まれてしまいました。

#### ● 『朗読「東京」』

- ・朗読劇の観劇は初めてでしたが、作品・キャスティングとも面白く満足のいく内容でした。アフタートークも演者さんお二方の話題の展開が個性的で楽しめました。

## 21

## パフォーマンススキッズ・トーキョー

## 【概要】

開催期間	平成27年6月10日（水）～平成28年3月27日（日）
会場	ホール5か所（光が丘・IMAホール、三鷹市公会堂、ひの煉瓦ホール、くにたち市民芸術小ホール、東大和市民会館ハミングホール）、公立小中学校12校、特別支援学校2校、児童養護施設3か所
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団（三鷹市公会堂開催のみ）、日野市市民会館文化事業協会（ひの煉瓦ホール開催のみ）、日野市（ひの煉瓦ホール開催のみ）、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール開催のみ）、東大和市民会館ハミングホール指定管理者（東大和市民会館ハミングホール開催のみ）
共催	IMAホール（光が丘・IMAホール開催のみ）
助成・協力	東京都
後援	三鷹市教育委員会（三鷹市公会堂開催のみ）、日野市教育委員会（ひの煉瓦ホール開催のみ）
参加費	無料（参加、公演観覧）
参加者数	802人
観賞者数	7,621人

## 【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上と地域住民への成果発表、プロのアーティストとの触れ合い、キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

## 【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。平成27年度は、5ホール、12小中学校（島しょ部含む）、2特別支援学校、3児童養護施設にて開催した。また、学校向け事業に関する広報用パンフレットを全面リニューアルし、都内全公立小中学校・特別支援学校1,960校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

## ■平成27年度 パフォーマンススキッズ・トーキョー 実施一覧

## 《学校》

学校名	地域	公演日	対象	参加者（人）	実施日数	授業時数	公演タイトル/発表の機会	アーティスト
愛日小学校	新宿区	11/20、21	小学4年生	44	10	20	「ぞうれっしゃがやってきた」 （学芸会）	楠原竜也 （振付家・ダンサー）
金竜小学校	台東区	1/22	小学6年生	61	6	18 （11）	「日めぐり、まいにち我ら！」 （保護者参観）	村本すみれ （振付家・演出家・ダンサー）
第三岩淵小学校	北区	11/6、7	小学5年生	31	11	21	「世界でいちばんやかましい音」 （学芸会）	新井英夫 （体奏家・ダンスアーティスト）
石神井東小学校	練馬区	12/11、12	小学6年生	64	11	21	「ランギ」 （学芸会）	棚川寛子 （舞台音楽家）
清新第二小学校	江戸川区	11/27、28	特別支援学級 小学2～6年生	12	10	18	「カラフルアワー～12でじゆうに～」 （学芸会）	田畑真希 （振付家・ダンサー）
南第一小学校	町田市	11/13、14	小学5年生	67	10	22 （20）	「嵐を呼ぶミナゴン」 （学芸会）	井上大輔 （振付家・ダンサー）
小平第二小学校	小平市	11/13、14	特別支援学級 小学1～6年生	23	12	23	「ししおどりの小さなはじまり」 （学習発表会）	田村一行 （大駱駝艦舞踏手・振付家）
日野第八小学校	日野市	7/2	小学2年生	120	6	11 （6）	「みんなで、カラダで、楽しく遊びます！」 （保護者会）	伊藤千枝 （振付家・演出家・ダンサー・珍しいキノコ舞踊団主宰）

学校名	地域	公演日	対象	参加者(人)	実施日数	授業時数	公演タイトル/発表の機会	アーティスト
国立第六小学校	国立市	10/2、3	小学6年生	85	12	27 (25)	「ランギ」 (音楽会)	棚川寛子 (舞台音楽家)
西愛宕小学校	多摩市	11/20、21	小学3年生	16	10	20	「木の葉の思い出」 (学芸会)	前嶋のの (劇作家・演出家・女優)
つばき小学校	大島	11/15	小学5年生	25	13	24	「人間になりたがった猫」 (学芸会)	田畑真希 (振付家・ダンサー)
つつじ小学校	大島	12/5	小学5・6年生	36	13	21	「サウンドオブミュージック」 (学芸会)	長井江里奈 (ダンサー・演出家・山猫団主宰)

※実施日数及び授業時数には発表を含む。  
※()内の授業時数は1クラスあたりに換算した時間数。

《特別支援学校》

東京都立大塚ろう学校(江東分教室)	江東区	2/25	小学1～6年生	25	9	18 (12)	「からだキラリン☆フェスティバル」 (保護者参観)	田畑真希 (振付家・ダンサー)
東京都立石神井特別支援学校(知的障害)	練馬区	12/2、5	中学部1年生	20	10	20 (13)	「シャグジ」 (学習発表会)	向雲太郎 (舞踏家)

※実施日数及び授業時数には発表を含む。  
※()内の授業時数は1クラスあたりに換算した時間数。

《ホール》

会場名	地域	公演日	対象	参加者(人)	実施日数	公演タイトル	アーティスト
光が丘・IMAホール	練馬区	9/6	小学3～6年生	40	10	「わが家のオキテ～これってウチだけ、ワタシだけ?～」	青木尚哉 (振付家・ダンサー)
三鷹市公会堂	三鷹市	3/6	小学2～6年生	51	9	「だから きみの からだ」	鈴木ユキオ (振付家・ダンサー)
ひの煉瓦ホール	日野市	3/21	小学3～6年生	16	7	「ね、つむご。わ、つなご。～キッズつむぎねパフォーマンス～」	宮内康乃 (作曲家)
くにたち市民芸術小ホール	国立市	8/2	小学3～6年生	18	10	「ニセンジュウゴスイッチ」	平原慎太郎 (振付家・ダンサー)
東大和市民会館ハミングホール	東大和市	8/9	小学3～6年生	14	8	「お祭りやろう!」	トチアキタイヨウ (演出家・ダンサー・俳優)

※実施日数には発表を含む。

《児童養護施設》

会場名	地域	公演日	対象	参加者(人)	実施日数	公演タイトル	アーティスト
マハヤナ学園撫子園	板橋区	12/23	小学2～高校2年生	11	9	「Ring Ring Rain」	入手杏奈 (振付家・ダンサー)
クリスマス・ヴィレッジ	足立区	3/16	小学1～中学2年生	9	6	「ぼくらのあたらしいさくらのダンスのおんがくたい」	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト)
子供の家	清瀬市	3/27	小学1～高校3年生	14	10	「名探偵ミスター・MRと怪盗ジョーカー」	棚川寛子 (舞台音楽家)

※実施日数には発表を含む。

【参加者の声】

●ホール

■保護者(光が丘・IMAホール/練馬区)

・初日、マネキンのレッスンの時、先生の見本をみた子供たちの目の輝きに驚きました。これからも、このように子供たちの感覚に訴えるワークショップをたくさんやってほしいです。

■子供(くにたち市民芸術小ホール/国立市)

・10日間という短い時間でこうして協力し、ステージをつくり、表現するということは、難しくても、でも楽しくて、気持ち良かった。またやりたい。

■観客(三鷹市公会堂/三鷹市)

・大変感動しました。子供たち一人ひとりの真剣な眼差しに元気をもらえました。短いワークショップの中で一生懸命

命にがんばった成果を十分に感じました。素敵な時間をありがとうございました。

●学校

■先生（清新第二小学校／江戸川区）

・型通りに練習し、型通りにこなすのが行事（運動会、学芸会、音楽会）だと思っていました。すべてお膳立てしなくても子供たちは力を発揮することができる、子供たちには可能性があるということを改めて知りました。

■子供（愛日小学校／新宿区）

・学芸会では、目標がありました。表情や動作を工夫して、相手にちゃんと伝えることでした。本番の日、とても緊張したけれど、たくさんの方が感動してくれました。ぼくは見ている人に、軍人の恐ろしさと、「戦争はやだな」という気持ちが伝えられたと思います。たっちゃんや、まりねえや、タクさんと、僕たちの情熱や勇気が合体したからだと思いました。

■保護者（石神井東小学校／練馬区）

・最高でした！パークッションの迫力、ダンスも圧巻でした。そして何より子供たちがキラキラ輝いていました。ミュージカルを観ているようでした。プロの力が加わるとこも生き生きしたものになるのかと感激いたしました。

●島しょ

■先生（つつじ小学校／大島町）

・教師にはできない専門的なご指導だけではなく、舞台への情熱を子供たちに伝えて頂きました。また、演技が得意でない子供一人ひとりに寄り添う本当に細やかなご指導には感動しました！

■子供（つばき小学校／大島町）

・この劇をきっかけに「あきらめずにやる」という目標ができました。

■保護者（つばき小学校／大島町）

・家に帰ってきてからも振付を一生懸命練習していました。一生の思い出になると思います。

## 22

## TACT/FESTIVAL 2015

## 【概要】

開催期間	平成27年5月3日（日）～6日（水）
会場	東京芸術劇場
主催	東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
入場者数	3,766人

## 【事業趣旨（目的）】

子供の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

## 【開催状況】

公演日（公演数）	公演名	会場	料金（円）	入場者（人）
5/3～5/6（4）	クレール・リュファン 『眠れない……L'insomnante』	東京芸術劇場 シアター・イースト	大人：2,500 子ども（高校生以下）：500 2演目セット券（大人）：4,000	798
5/3～5/6（4）	ジョゼ・モンタルヴォ『アサニシマサ』	東京芸術劇場 シアター・ウエスト		747
5/3～5/6（4）	劇団コープス『ひつじ』	東京芸術劇場 ロワー広場	無料	1,054
5/3～5/6（7）	二胡・揚琴 姉妹コンサート	東京芸術劇場 アトリエ・ウエスト		479
5/3～5/6（7）	中国京劇ショーと雑技			688
計				3,766

## 【参加者の声】

## ● 『アサニシマサ』

- ・すばらしかったです！海外、国内のデザイン性の高いパフォーマンスを数多く見たいです。
- ・会場に入って、舞台奥に映し出されている映像にまず子供がよろこんでいました。動物と戯れているようなダンスがとてもよかったです。

## ● 『眠れない……L'insomnante』

- ・身体や道具だけを使って表現するのがとても面白く、パフォーマンスに興味がありました。
- ・今後も海外のこういったパフォーマンスをどんどんみてみたいです。
- ・「TACT/FES」昨年に引き続き、楽しみにしてきました。今回も素敵な時間と空間をありがとうございました。

## 23

## Shibuya StreetDance Week 2015

## 【概要】

開催日	平成27年11月22日（日）、23日（月・祝）
会場	代々木公園（野外ステージ・ケヤキ並木・イベント広場） HARLEM 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
主催	国際交流基金アジアセンター アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 株式会社バルコ
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会
特別協力	東京急行電鉄株式会社
協力	渋谷公園通商店街振興組合、商店街振興組合原宿表参道櫛会 特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所
協賛	株式会社グローイングトゥギャザー（リファイン渋谷店）、CAMURO DANCE STUDIO、En Dance Studio、HANEDA ENTERTAINMENT STUDIO、Pleasure Garage Group、SOUL AND MOTION DANCE STUDIO、STUDIO A-Sh
企画・制作	株式会社バルコ
来場者数	延べ約13,500人（うち代々木公園でのプログラム来場者数 約12,500人）

## 【事業趣旨（目的）】

1. 世界中から注目されるストリートダンスを日本とアジアとの文化交流をはかりながら、国内外に発信する。
2. 表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）を繋ぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立する。
3. ストリートダンスをキーワードに、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ良質なエンタテインメントを発信し、国内外から渋谷への集客を目指す。その結果より活力に溢れた街をつくる。

## 【開催状況】

	開催日	会場	プログラム名、内容	出演者等	参加料等（円）	来場者（人）
鑑賞プログラム	11/22	HARLEM	SSDW night ~immix~ 日本を代表するダンサーによるクラブショーケース	<出演者> Chii×静香、MASAMI×YOUTEE×REIMI、NOPPO×McGee、S.A.S×7DOWN8UPPER、YORI×つとむ×啓×HILOMU×Loo-Ty、松田尚子×Seishiro、零（Kelo&Atsushi&Yusei）、PURI×Too×MAYAKA、TATSU×HERO、SODEEP、東京ゲゲゲイ、AZUR-D-BOYZ、ZIGSO、KING OF HOUSE、REAL HOT SUN/HATABOY、アカバネアサキミウ	一般： 3,000 学生： 2,000 （全席指定・税込）	316
	11/23	渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール	A Frame 90年代生まれのアジアのスーパーダンサーたちによる新感覚のストリートダンス舞台公演	<出演者> The90sASIA 日本：IBUKI、KATSUYA、KAZANE、KTR、KYOKA、Ruu、SAKI、TAISUKE、youki、YU-YA 海外：Maitinhvi（ベトナム）、MAMIQ（インドネシア）、Peach Pauline（マレーシア）、Salt（インドネシア）、TE DOUBLE D Y TEDDY（マレーシア）、Zyro Santos（フィリピン） <パーカッション> You Hatakeyama <フロントアクト> 東野高等学校 <演出> oguri（s**t kingz）、Jillian Meyers、スズキ拓朗	一般： 3,000 学生： 2,000 （全席指定・税込） ※昼夜2回公演	739

	開催日	会場	プログラム名、内容	出演者等	参加料等 (円)	来場者 (人)
参加プログラム	11/22	代々木公園	SSDW CONTEST 高校生対抗ストリートダンス選手権	<出場校> さいたま市立大宮北高等学校、浦和学院高等学校、群馬県立安中総合学園高等学校、東京都立荒川商業高等学校、埼玉県立大宮東高等学校、二松学舎大学付属高等学校、東京立正高等学校、東京都立葛飾野高等学校、宝仙学園高等学校女子部、神奈川県立大和西高等学校、東京都立竹早高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校、学報法人日本体育大学日体荏原高等学校、東京都立上野高等学校、東京都立清瀬高等学校、東野高等学校、東京都立武蔵村山高等学校、高木学園女子高等学校、日本工業大学駒場高等学校 <ゲストショーケース出演者> LOVE JUNX、DANCE X、mamastreet、SOCIAL WORKEERZ、関東大学学生ダンス連盟Σ(シグマ)、SHOWGUN、s**t kingz、SAM+KOUJI+PlinO+KATSUMI+GENKI+SHOGO+YOSHIYUKI <総合司会> MC IMAGINE <審査員> shoji from s**t kingz、下山雅也(国際交流基金アジアセンター)、今野真理子(アーツカウンシル東京)、井上肇(株式会社パルコ)	無料	約12,500
	11/22		DANCE WITH music フラッシュモブ	<特別出演> 三浦大知		
	11/22		Lecture Spot プロダンサーによる無料ワークショップ	<講師> キッズ・シニア/UNO、初心者・一般向け/SORI、AKIHIKO		
11/22	BATTLE PARK ジャンル別バトルイベント		<出場者> HIPHOP 73人/HOUSE 26人/BREAK 18人/ALL STYLES 68人 <審査員> HIPHOP/KENTO(S.T.O)、Yusei (D-BLAST/KING OF SWAG) HOUSE/SHUHO(TOKYO FOOTWORKZ)、TAIKI (TERM-INAL) BREAK/SUV (NAT)、BBOY キムタク(1987 SWAG) ALL STYLES/Twiggz (SKJ/Twiggz Fam)、RYUICHI (バファリンとリュウイチ) <DJ> HIROKING、TAKKY、TMYK <MC> だーよし			
対話プログラム	11/22	Talk Spot シンポジウム	<パネリスト> 第1部「ストリートダンス文化の創造と発信の未来」 長谷部健(渋谷区長)、SAM(ダンサー/TRF)、三好勝則(アーツカウンシル東京機構長) 第2部「コミュニケーションツールとしてのストリートダンスが持つ魅力や可能性について」 堀江治喜(Sound Cream Steppers)、岡本和隆(東京学芸大子ども未来研究所外部研究員)、吉岡憲彦(国際交流基金アジアセンター文化事業チーム長補佐) <ナビゲーター・MC> AKIKO ((株) LAST TRAIN GETTER)			
		Communication Booth ストリートダンスによる社会的活動を紹介	<参加団体> SOCIAL WORKEERZ(ソーシャルワーカーズ)、LOVE JUNX(ラブジャンクス)、DANCE X(ダンスクロス)、関東大学学生ダンス連盟Σ(シグマ)			

**【参加者の声】**

- ・すごく楽しいイベントでした！ワークショップに参加できて本当によかったです。来年も是非お願いします！
- ・ダンスレッスンは本当に老若男女混じってる感が良かった。ストリートダンスというと若者だけのものになりがちなので！そういう意味では、もっと人の行き交う、通りがかりの人も巻き込める場所でやると効果大きくなると思います。
- ・知らない人ともダンスで盛り上がれて楽しかったです。無料ダンスレクチャーがすごく良かったです。



TERATOTERA SOUND FES. -音の陽炎-  
八木美知依「蝉しぐれと箏の音と」  
Photo : Ujin Matsuo

▶ 詳細 p.96



TERATOTERA SOUND FES. -音の陽炎-  
Torus Vil. 「紅の鳥、夕闇に舞う」  
Photo : Ujin Matsuo

▶ 詳細 p.96



TERATOTERA祭り 2015 -Sprout- プレイベント

▶ 詳細 p.96



TERATOTERA祭り 2015 -Sprout-  
瀬川祐美子「希望しかないかもしれない」  
Photo : Hako Hosokawa

▶ 詳細 p.96



TERATOTERA祭り 2015 -Sprout-  
野口竜平「壁！ホワイト」  
Photo : Hako Hosokawa

▶ 詳細 p.96



TERATOTERA祭り 2015 -Sprout-  
贅沢貧乏「みんなよるがこわい」  
Photo : Hako Hosokawa

▶ 詳細 p.96

## ≡ 小金井アートフル・アクション!

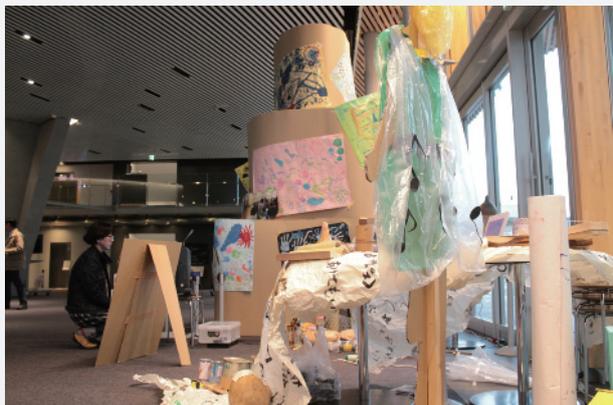


けやき保育園「けやき祭」

▶ 詳細p.99



事業成果展示「まちはみんなのミュージアム2015!」 ▶ 詳細p.99



事業成果展示「まちはみんなのミュージアム2015!」 ▶ 詳細p.99



アートフルプロジェクト「家族で楽しむみんなの手」 ▶ 詳細p.99



アートフルプロジェクト「家族で楽しむみんなの手」 ▶ 詳細p.99



小金井市立前原小学校、第四小学校「音の贈りもの」 ▶ 詳細p.99

## としまアートステーション構想



居間theater「アートステーション構想推進課 パフォー  
マンス窓口」  
撮影：富田了平



居間theater「アートステーション構想推進課 パフォー  
マンス窓口」  
撮影：富田了平



居間theater「ふくろうの杜 ふらっと文庫」  
撮影：富田了平



北川貴好「地上階には、つながらない邸宅」  
撮影：富田了平



としまアートステーションZ 作業日「電子工作の会」  
撮影：富田了平



地域に密着した公共施設×オノカラー「フィールド  
見学共有会」

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁



野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第3弾 ▶ 詳細p.105  
タイ調査篇レクチャー&コンサート「熱タイ音楽隊の一週間」  
撮影：松尾宇人



千住ミュージックホール 第9回 ホワイトスタジオ ▶ 詳細p.105  
「シカクトライアングル」—Visual Triangle  
撮影：前澤秀登



大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2015 足立市場」 ▶ 詳細p.105  
撮影：松尾宇人



イミグレーション・ミュージアム・東京 一普段着 ▶ 詳細p.105  
のできごと—  
撮影：松尾宇人



千住・縁レジデンス 久保ガエタン「記憶の遠近法」 ▶ 詳細p.105  
撮影：木奥恵三



千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」 ▶ 詳細p.105  
撮影：松尾宇人

## ≡ 長島確のつくりかた研究所：だれかのみたゆめ



休日再考！  
撮影：川瀬一絵

▶ 詳細 p.111



休日再考！  
撮影：川瀬一絵

▶ 詳細 p.111

## ≡ 汐入タワープログラム



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」▶ 詳細 p.112  
撮影：磯和穂子



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」▶ 詳細 p.112  
撮影：磯和穂子



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」▶ 詳細 p.112  
撮影：磯和穂子



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」▶ 詳細 p.112  
撮影：磯和穂子



機関誌『ART BRIDGE』制作リサーチ

▶ 詳細p.113



インターンプログラム

▶ 詳細p.113



ブリッジトーク ブリッジの作り方シリーズ

▶ 詳細p.113



フォーラム「言葉の宇宙船 印刷物と思想の共有をめぐって」

▶ 詳細p.113

AKITEN



AKITEN PARK

▶ 詳細p.115



AKITEN ACADEMY ランドスケープ編  
～八王子のストリートデザインの未来を考える～

▶ 詳細p.115

## トッピングイースト



東東京総舞台化プロジェクト BLOOMING EAST  
東東京プレイツアー-vol.1「八広、東墨田、初花」  
シンポジウム「公共、音楽」  
撮影：三田村 亮 [▶ 詳細 p.117](#)



東東京総舞台化プロジェクト BLOOMING EAST  
東東京プレイツアー-vol.1「八広、東墨田、初花」  
Sami Elu ライブ&楽器づくり体験  
撮影：三田村 亮 [▶ 詳細 p.117](#)



ほくさい音楽博「義太夫」  
撮影：山本マオ [▶ 詳細 p.117](#)



ほくさい音楽博 集合写真  
撮影：山本マオ [▶ 詳細 p.117](#)



和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」  
撮影：山本マオ [▶ 詳細 p.117](#)

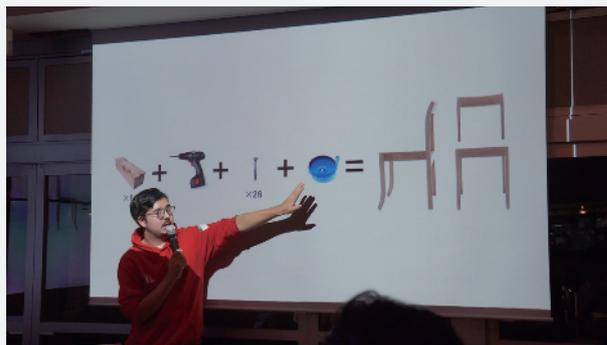


和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」  
撮影：山本マオ [▶ 詳細 p.117](#)

## TOKYO FABBERS



FABBERS' ACTION PROJECT オリエンテーション [▶ 詳細 p.120](#)



FABBERS' ACTION PROJECT 中間報告会 [▶ 詳細 p.120](#)



FABBERS' ACTION PROJECT 中間報告会 [▶ 詳細 p.120](#)



FABBERS' ACTION PROJECT 成果報告会 [▶ 詳細 p.120](#)

## 三原色 (ミハライロ)



12class 発行イベント [▶ 詳細 p.122](#)



キッズプログラム vol.3 藤崎琢磨「モールアートで遊ぼう！」 [▶ 詳細 p.122](#)



大島イイもの展—自然と向き合い よりそう島のくらし— [▶ 詳細 p.122](#)



大島イイもの展—自然と向き合い よりそう島のくらし— [▶ 詳細 p.122](#)

## リライトプロジェクト



Relight Committee  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124



Relight Committee  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124



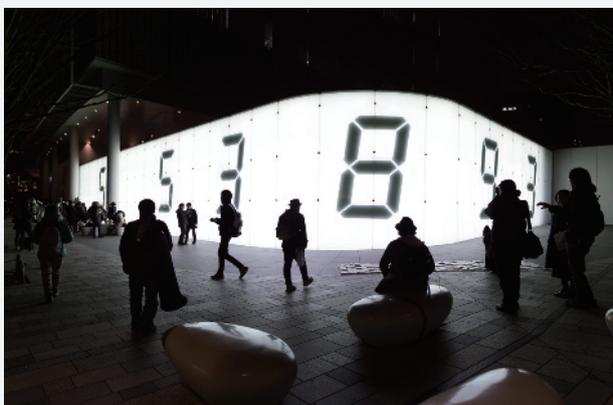
Relight Days  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124



Relight Days  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124



Relight Days  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124



六本木アートナイト2015  
撮影：丸尾隆一

▶ 詳細 p.124

## 東京迂回路研究



フォーラム「対話は可能か？」(トークセッション「共に生きるということ」) 撮影：富田了平 [▶ 詳細 p.126](#)



フォーラム「対話は可能か？」(Living Together × 東京迂回路研究) 撮影：富田了平 [▶ 詳細 p.126](#)



フォーラム「対話は可能か？」(Living Together × 東京迂回路研究) 撮影：富田了平 [▶ 詳細 p.126](#)



フォーラム「対話は可能か？」(シンポジウム「対話は可能か」) 撮影：富田了平 [▶ 詳細 p.126](#)

## 東京スープとブランケット紀行



対談紀行2015年秋篇

[▶ 詳細 p.128](#)



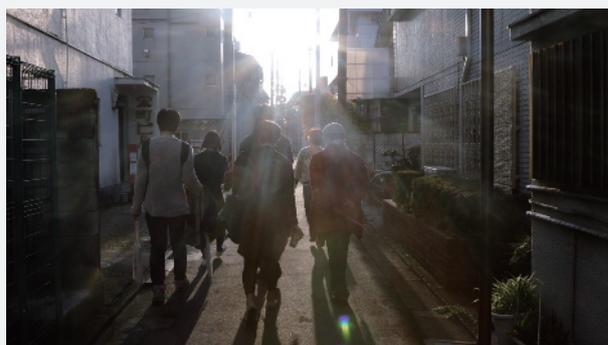
対談紀行2016年春篇

[▶ 詳細 p.128](#)



東京一箱

[▶ 詳細 p.128](#)



江古田スープ

[▶ 詳細 p.128](#)

# 隅田川ルネサンス事業「ピクニック形式パフォーマンス公演《威風DoDo》」



▶ 詳細 p.130



▶ 詳細 p.130



▶ 詳細 p.130



▶ 詳細 p.130



▶ 詳細 p.130



▶ 詳細 p.130

## 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo



釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶ」[▶ 詳細p.131](#)  
ね]



つながる湾プロジェクト「そらあみ-松島湾-」(多賀城政庁跡)[▶ 詳細p.131](#)



つながる湾プロジェクト「海辺の記憶をたどる旅展 2015 -多賀城-  
[▶ 詳細p.131](#)



子どもを対象としたワークショップ「ダンスプロジェクト」[▶ 詳細p.131](#)



子どもを対象としたワークショップ「ライブアートプロジェクト」[▶ 詳細p.131](#)



森のはこ舟アートプロジェクト パートナーシッププログラム「草木をまどって山のかみさま」[▶ 詳細p.131](#)

# 東京キャラバン



撮影：表恒匡 | SANDWICH

[▶ 詳細 p.133](#)



撮影：表恒匡 | SANDWICH

[▶ 詳細 p.133](#)



撮影：井上嘉和

[▶ 詳細 p.133](#)



撮影：表恒匡 | SANDWICH

[▶ 詳細 p.133](#)



撮影：井上嘉和

[▶ 詳細 p.133](#)



撮影：井上嘉和

[▶ 詳細 p.133](#)



五十嵐靖晃×クラフト工房La Mano《New Horizon》▶詳細p.135  
撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）



エキシビション会場で実施したトークシリーズの様子 ▶詳細p.135  
撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）



マッチフラッグワークショップを手伝う  
TURN フェスサポーター 撮影：ただ（ゆかい） ▶詳細p.135



柳雄斗×コミュニティセンターakta  
《Here comes a delivery.》撮影：ただ（ゆかい） ▶詳細p.135



中崎透×認定NPO法人クリエイティブサポート ▶詳細p.135  
レッツ《たけし文化センター-東京都美術館》  
撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）



カンファレンスの様子  
撮影：鈴木穂蔵 ▶詳細p.135



基礎プログラム1思考編 授業風景  
撮影：加藤健

▶ 詳細 p.138



基礎プログラム1思考編 「現場に出会う」の様子  
撮影：加藤健

▶ 詳細 p.138



基礎プログラム2技術編 立石での授業風景  
撮影：加藤健

▶ 詳細 p.138



基礎プログラム2技術編 グループディスカッションの様子  
撮影：加藤健

▶ 詳細 p.138



基礎プログラム1・2集合写真  
撮影：加藤健

▶ 詳細 p.138



研究・開発『幸せな現場づくり』のための研究会  
中間報告会の様子

▶ 詳細 p.138

## アーツアカデミー



平成27年度アーツアカデミー事業報告会より

▶ 詳細 p.137

## 伝統芸能パースペクティブ



撮影：藤本史昭

▶ 詳細 p.143

## 広報活動



TOKYO PAPER Remix  
撮影：藤田慎一郎

▶ 詳細 p.144



記者懇談会

▶ 詳細 p.144



芸術文化団体広報ネットワーク会

▶ 詳細 p.144



広報紙 TOKYO PAPER for Culture

▶ 詳細 p.144

# 東京アートポイント計画

## 東京における多様な地域の文化拠点の形成

「東京アートポイント計画」は、人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の様々な魅力を創造・発信することを目指しています。

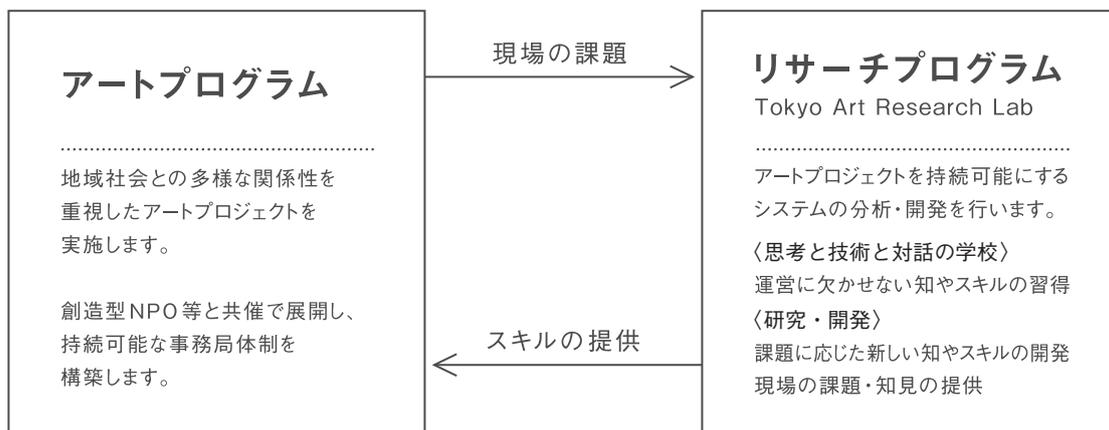
まちなかにある様々な地域資源を結ぶアートプログラムを、アーティストと市民が協働して実施・展開することで、それらを可能にするプラットフォーム（＝人的資源・拠点・ネットワーク）を形成し、地域社会の担い手となるNPOを育成します。

アートプロジェクトを実施するばかりではなく、活動を地域社会のなかで持続可能なものにするために、Tokyo Art Research Labにおいてアートプロジェクトを担う人材育成や、必要な知識を研究・開発し、そのメソッドを広く社会に開いていきます。

これらを実現するため、以下の2つのアプローチによりリサーチと実践を推進します。

### 東京アートポイント計画の2つのアプローチ

#### 東京アートポイント計画 × NPO



# 24

## TERATOTERA

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	杉並区、武蔵野・多摩エリア
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人Ongoing
後援	三鷹市、武蔵野市
協力	江戸東京たてもの園 [TERATOTERA SOUND FES. 一音の陽炎]
参加者数	約3,070人

### 【事業趣旨（目的）】

古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野、多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するための様々なプログラムを展開。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### (1) TERATOTERA SOUND FES. 一音の陽炎

小金井公園の敷地内にある「江戸東京たてもの園」にて、2日限りの音楽の祭典を開催。江戸時代後期に建てられた古民家を舞台に、1日目は箏やコントラバスの即興音楽が、2日目はダンスを交えたパフォーマンスと、バリトンサックスの演奏が訪れた観客を魅了した。

開催日：8月1日、2日

会場：江戸東京たてもの園 吉野家

出演：齋藤徹、八木美知依、東京中低域より7名のバリトンサックス、Torus Vil.

参加者：410人

#### (2) 西荻レヂデンス

約2か月間、アーティストがJR西荻窪駅付近に滞在し、まちを舞台に作品を制作、発表するプロジェクト。今回は、不条理演劇の作家サミュエル・ベケットの戯曲『幽霊トリオ』に着想を得てインスタレーション作品を制作した。

滞在リサーチ期間：8月1日～31日、10月1日～25日

展示日時：10月21日～25日

会場：ピリヤード山崎、西荻レヂデンス

参加アーティスト：オル太

参加者：111人

#### (3) TERATOTERA祭り2015 -Sprout-

『TERATOTERA 祭り』は、11月21日～23日の3日間、三鷹駅周辺の空き店舗などを舞台に、まちなかでのアート展をはじめ、演劇公演や音楽ライブなどを盛り込んだ大規模展覧会。今年度のTERATOTERA祭りは「萌芽」を意味する「Sprout」をテーマに、新たな表現を紹介することをコンセプトに掲げ、祭典をより一層盛り上げるためのイベント、11月の大規模展覧会とともに、1980年代後半から90年代生まれの若手アーティストが多数参加した。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加アーティスト	参加者(人)
9/20	イベント	4組の若手アーティストによる、来場者参加型のワークショップやパフォーマンスを繰り広げたイベント。TERATOTERA祭りに向けて、過去のTERATOTERA祭りの映像や、記録冊子を開覧できるブースを設け、チラシを配布した。	三井住友銀行 三鷹支店 駐車場	うらあやか、田中義樹、パンク侍（パンケキ侍）、野口竜平	約60

開催日	プログラム名	内容	会場	参加アーティスト	参加者(人)
11/21~23	Art	駅周辺の空き店舗、ライブハウス、喫茶店など5か所に、気鋭のアーティスト9名の作品が出現。静かに眠っていた空き店舗、そして営業中の店舗も、怪しげなインスタレーションに彩られ、いつもとは違う表情で熱を帯びた3日間となった。	三鷹駅北口交番横、三鷹第一アパート、レストラン喫茶上床、おんがくのじかん、三鷹中央ビル1階みたかスペースあい、三鷹中央ビル2階 自転車店跡	うらあやか、江藤佑一、小鷹拓郎、阪中隆文、瀬川祐美子、玉山拓郎、野口竜平、山本篤、和田昌宏	約2,000
11/21	Live	柔道場を舞台に、歌と音の関係について新しい可能性を提示する音楽家3人がそれぞれソロで演奏を行った。	東海大学望星学塾 松前柔道場	井手健介、藤田陽介、マヒトゥ・ザ・ビーボー	37
11/21~23	Performance 「みんなよるがこわい」	劇団「贅沢貧乏」による公演。ビルの1室を1人暮らしの部屋に見立て、誰もが経験する、不安が交差し眠れない夜をテーマとした作品は、鑑賞者の共感を生み、コミカルな演者の表情に終始会場は盛り上がりを見せた。	三鷹北口共同ビル 2階	脚本・演出：山田由梨 出演：青山祥子、大竹このみ、田島ゆみか、山田由梨	235

#### (4) 人材育成プログラム

##### ■ (入門編) 「TERAKKO (テラッコ) 屋」

TERATOTERAの活動を推進する人材を1年間かけて育成するプログラム。本プログラムの参加者は、年間を通じたTERATOTERAの全プログラムに企画から実施まで携わった。

5月に新たなボランティアスタッフの「TERAKKO」を募集し、月に1度、進捗状況確認のため「TERAKKO屋」を実施。次回開催するプロジェクトや、参加アーティストの作品紹介や講座を設け、現場以外の知識も身につけることを目指した。

開催回数：9回

今年度新規テラッコ：29人

##### ■ (座学編) 「TERA English」

アートプロジェクト関係者が、アートの現場に必要な英語を学ぶことのできる少人数ゼミ形式の連続講座プログラム。初級・中級の2コースを実施し、受講生が最後の授業で自身のプレゼンをすることを目標に授業を進めた。

開催期間：

【初級クラス】7月22日～2月24日 隔週水曜日 全15回 19:30～21:30

【中級クラス】7月29日～3月2日 隔週水曜日 全15回 19:30～21:30

会場：アーツカウンスル東京ROOM302

講師：弘川有希絵、内藤貴美子

受講料：50,000円

受講人数：【初級】22人【中級】20人

##### ■ (実務編) 「TERAの穴」

アートプロジェクトを運営するために必要な実務をTERATOTERAの現場で実際に経験させながら育成していくTERATOTERA運営スタッフ養成所「TERAの穴」を設置。各イベントの準備から実施まで、TERAKKOを主導し、進行した。

27年度「TERAの穴」スタッフ：5人

##### ■ (総括編) 「アートプロジェクトで789 (なやむ)」

チーフディレクターの小川希がホストとなり、アートプロジェクトの各分野で活躍するゲストを迎え、現在のアートプロジェクトが抱える諸問題に対談形式で紐解いていくトークショー。昨年度までに第1回～第5回を開催、27年度は第6回～10回までを実施した。キュレーターやアートプロジェクトに参加経験のあるアーティスト、ディレクターから、アートプロジェクトの現状や今後の可能性についてお話を伺った。

開催日	テーマ	ゲスト	会場	参加者(人)
6/14	プロジェクトは誰に向けて発信するのか	服部浩之 (キュレーター)	東小金井 ヒガコ プレイス	25
7/5	美術館とビエンナーレ/トリエンナーレの関係	飯田志保子 (キュレーター)	西荻窪 旅の本屋 のまど	34
10/3	プロジェクトをどう残す!? - 作品・アーカイブ・言葉・価値 - Nadegata Instant Partyの試み	Nadegata Instant Party (アーティストユニット)	国分寺 Roof	17

開催日	テーマ	ゲスト	会場	参加者(人)
11/8	遠藤水城さんの悩み：キュレーションにおけるコンセプトとはなにか。 千葉正也さんの悩み：作品が完成しなかったらと想像すると超怖いののでいつも体力的に限界までやってしまう事	遠藤水城(インディペンデント・キュレーター)、千葉正也(画家)	荻窪 旅館西郊	43
12/12	悩みは企画の悪友なのか？	森司(東京アートポイント計画ディレクター)	阿佐ヶ谷 杉並りボン館	14

**【参加者の声】**

● TERATOTERA SOUND FES.

・バリトンサクソと古民家の組み合わせが面白い。お腹の底にひびく音や白熱灯でときおり反射する黄金色の金属が雅にみえ、神聖な空間にすら思えてきた。(30代・女性)

● 西荻レヂデンス

・2つの会場を組み合わせでトリッキーながらゆるくリンクされてて楽しかった。(40代・男性)  
・作品内容としては興味深く、偶然性・場所の見方・作品の再現はひかれました。只、ちょっとトークがグダグダかな。(20代・男性)

● TERATOTERA 祭り

・こういう街中での取り組みをもっと継続して行ってほしい。(20代・男性)  
・この場所でやることの意義と一方での軽やかさがよかった。来月武蔵野市に引越してくるのでまたイベントあれば覗きにきます！(30代・男性)



TERATOTERA SOUND FES.  
-音の陽炎-  
齋藤徹「和風空間に新しい音」



TERATOTERA 祭り 2015 -Sprout-  
プレイイベント うらあやか「野良イネを探して。」



TERATOTERA 祭り 2015 -Sprout-  
山本篤「It's a small world」



TERATOTERA 祭り 2015 -Sprout-  
マヒトゥ・ザ・ピーポー



TERATOTERA 祭り 2015 -Sprout-  
小鷹拓郎「日本一ヘタな歌手・上床敬子の100次元パラレルワールド」



アートプロジェクトで789 (なやむ)

# 25

## 小金井アートフル・アクション！

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	小金井市
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人アートフル・アクション
参加者数	約1,220人

### 【事業趣旨（目的）】

市民がアートと出合うことから、日常生活の暮らしの中に新たな発見や自らの潜在能力に可能性を見出すことにより、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくりだすことを目指す。すべての事業を人材育成と位置づけ、市民が主体となった事業推進の体制づくりと創造的な文化政策の提言組織としての成長に向けた事業に取り組む。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### （1）保育園でのアートプロジェクト

企画、運営、広報などに保育園の保護者、行政、スタッフとしての市民、NPOスタッフが連携し、小金井市の文化や環境資源を活かしたアートプロジェクトを実施。園職員と保護者が主体となって、主体的にアートプロジェクトを企画・運営すること（人材育成）をめざした。

#### ①けやき保育園

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト・出演・アーティスト	参加者（人）
プレワークショップ： 10/21、28、11/4	けやきまつり「大きな『き』に集まる仲間たちに変身して、けやきランドの音楽隊とパレードしよう！」	父母や保育園から出されたアイデアを生かし、「木」をテーマとしたストーリー性のある音楽・身体表現および造形のワークショップを行った。	けやき保育園	亀田奈美子、松村拓海、やまぐちみえ、清水達生、猪股桃絵、鎌田尚子	280
親子衣装制作ワークショップ： 10/31					
けやきまつり： 11/8					

#### ②さくら保育園

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト・出演・アーティスト	参加者（人）
制作ワークショップ： 1/15、1/16	アートフルプロジェクト「家族で楽しむみんなの手」	昨年度同様、卒園制作と在園児の自由参加という形で、手形を主題にした共同制作と家族での自由画制作、保護者でもあるフルート奏者による展覧会兼コンサートという2段階のプログラムを行った。	さくら保育園ホール	展覧会兼コンサート：亀田奈美子（フルート）、安川友美（ピアノ）	94家庭＋園児10
展示、コンサート： 1/30					

#### （2）学校連携事業

継続して行ってきた小学校との連携から得た知見を生かし、市内の小学校と連携し、アーティストを交えたプロジェクトを行う。

開催日	プログラム名	内容	会場	講師	参加者（人）
7/25～1/28 ワークショップ（各校6.7回）＋合同発表会	「音の贈りもの」	「まだ見ぬ誰かに何かを伝える」、「まだ見ぬ誰かを思って造形をする」ことを考えるきっかけとなるよう、2つの学校間を跨ぐプログラム。扱いが容易でない自然素材とじっくり向き合うなかで、それぞれが自分の表現を見つけていくことを目指した。	小金井市立前原小学校、小金井市立小金井第四小学校、ほか		157
7/1～12/24（準備期間含む） ワークショップ：11/11、12/2、9、16、24	「本町 写し絵劇場」	国語で学んだことを題材に図工の時間を使って表現し、教科の枠を超えた活動を目指した。「写し絵」やマタギの暮らしを聞く機会を設け、宮沢賢治の世界から自分の表したいもの、新たな表現を手に入れるきっかけとなるよう設計した。	小金井市立本町小学校図工室、多目的教室	11/11：鈴木英雄（秋田マタギ）、木村望（マタギ見習い） 12/2：江戸糸あやつり人形結城座	82

(3) 小金井と私 ～秘かな表現～

アサダワタルと協働した企画。多様な芸術文化と出会い、表現者の視点やコミュニケーションを体験できる場をつくり、そこで得た様々な感性や知見や体験をもとに、自分のくらしの見つめなおし、住んでいる「まち」との新たな出会いなおしができるような機会を創出した。

開催日	内容	会場	講師・ゲスト	参加者(人)
10/12、11/8、12/6、1/31、2/21、3/6	能の身体の使い方、道具の使い方など、能の所作を学び、それをもとに、自らの表現を生み出すことを意識した内容のワークショップを実施した。	宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）、小金井市環境楽習館、小金井市立はげの森美術館	講師：津村禮次郎（能楽師） ゲストアーティスト：EAT & ART TARO、鈴木一郎太	18人

(4) 事業成果展示

「小金井アートフル・アクション！」の各活動の成果を展示し、市民の皆さんへの周知と報告を行った。展示にあたってプロジェクトに関わったスタッフ全員が伝えたいことや成果を整理し、制作をすすめた。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
3/4～9（制作期間：1/6～3/10）	まちはみんなのミュージアム2015！	展示テーマは移動と仮設（説）。「まちはみんなのミュージアム」をどのように展開していくのか、多くの人と考えられるような展示を目指した。「小金井と私 秘かな表現」最終回ワークショップやスペシャルトークも実施。	宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）	3/6スペシャルトークスピーカー：アサダワタル、鈴木一郎太 ゲスト：服部浩之	約570人

【参加者の声】

● けやきまつり

・パレードのような大きなイベントも非日常だが、子供と一緒に、じっくり考えながら工作をする体験、本当にないと思うので、この体験は残ると思う。（保護者）

● 「音の贈りもの」

・私は、初めてヒョウタンで楽器を作りました。自然にある物や、ゴミになりそうなもの、思ってもいなかった物が楽器のざいりょうになることにおどろきました。少しエコになると思いました。音を絵で表せば、耳の聞こえない人でも音が少し分かるから、いいなと思いました。（児童）

● 小金井と私 ～秘かな表現～

・作って終わりではなくて、展示もできて繋がる感じが良かった。



小金井と私 ～秘かな表現～



アートフルプロジェクト「家族で楽しむみんなの手」



まちはみんなのミュージアム2015！スペシャルトーク

# 26

## としまアートステーション構想

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	豊島区内各所
主催	東京都／豊島区／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人オノコロ
参加者数	約7,780人

### 【事業趣旨（目的）】

豊島区民をはじめとする多様な人々が、区内の魅力あふれる地域資源を活用し、当事者として主体的にアート活動を行うことで、その活動がさらに多くの人々の主体性を生み出す。そのような公共活動のあり方を目指し、個々人の自発的なアート活動を支援することで、地域や人々の想いをつなげるシステムづくりを目的とする事業を実施するとともに、その立ち上げや運営の活動プロセスを今後の参考資料となるよう記録する。

としまアートステーションZを様々な人に開かれた交流拠点として運営する。また、豊島区内の様々な場に、アーティストやオノカラーが出向いてプロジェクトを実施することによって、その場をテンポラリーなアートステーションとする。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### （1）としまアートステーションX

としまアートステーション構想ではこれまで、遊休不動産、公共施設、公園、路上、空き地などの新しい使い方を実験・提案してきた。これは、都市の中にすでにある場の使い方を読み替えることで、新たな活動が生まれる状況をつくるものであった。

27年度は、この発想を引き継ぎつつも、不動産ありきではない「アートステーション」の概念を提案する。都市の中に既にある様々な場に、様々な主体者（アーティストやオノカラー）を投入し、活動を生み出すことによって、その場を一時的にアートステーション化する。活動体やプロジェクトそのものをアートステーションとして提示し、空間ありきではないアートステーションのかたちを探る。

#### ① 区庁舎×居間 theater

多様な人が訪れる豊島区新庁舎にて、としまアートステーション構想の活動を広く区民に周知し、「アートステーション」がどういうものかを体験してもらう機会をつくる。これまで接点のなかった区民にとしまアートステーション構想への関心、理解、参加を促すことで、今後、新たな活動体やコミュニティ＝アートステーションが生まれる土台をつくることを目指した。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
8/28、29	「アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口」	居間 theater が豊島区役所に仮想の「課」を設け、区役所の窓口という形式を用いたパフォーマンスを実施した。「アート」「ステーション」「構想」についての説明がオノカラーや俳優によって行われた。窓口を通過した観客は「アートステーション構想」がどういうものかを理解した上で、「エキシビション」、「デモンストレーション」、「クエスチョン」という3つのパートに分けられた場へ向かい、更にアートステーションに対する理解を深めた。	としまセンタースクエア	694

#### ② 介護施設×居間 theater

ふくろうの杜では、高齢者の介護予防や自立生活支援に取り組んでいる。そのためには地域との連携が不可欠だが、ふくろうの杜は豊島区内では比較的新しい相談支援事業所であり、地域住民に施設の存在や機能を知らせることが課題である。そこで事務局スタッフとともに場を開き、居間 theater とイベントを開催する。職員にそのプロセスに触れてもらうことで、高齢者介護施設内でできることの可能性を拡張し、ゆくゆくは職員主導で新たな取り組みをはじめられる土壌をつくることを目指した。

開催期間	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 4月～3月</li> <li>・オープニングイベント 1/30</li> </ul>	「ふくろうの杜ふらっと文庫の開設」	ふくろうの杜が主体となって、地域の方々が自由に入出りできる本棚スペース「ふくろうの杜ふらっと文庫」を開設した。利用方法は、おすすめの本を1冊持ち込み、感想などを一言添え本棚へ置く。そして、棚から気になる本を1冊受け取る。オープニングイベントでは、音楽・うごき・ことばをつかった本を楽しむパフォーマンスや、施設職員による日用品をつかったしおりづくり、施設の見学ツアーなどをプロデュースした。その後も、ふくろうの杜の職員により運営されている。	池袋敬心苑 1F	オープニングイベント 来場者： 41

③ 都心の住まい×北川貴好

建築や空間に関するリサーチと、それにもとづく作品制作を得意とするアーティストとともに、都心の特徴的な要素であるタワーマンションと、その住民にアプローチすることで、タワーマンションという環境や風景、そこ住む区民の生活やコミュニティや活動の在り方についてリサーチし、都心におけるアートプロジェクトの可能性を探ることを目指した。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画会議 4/10、5/8、25、6/11、21、7/15</li> <li>・明治大学木寺研究室リサーチ 4/16、30、5/14、6/11</li> <li>・リサーチ 5/10、11、22、25、6/15、30、7/15</li> </ul>	「高層及び低層集合住宅一帯多層化芸術計画」	オノコラーとの勉強会や、タワーマンション設計者へのヒアリング調査、タワーマンションへの往訪、明治大学木寺研究室とのリサーチプログラムを実施。また、オノコラー育成プログラムの一環として、オノコラーの住居であるタワーマンションを使用し、1日限りのトリエンナーレを開催。タワーマンションで作品を展示すること、鑑賞することの両者についても考える機会となった。	としまアートステーションZ、池袋エリア各所	
2/25～3/1	展覧会「地上階には、つながらない邸宅」	これまでの活動やリサーチの中から抽出されたタワーマンションの空間的要素を再構成し、都市の中に仮想的建築を設計し、都市と住まいの関係を提示した回遊型の展覧会を実施した。タブレット端末からウェブサイトへアクセスし、指示に従いながら池袋駅を中心に地下空間を巡り、音声やテキストを読みながら、意図的に日常の中で出会う空間体験との差を自覚させた。	池袋エリア各所	144

④ 地域に密着した公共施設×オノコラー

26年度、としまアートステーションZを拠点に活動した「地域リサーチグループ」では、オノコラーが地域に出ていく機会をつくることができた。その結果、としまアートステーション構想には、地域の課題にクリエイティブな手法で応えてくれる人が集まっているという期待感を地域の人たちが持ち、企画協力やコラボレーションなどのオファーを多数受けるようになった。

今年度は、オノコラーによる活動チームを結成し、これまでに関係性をつくってきた公共施設で企画を実施し、その場をアートステーション化することを試みた。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
11/28	企画発表会	3施設担当者、オノコラー、豊島区担当者、アーツカウンシル東京担当者に向けて、オノコラーが企画をプレゼンテーションした。参加者はそれぞれ票を持ち、自分の施設でやってみたい企画、自分が参加したい企画に投票し、一番票の多かった企画を実施することとした。施設担当者にはオノコラーに多様なアイデアやスキルを持った人がいることを知ってもらった機会となった。投票の結果、「ぶつぶつ交換会」が選ばれ実施する運びとなった。	みらい館 大明、区民ひろば高南第一、中高生センタージャンプ長崎、としまアートステーションZ	オノコラー： 10 施設ゲスト： 3
1/31	プレ「ぶつぶつ交換会」実施	本番を想定し、オノコラーを対象にプレでぶつぶつ交換会を行った。ファシリテーションの工夫や、時間の設定、準備物の確認など、本番を意識した会となり、企画者であるオノコラーの不安点の改善や自信向上につながった。プレに参加したオノコラーも会のイメージを持つことができ、本番に参加しやすい空気ができていた。		
2/21	「ぶつぶつ交換会 in みらい館 大明」	文房具をテーマとしたみらい館 大明では、ブックカフェを利用している小学生や、ぶつぶつ交換会を目指して初めて施設を訪れた人など多様な人とともに行うことができた。それぞれの持ってきた文房具を試しあうなど、和気あいあいとした会であった。	みらい館 大明	オノコラー： 6 来場者： 7

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
2/27	「ぶつぶつ交換会 in 区民ひろば高南第一」	思い出の写真をテーマとして、区民ひろばの利用者やみらい館大明でのぶつぶつ交換会にも来場したリピーターなどが参加した。問いを深めていくという「哲学対話」の要素が強い会となり、参加者全員が集中して対話を行っていた。	区民ひろば高南第一	オノカラー： 5 来場者： 4

## (2) としまアートステーションZ

26年度は、誰にでも開かれた場づくり、セルフカフェ・情報発信を週3回実施し、来場者のやりたいことを実験できる環境づくりと活動をサポートする作業日を行った。その結果、カフェのリピーターが作業日の活動に参加するようになったり、オノカラーに登録したりする人が出てきた。また、日々の記録と振り返りの手法を開発し、場づくりにおける心がけや手法をまとめた「としまアートステーションZのつくりかたβ版」を作成した。

今年度は、セルフカフェ・情報発信と作業日を継続するとともに、「としまアートステーションZのつくりかたβ版」を手引きとして運営側にオノカラーを巻き込んでいくことを目指した。

### ① セルフカフェ・情報発信

セルフカフェを設け、誰でも気軽に立ち寄ることができる環境を整えた。また、チラシ、パンフレットなどを設置し、豊島区内外の地域・アート情報の発信を行った。さらに、としまアートステーションZの運営をサポートするオノカラーを募集し、「としまアートステーションZのつくりかたβ版」を運営の手引きとして場づくりの担い手を増やすよう試みた。

開催期間：毎週金曜日15：00～21：00、毎週土・日曜日12：00～18：00（イベント時変更あり）

オープン日数計：123日

来場者数合計：6,258人（月平均522人、日平均51人）

会場：としまアートステーションZ

### ② 作業日

来場者が自由にやりたいことを持ち込み、試したり、相談したり、仲間を見つけたりできる作業日を実施した。「としまアートステーションZのつくりかた」に掲載した「作業グループサポートガイドライン」に基づいて、グループ活動をはじめたい人をサポートした。

作業日グループ活動回数：12企画71回

開催期間、オープン日数計、来場者数、会場はセルフカフェ・情報発信と同様。

## (3) としまアートステーションのつくりかた

アートステーションのモデルケースである「としまアートステーションZ、Y、X」の立ち上げや運営のプロセスを記録し、それをもとに今後区民が主体となってアートステーションを立ち上げ、運営する際の参考となるドキュメントを制作する。

今年度は、26年度に制作した「としまアートステーションZのつくりかたβ版」を更新し、「としまアートステーションZのつくりかた」を一般公開する。また、「としまアートステーションYのつくりかたβ版」を制作する。

### ① としまアートステーションZのつくりかた

「としまアートステーションZのつくりかた」は、多様な人々が集まり創造的な活動が生まれる場をつくるための心がけや具体的な手法を記述することを通して、場づくりに取り組む新たな人材を増やしていくことを目指すものである。

今年度は、「としまアートステーションZのつくりかたβ版」を、オノカラーおよび東京都内で活動するアートプロジェクト関係者に配布しフィードバックを得た。それを参考にβ版を更新し、今年度実施したプログラムの記録も加筆して「としまアートステーションZのつくりかた」を発行した。

### ② としまアートステーションYのつくりかた

「としまアートステーションYのつくりかた」は、民間の遊休スペースを活用して創造的な活動が生まれる場をつくるための方法を記述することを通して、場づくりに取り組む新たな人材を増やしていくことを目指すものである。今年度は、26年度にアーカイブした活動記録に基づいて「としまアートステーションYのつくりかたβ版」を制作した。β版には、としまアートステーションYの活動記録とアートステーションを立ち上げるプロセスを追体験できる教材を兼ねたものとして、カードゲームを収録した。また、26年度に実施したシンポジウム「都市のすき間一文

化芸術が生まれる場所—」の記録およびプロジェクトを振り返っての座談会の記録も掲載した。

#### (4) オノコラープログラム

26年度から、アートや地域に関わる活動に自発的に取り組む人を「オノコラー」と名付けて募集し、としまアートステーション構想の活動を通してアートや地域に関わる機会を提供している。

今年度は、26年度から継続するオノコラーと新規のオノコラーを募集し、各プログラムのサポートを通して、アートや地域に関わる機会をつくった。将来的にアートマネジメントに関わる人、自分の興味関心を活かして地域で活動する人、活動拠点の運営を担う人が、豊島区内に増えることを目指した。

#### ●共通プログラム

・説明会

開催日：4/11、17、6/5

参加者数：延べ102人

・事務局からのレクチャー

開催日：7/17

参加者数：25人

・居間 theater Documentary Films 上映会

開催日：7/26

講師：居間 theater

参加者数：16人

・ワークショップ「地図で発見！いろんな豊島区」

開催日：8/9

講師：地理人

参加者数：15人

・交流会

開催日：4/11、5/20、7/30、9/20、10/17、11/19、12/26、1/26、2/10

参加者数：延べ120人

#### ●選択プログラム（各プロジェクトへの参加）

活動期間：4～3月

参加者数：延べ326人

#### 【参加者の声】

##### ●としまアートステーションX 都市の住まい×北川貴好

・ありふれた都会の日常を歩きながらも、非日常の冒険と発見が詰まった、興味深いイベントと感じた。(40代・女性)

##### ●としまアートステーションZ

・スタッフの方も利用者の方も受け入れ体制が万全なので、マイペースのまま継続して関わっていけるなという安心を得ました。

・予想していた以上に関わることができ、期待していた以上の学びがあったと思います。Zでの活動を通して、自分の適正や課題が分かりました。大きな計画を立ててそれに向かうよりも、すぐできる小さな目標を少しずつクリアしながらやっていくのが自分には合っている、周囲を巻き込んだり自分の考えを上手く伝えたりすることができるようになることが課題だと分かりました。

# 27

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	足立区千住地域、他
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／東京藝術大学音楽学部／特定非営利活動法人音まち計画／足立区
参加者数	11,202人

### 【事業趣旨（目的）】

足立区制80周年を契機に、「音」をテーマとした多様なアートプログラムによって、地域のコミュニティ形成を目指すプロジェクト。足立区や東京藝術大学音楽学部、NPO法人との連携で実施する。江戸四宿のひとつとして栄え、現在もその名残をとどめる下町情緒溢れるまちの地域資源と各地域の交流地としての文化の多様性を最大限に活かし、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信する。

### 【開催状況】

#### （1）千住ライジングオーケストラ「研究発表会」

「千住ライジングオーケストラ」は、プロジェクトの発起人である音楽家・大友良英から、テクニカルディレクター・山元史朗へと引き継がれ、装い新たに「空から音が降り注ぐ演奏会」の実現に向けて活動してきた。今年度は「Maker Faire Tokyo 2015」や「別府現代芸術フェスティバル2015『混浴温泉世界』」などへ遠征し、風の仕組みに関わるリサーチ、実験を続けてきた。そして、その悪戦苦闘の1年間の成果報告として、新たなアイデアのもと生み出された風の実演と、これまでの試行錯誤の歩みを語る研究発表会を開催するに至った。

- 開催日 1月16日（土）  
 会場 荒川河川敷（第1部）、安養院（第2部）  
 出演 山元史朗、松本祐一、和田永、遠藤一郎、武田晃男  
 参加者数 143人（第1部：100人、第2部：43人）  
 ① 第1部「実験風揚げ」  
 ② 第2部「研究発表会」

#### （2）大巻伸嗣「Memorial Rebirth」

今年度で5年目を迎える「Memorial Rebirth 千住」の集大成として、足立市場を会場に過去最大規模で実施した。イベント本番までも、これまでの活動で繋がれた縁をもとに、PR企画として千住各地でのプレ企画を3回実施するなど、地域住民の協力によって地域に根ざしたプロジェクトを実現できた。

#### プレ企画・ワークショップ

##### ■プレ企画 vol.1 ふわり@シャボン玉 Memorial Rebirth 千住

- 開催日 6月6日（土）  
 会場 足立区立千寿双葉小学校  
 参加者数 216人

##### ■プレ企画 vol.2 ふわり@シャボン玉 Memorial Rebirth 千住

- 開催日 8月1日（土）  
 会場 千住緑町商店街  
 参加者数 477人

##### ■衣装ワークショップ

- 開催日 8月22日（土）、30日（日）、9月19日（土）、26日（土）  
 会場 たこテラス  
 参加者数 21人

■プレ企画 vol.3 ふわり@シャボン玉 Memorial Rebirth 千住

開催日 9月13日(日)  
会場 足立区立千寿第八小学校  
参加者数 203人

■大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2015 足立市場」

開催日 10月11日(日)  
昼の部「しゃボンおどり、色彩をまとめて泳ぐ」15:00~15:30  
夜の部「半時の永遠、きらめきの流れにたゆたう」18:00~18:30  
会場 東京都中央卸売市場足立市場  
出演 くるくるチャーミー [大西健太郎、富塚絵美、松岡美弥子]、桔梗みすず、千葉広樹、西本夏生、大久保由美、水越朋、千住ちんどん、だじゃ研バンド  
衣装協力 佐藤茜  
屋台出店 NPO法人千住文化普及会、かどのめし屋、河原町自治会、千住いえまち、千住を守る会、チャイヤイ、橋戸町自治会  
協賛 旭染工(株)、朝日新聞(株)、イワキ、阪田屋呉服店、ファッションサイクル遊遊  
協力 東京電機大学ロボット・メカトロニクス学科、千寿リーグ、有限会社千富士オート、菱新運輸株式会社、おかめひょっとこ元気連、柳原有志の桜会、千寿双葉小学校開かれた学校づくり協議会、千住緑町町会、千住緑町商店会、千寿常東小学校おやじの会、古着回収にご協力いただいたみなさま  
参加者数 5,050人

(3) 野村誠 千住だじゃれ音楽祭

25年度より、東南アジアの音楽家との交流を通して国際的な展開を見せている本事業では、27年度は「だじゃれ音楽研究会」のメンバーからなる「熱タイ音楽隊」が1週間のバンコクツアーを敢行し、様々な場所で最新のタイ音楽とコラボレーションを実施。また、本事業の活動を地域に広くPRする活動も積極的に行った。

■PR企画1「足立区しょうぶまつり」

だじゃれ音楽研究会メンバーである小日山拓也による手作り楽器ワークショップを子供対象に実施。  
開催日 6月7日(日)  
会場 都立東綾瀬公園  
参加者数 416人

■PR企画2「あだち市場の日」

子供を対象にした手づくり楽器ワークショップをはじめ、だじゃれ音楽研究会によって発明された貝殻をつかったワークショップを実施。  
開催日 9月12日(土)  
会場 東京都中央卸売市場足立市場  
参加者数 122人

■野村誠 千住だじゃれ音楽祭【国際交流企画第3弾:タイ調査篇 レクチャー&コンサート「熱タイ音楽隊の一週間」】

昨年末には、「だじゃれ音楽研究会」のメンバーからなる「熱タイ音楽隊」が1週間のバンコクツアーを敢行し、様々な場所で最新のタイ音楽とコラボレーションを実施し、その内容を発表するレクチャー&コンサートを実施した。  
開催日 2月21日(日)  
出演 野村誠、だじゃれ音楽研究会、小川実加子、松澤佑紗ほか  
映像 甲斐田祐輔  
協力 Museum Siam、Silpakorn University、Princess Galyani Vadhana Institute of Music、Srinakharinwirot University、Damrih Banawitayakit、Anothai Nitibhon、Anant Narkkong、Jean-David Caillouët  
現地コーディネーター: Pasinee Kook Sakulsurarat  
助成 国際交流基金アジアセンター  
参加者数 103人

(4) イミグレーション・ミュージアム・東京

日本に暮らす外国人の生活に根ざした異文化を紹介・共有するプロジェクト。美術家・岩井成昭の監修のもと、外国人の日本での経験を材料にして参加者が制作した作品の展示を実施し、会期中にはトークイベント、パフォーマンスを実施。また新たに、「多文化共生について考えるトークシリーズ基礎編／芸術編」を開催。基礎編では移民という現象が発生した背景・歴史をたどり、日本の現状・課題・在日外国人の実態を考察し、芸術編では、アートの手法を介して在日外国人にクローズアップしたドキュメンタリー演劇の紹介や、ドキュメンタリー映画の上映を実施した。

■参加者募集説明会

本プロジェクトに新規に関わる参加者を募集。説明会では過去の活動紹介などが実施された。

開催日 6月6日(土)

会場 東京藝術大学 千住キャンパス

参加者数 8人

■イミグレーション・ミュージアム・東京 ー普段着のできごとー

昨年度参加者に加えて今年度からの新メンバーが、ニューカマーと交流して得た経験を素材として、様々な表現を試みた作品を展示。

開催日 9月5日(土)～23日(水・祝) ※土日・祝日のみ開催

会場 東京都足立区千住曙町3-17 ※千住地区の空き家を展示会場として活用

展示作家 宮本一行+日比野桃子《スカイ・イアー》、宮本一行+北野留美+泉祐子+山田泰子《北千住多国籍会議》、姜賢植《声》、森本菜穂《Can't take my eyes off you》

企画・監修 岩井成昭

設営協力 村井啓哲

助成 一般財団法人YS市庭コミュニティ財団

【会期中のイベント】

●トークイベント「イミグレーション・ミュージアムと旅行者の視点」

9月5日(土) 16:00～17:30

●「IMMギャラリー・トーク」

9月5日(土) 18:00～19:00

●パフォーマンス 林賢黙《snapshot》

9月20日(日)、22日(火・祝) 10:00/14:00/16:00 (各回30分程度)

参加者数 285人

■トークシリーズ「多文化共生について考える」基礎編／芸術編

基礎編(全4回)

開催日	プログラム名	会場	ゲスト	参加者(人)
10/18	第1回 見学イベント：フィリピンコミュニティ見学ー五感で感じるフィリピン	カトリック 梅田教会		3
10/30	第2回 多文化共生を「空想」にしないためにーシティズンシップの視点から	学びピア21	塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)	4
11/7	第3回 在日ブラジル人の現在	第一ビル5階	アンジェロ・イシ(武蔵大学社会学部教授)	1
12/5	第4回 在日フィリピン人の現在	学びピア21	高畑幸(静岡県立大学国際関係学部准教授)	2

芸術編(全2回)

開催日	プログラム名	会場	ゲスト	参加者(人)
11/28	第1回 ドキュメンタリー演劇	第一ビル	田室寿見子(パフォーマンス・ユニットSin Titulo代表、演劇プロデューサー、演出家)	2
1/23	ドキュメンタリー映画 「HAFU/ハーフ」上映会・トークイベント	帝京科学大 学3号館	須本エドワード(「ミックスルーツ・ジャパン」代表)、矢野デイビット(ミュージシャン、司会、一般社団法人Enije代表)	27

(5) 千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」/久保ガエタン「記憶の遠近法」

オープンコンペティション形式で行われた本事業は、アートの専門家による審査員だけでなく、地域からも審査員を招くことで地域住民への新たな関わり方を提供することができた。久保ガエタンは、地域と関わりながら行うリサーチ方の作品を発表し、友政麻理子も「映画制作」という手法を用いて、参加者同士の新しいコミュニケーションの場を造成し、千住の街を新しい視点で切り取った映像作品を参加者とともにつくりあげた。

■オープンコンペティション

開催日：8月8日（土）

会場：安養院

<参加アーティスト>

久保ガエタン（アーティスト）/ 推薦者：難波祐子（キュレーター）

下司尚実（ダンサー・振付家・演出家）/ 推薦者：近藤良平（振付家・ダンサー）

友政麻理子（美術家）/ 推薦者：白坂ゆり（アートライター）

中川裕貴（音楽家・演奏家）/ 推薦者：アサダワタル（文筆家・ミュージシャン）

橋本知久（音楽家）/ 推薦者：野村誠（音楽家）

<ゲスト審査員>

畠中実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）

日沼禎子（女子美術大学准教授）

<地域審査員>

櫛原文夫（NPO法人千住文化普及会 理事長）

松本康一（タカラ湯 代表）

<主催審査員>

熊倉純子（東京藝術大学音楽環境創造科教授）

嘉原妙（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）

舟橋左斗子（足立区シティプロモーション課 シティセールス・ディレクター）

助成：公益財団法人朝日新聞文化財団

参加者数：35人

■久保ガエタン「記憶の遠近法」

開催日：1月23日（土）～3月13日（日）10：00～19：00 ※土日・祝日のみ開催

会場：たこテラス

来場者数：826人（※アーティスト・ツアー来場者含む）

■アーティスト・ツアー

アーティスト・久保ガエタンによる、展示作品の解説ツアー。

開催日：2月1日（月）、13日（土）、28日（日）各日13：00～/15：00～

会場：たこテラス

■友政麻理子「知らない路地の映画祭」映画制作説明会

開催日：8月27日（土）14：00～15：30

会場：東京藝術大学千住キャンパス

来場者数：14人

■友政麻理子「知らない路地の映画祭」リサーチ展示

開催日：1月23日（日）～3月13日（日）10：00～19：00 ※土日・祝日のみ開催

会場：たこテラス

来場者数：826人（※久保ガエタン「記憶の遠近法」の展示来場者含む）

■友政麻理子「知らない路地の映画祭」映画上映会

開催日：3月11日（金）～13日（日）※3月11日は夜の部のみ開催

昼の部 14：00～

夜の部 18：00～

会 場：千住庁舎（旧ミリオン座跡地）  
来場者数：182人

(6) 千住ミュージックホール

■千住ミュージックホール 第8回ギャラクシティ「スーパータイム☆パラボックス」

足立区の体験型複合施設のギャラクシティと協力して、子供たちがつくって踊って楽しい体験がたくさんできるワークショップ（ドレス・マントづくりワークショップ、こどもディスコ、舞踏会、指輪づくりワークショップ、結婚しよう！）を開催した。

開 催 日：9月21日（月）10：00～15：00  
会 場：ギャラクシティ（東京都足立区栗原1-3-1）  
対 象：13歳以下（未就学児は保護者同伴）  
出 演：DJ KAZUHIRO ABO & MC丸省、DJ いぬ  
共 催：ギャラクシティ  
来場者数：1,480人

■千住ミュージックホール 第9回ホワイトスタジオ「シカクトライアングル」

東京藝術センターの映画館のような巨大な白い壁面に映像を投影し、そこに音楽とダンスを融合させるイベントを実施。東京電機大学情報メディア学科の学生の協力（チームしかく）の宣伝動画や当日の案内動画の作成が行われるなど、新しい関わり方も生まれたプロジェクトとなった。

開 催 日：1月31日（日）  
会 場：ホワイトスタジオ（東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター2F）  
出 演：Jimanica（音楽）×HEPIXELS（比嘉了／Kezzardrix）（映像）、小暮香帆（dance）×Akiko Nakayama（Alive Painting）、Nyolfen（音楽）×大橋史（映像）  
B G M：NOEL-KIT + Phasma  
協 力：東京電機大学 未来科学学部 情報メディア学科、チームしかく  
プロジェクト協力：岸本智也  
来場者数：130人

(7) 大巻伸嗣「くろい家」

開 催 日：1月30日（日）～3月13日（日） 10：00～17：00 ※土日月・祝のみ開催  
会 場：くろい家（東京都足立区千住仲町29-4）  
ゲストキュレーター：難波祐子  
来場者数：1,388人

■アーティスト・トーク

開催期間が重なっていた3つの企画のアーティストをゲストにこれまでの活動紹介や、今回の企画にまつわるさまざまなエピソードなどが話された。

開 催 日：2月28日（日）17：00～19：00  
会 場：東京藝術大学千住キャンパス スタジオA  
出 演：大巻伸嗣、友政麻理子、久保ガエタン、難波祐子  
来場者数：55人

(8) ヤッチャイ隊募集説明会

アートアクセスあだち 音まち千住の縁の活動をサポートしてくれるボランティア「ヤッチャイ隊」の募集説明会を実施した。

開 催 日：9月6日（日）、23日（水・祝）、1月10日（日）、17日（日）  
会 場：音う風屋（9月）、東京藝術大学千住キャンパス（1月）  
来場者数：9人

**【参加者の声】**

●大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2015 足立市場」

・昼も参加しましたが、夜のプログラムは昼とはちがい幻想的でとても素敵でした。夢の中にいるみたいでした。

●千住・縁レジデンス 久保ガエタン「記憶の遠近法」

- ・展示の前に話をきいていたことがそのまま作品としてみれて、久保さんの頭の中をみているようでおもしろかったです。
- ・今回の展示は、街の歴史はもとより、日本の近代の技術の流れもかんじさせてくれて、新たな気づきを得ました。今後もこの街ならではの、音まちならではの企画を楽しみにしています。

●千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」

- ・住民参加型作品がとても好感がもてる。
- ・地元をまた違った視点で再認識できた。
- ・映像から懐かしさを感じた。思い出が共に浮かんできました。

# 28

## 長島確のつくりかた研究所：だれかのみたゆめ

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	都内各所
主催	東京都／アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／一般社団法人ミクストメディア・プロダクト
協力	日本大学佐藤慎也研究室、東京藝術大学市村作知雄研究室、中野成樹＋フランケンズ
参加者数	研究員数 28人、プログラム参加者数 37人

### 【事業趣旨(目的)】

「研究所」という名称で組織を立ち上げ、創作に関する様々な「つくりかた」を研究・検証するプロジェクト。アートプロジェクトにおけるプロの人材ではなく、一方で単なるボランティアやインターンとも違い、ほかに仕事を持ちつつも、自らの問題意識と深く結び付くような形で小さな企画を発案・実行していくことができるような人材を育成する。

### 【開催状況】

個々の研究室に分かれ、研究員自らが見つけた研究課題に取り組むと同時に、今年度は3年間にわたる活動の総まとめとしてのドキュメント制作へ注力。活動の軌跡を研究員自身が個々に振り返り、その中で起こった多種多様な「問題」を記述した『つくりかた研究所の問題集』を完成させた。

プログラム構成：

#### (1) 研究室

個々の研究員の立案・自治によって実行される小さなプロジェクト。研究員自身の関心をもとに、自発的なテーマを設定し「つくりかた」の研究・検証を行った。

実施期間：平成27年4月～平成28年3月

研究室：環境音楽、客者評判記、エスノドラマ、土地の記憶、つくりかたの思想史、テレビ、うごきかた、ほか

#### (2) ドキュメント『つくりかた研究所の問題集』の発行

25年度からの3年間の活動をまとめたドキュメント。研究所に参加した個々人の問題意識に焦点をあてるため、イベント実施報告や年間の活動報告を掲載した一般的なカタログ形式ではなく、初年度の立ち上げからの活動の変遷、活動で直面した様々な問題を創設者の長島確および研究員自身のテキストによって書き下ろした。

実施期間：平成27年4月～平成28年3月

#### (3) 休日再考！

ドキュメント『つくりかた研究所の問題集』を配布することを目的としたイベント。つくりかた研究所のこれまでの研究活動を休日というコンセプトで紐解き、実際に『問題集』を読み、活用してもらおう場の提供を行った。

開催日：3月26日

プログラム名：休日再考！

会場：つくりかた研究所拠点 ほか

参加者：37人

## 汐入タワープログラム

### 【概要】

開催期間	平成27年8月2日（土）
会場	都立汐入公園 汐入タワー
主催	東京都／荒川区／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都文化財団）／一般社団法人CIAN
後援	リバーパーク汐入町会
入場者数	35人

### 【事業趣旨（目的）】

本事業は、22年度から25年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園（荒川区）内に制作された「汐入タワー」において実施したプロジェクト。継続設置となった「汐入タワー」について、アーティストや地域住民等が話し合う場をつくり、その場の記憶を創出することを目的とする。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### （1）サウンドワークショップ 「汐入タワーを楽器にしよう！」

都立汐入公園内にてアーティストと地域の方による汐入タワーのメンテナンス工事を実施した。参加者には近隣の町会や小学校をはじめ、東京インプログレス事業の参加者など幅広い世代の人々が集まった。ワークショップには音楽チームも参加し、久しぶりとなる集いの場を音楽で彩った。

アーティスト：西井夕紀子、角銅真実、野田薫

### 【参加者の声】

- ・歌を聞くのも、タワーをたたくのも楽しかった。（小学2年生男子）
- ・タワーをたたいた時、柔らかい所と硬い所があり不思議だった。（小学3年生女子）
- ・暑かったけど、楽しかった。（小学2年生男子）
- ・音楽を作るワークショップと聞いて、どんな感じで音楽を作るんだろうと思って参加しました。実際にみんなで屋上で叩いたり、自分一人でいろんな音を出したりして楽しかったです。叩く場所が細い木だと音が高くなったり、叩き方を変えると同じ場所でも違う音が出たりするのがわかって、とても面白かったです。（荒川区広報課作成「報道メモ」より）



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」  
撮影：磯和穂子



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」  
撮影：磯和穂子



サウンドワークショップ「汐入タワーを楽器にしよう！」  
撮影：磯和穂子

# 30

## Art Bridge Institute

### 【概要】

**開催期間** 平成27年4月～平成28年3月  
**会場** アーツ千代田3331 ほか  
**主催** 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人 Art Bridge Institute  
**参加者数** 218人

### 【事業趣旨（目的）】

Art Bridge Instituteは、アートが現代社会においてジャンルを横断しながら、人と人のつながりをつくり出してゆくことについて、その研究や実践に取り組んでいる。機関誌『ART BRIDGE』の発行、ウェブページの運用、またこれらのメディアと連動したイベント（トークイベントやインタビュー、ネットワークづくりを目的としたイベントなど）を開催。また『ART BRIDGE』を読み合うリーディンググループや、手渡しで広めていく配付活動もプログラムの一環として取り組んでいる。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### (1)ブリッジトーク

社会、まち、アートを巡る様々なものをつなげていくためのトークシリーズ。独自のネットワークづくりの実践として、来場者とのface to faceでの交流の場づくりも大切に運営した。

今回は5～7回目を機関誌『ART BRIDGE 02 わたしたちの知』、8～10回目を機関誌『ART BRIDGE 03 地球がささやく時』に収録した。ホストは全回、ディレクターの港千尋が務めた。

開催日	プログラム名	会場	ゲスト	参加者（人）
7/2	ブリッジの作り方シリーズ5「写真の町シバタ編」	アーツカウンシル東京 ROOM302	原亜由美（「写真の町シバタ」プロジェクト実行委員）	19
7/30	ブリッジの作り方シリーズ6「せんだいメディアテーク 地域文化アーカイブ編」		清水チナツ（せんだいメディアテーク学芸員、NPO 法人記録と表現とメディアのための組織 [remo]）	30
8/4	ブリッジの作り方シリーズ7「Lat/Longプロジェクト編」		谷山恭子（アーティスト）	34
11/9	ブリッジの作り方シリーズ8「いいたてミュージアム編」		小林めぐみ（福島県立博物館学芸員、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト）	23
12/17	ブリッジの作り方シリーズ9「精神の〈北〉へ編」		丸山芳子（アーティスト、「精神の〈北〉へ」実行委員会代表）	17
1/21	ブリッジの作り方シリーズ10「地霊編」		スザンヌ・ムーニー（アーティスト）	19

#### (2) BRIDGE STORY

26年度の活動を通して出会ったアートの実践者を中心に、「自身の活動報告」「最近注目している活動」などについて、原稿執筆を依頼。つながりが新たなつながりを生む、クリエイティブな情報交換の場として、ABIのウェブサイトにも原稿を掲載する。機関誌『ART BRIDGE』のテーマと合致する原稿については、機関誌への掲載を行った。

またライターが一堂に会し、自身の活動や今後の展開を語るための「ラウンドテーブル」も開催した。

開催期間：7月～3月（毎月30日更新）

執筆 者：江上賢一郎、太田エマ、大谷悠、齋藤彰英、スザンヌ・ムーニー、仲宗根香織、原亜由美、船木翔平

開催日	プログラム名	会場	参加費	参加者（人）
1/28	BRIDGE STORY ラウンドテーブル 2015→2016	アーツカウンシル東京 ROOM 302	500円	21

#### (3) インターンプログラム

Art Bridge Instituteを含むアートプロジェクトの現場で活動できるような人材を育成する。主に、①Art Bridge Institute事業の運営補助（ブリッジトークの受付業務、フォーラムの運営補助）、②リーディンググループの企画・運営、③月1回の勉強会・情報交換会を行い、『ART BRIDGE』をPRする活動、④活動に関するレポートの執筆、を行った。

開催期間：9月～3月のうち、9回

会場：アーツ千代田3331など  
参加者：7人

(4) フォーラム

「印刷物との出会い」をテーマに、芹沢高志をゲストに迎えてトークを開催。また、本や雑誌を通じた人と人、人とメディアの、新たなネットワークを生み出すべく、参加者が印象深い本や書籍などの紙のメディアを持ち寄る「交流会」も開催した。

タイトル：Art Bridge Institute フォーラム「言葉の宇宙船 印刷物と思想の共有をめぐって」  
開催日：10月24日 15:00~18:30  
会場：アーツ千代田3331 1階 コミュニティスペース  
ゲスト：芹沢高志 (P3 art and environment)  
参加費：500円  
参加者：48人

(5) 機関誌『ART BRIDGE』発行

発行日	タイトル	内容	仕様	制作チーム
10/20	ART BRIDGE 02 「わたしたちの知」	ブリッジトーク05~07、台南水交社都市記憶ワークショップ、イスタンブールで取り組まれているリーディンググループの実践など、アートプロジェクトやアートアクティビズムの活動から立ち上がる、市民的知性の創造の現場を紹介した。	B4サイズ、48ページ (+表紙4ページ)、 1500部発行	編集長   港千尋 編集   関川歩、川村庸子、古屋梨奈 (アーツカウンシル東京)、佐藤李青 (アーツカウンシル東京) A D   加藤賢策 (LABORATORIES)、 北岡誠吾 (LABORATORIES)
3/20	ART BRIDGE 03 「地球がささやく時」	震災から5年目を迎えた福島のとアートに関わりを紹介した。また福島県立博物館館長の赤坂憲雄へのインタビューなどを通じ、これからの日本の未来に向けた眼差しについて考察した。		

【参加者の声】

●ブリッジトーク

・アーティストの表現の核となる部分に触れられた。

●BRIDGE STORY ラウンドテーブル

・冊子やウェブとは違い、聞く側もつながりを持てる素晴らしいイベントでした。  
・ラウンドトークに参加してみて、一堂に会する機会、また書き手に会えるという機会は貴重でした。トークショー形式ではなく、車座ミーティングのワークショップなどでもいいのかなあ？とは、思いました。(ライター)

●インターンプログラム

・全員でリーディングを行った際、それぞれ印象に残った箇所は同じでも、思考の展開が全く違っていったのが印象的でした。また、三ノ輪「undō」を訪れた際のレポートもそれぞれ書き方や、内容から受ける印象が違い、文章にすることでそれぞれの感性の違いがより明確になると感じました。

●Art Bridge Institute フォーラム

・印刷物とその時代時代の思想を広く伝え、また形として残すものであったという話がわかりやすかったです。(山形市・20代)

# 31

## AKITEN

### 【概要】

**開催期間** 平成27年4月～平成28年3月  
**会場** 八王子市（八王子駅周辺地域）  
**主催** 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO法人AKITEN  
**参加者数** 641人

### 【事業趣旨（目的）】

AKITENは、文化や産業など地域の独自性を持ったコンテンツを空きテナントに持ち込み、アート、デザインの力でそれらの魅力を地域の内外へと発信していくプロジェクト。誰もが空きテナントを使えるシステムを構築し、空きテナントをまちづくりのツールとして活用していく。交流拠点「AKITEN BASE CAMP」を中心に、地域の魅力を引き出す講座やワークショップを通して、まちの担い手づくりを行う。

### 【開催状況】

#### （1）ワークショップ

空きテナントの活用方法について、実際に空きテナントを会場にして参加者と一緒に検討するワークショップの開催。空きテナント活用方法のアイデアを集めるとともに、AKITENの活動について参加者の理解を深め、空きテナント活用の新たな担い手を増やすことを目的としている。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
7/26	AKITEN WORKSHOP ゲームをつくる	空きテナントという制約のなかでゲームを考え、検討・実行することによって、空きテナント活用の可能性や新しい活用方法を参加者とともに探った。	AKITEN BASE CAMP (八王子市旭町7-11前野ビル3F)、OK-3ビル4F (東京都八王子市横山町9-22)	AKITENメンバー	15
10/31	AKITEN WORKSHOP -OK3ビルのトリセツ-	空きテナントの取り扱い説明書を作成するワークショップを開催。講師に、中野純さん「妖怪・歴史学」、橋本聡さん「アート・方位学」、山田拓司さん「細菌学」の3人を迎え、参加者の方々には、会場となる空きテナントをテーマにした各講師のレクチャーをもとに空きテナントの扱い方を検討してもらった。	OK3ビルB1F	コーディネーター：伊藤亜紗（東京工業大学リベラルアーツセンター准教授）、中野純（体験作家、闊歩きガイド）、橋本聡（アーティスト）、山田拓司（東京工業大学生命理工学研究科講師）	12

#### （2）リノベーションスクール

空きテナントを抱えるエリアの街路などランドスケープについてのリノベーション案を検討するワークショップを開催。これまでAKITENでは、空きテナントの活用方法や可能性について検討を重ねてきか、検討の対象を空きテナントから空きテナントを抱えるランドスケープへと広げることで、テナント周辺の街路や建物の外構の活用方法などを検討し、空きテナントが生じている原因やその解決策となるランドスケープのあり方を探ることを目的とした。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
12/12	AKITEN ACADEMY ランドスケープ編～八王子のストリートデザインの未来を考える～	ゲストに3人のランドスケープ・アーキテクトを迎え、アメリカ、北欧、オセアニア、国内における先進的なストリートデザインの事例紹介を聞いた後、3つのグループに分かれてまち歩きに練り出し、課題やアイデア出し、スケッチ、写真モニターなど様々な手法を凝らしながらストリートデザインのあるべき姿を模索した。	AKITEN BASE CAMP	木藤健二郎（ランドスケープ・アーキテクト）、保清人（ランドスケープ・アーキテクト）、三島由樹（ランドスケープ・アーキテクト）	14

#### （3）アートイベント

ゲストによるパブリックアート作品の展示や、AKITENの事例、運営方法を紹介することを通じて、空きテナントというクローズドな空間をパブリックな空間として開放することの意義、効果について、来場者や地域に気付きを与えることを目的としたイベントを開催。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者（人）
2/20、21	AKITEN PARK	普段、誰も立ち入ることのない空きテナントを昔なつかしの「空き地」をテーマに、ゲストアーティストのYORIKOとともに2日間限定の大きな遊び場に変身させた。会場では、空き地のように体を動かして遊び、縁日や紙芝居、各種パフォーマンスやトークイベントを開催。	三井住友海上ビル 3 F (八王子市旭町13-10)	YORIKO	600

(4) AKITEN運営マニュアル

前年度に開催したAKITENのつくり方ゼミの講義内容をベースに、空きテナントを使ったプロジェクトを運営するためのマニュアルを製作した。マニュアルの中では、アートプロジェクトのプロジェクト管理や広報、イベント開催中の運営、事後報告会など、AKITENの事例にそって、プロジェクトの運営方法を説明。八王子だけではなく、全国の他の自治体でも参考になると評価をいただき、市内外の多くの方々に配布することができた。

(5) 空きテナントマッチングページ

空きテナントを使いたい人と、空きテナントを貸したい方の情報を検索、閲覧できるウェブページを作成。テナントの利用希望者とテナントオーナーが、それぞれ情報を掲示板形式で掲載していくことで、誰もが簡単に空きテナントや、利用団体を探すことができるウェブプラットフォームができた。

**【参加者の声】**

● AKITEN WORKSHOP ゲームをつくる

- ・参加者の想いがテナントの可能性を広げていくことを知れた。(60代・男性)
- ・八王子で取り組んでいる空きテナントの問題解決方法は、他の都市でも活かせると思った。(40代・女性)
- ・子供の想像力を空きテナントの活用方法として活かすというのは面白いと思った。(30代・女性)

● OK 3 ビルのトリセツ

- ・普段聞く機会のないようなジャンルの話を聞くことができ面白かった。(20代・女性)

● AKITEN ACADEMY ランドスケープ編～八王子のストリートデザインの未来を考える～

- ・高校生や大学生と一緒にまちづくりについて検討する機会を持てたことが嬉しかった。引き続き参加したい。(50代・男性)
- ・様々な年代、職業の方々と交えた学びの場を、自身も作っていきたいと思った。(30代・女性)



OK3ビルの使い方



リノベーションスクールランドスケープ編

# 32

## トッピングイースト

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	東東京エリア
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人トッピングイースト
協賛	東京東信用金庫（ほくさい音楽博のみ）
後援	墨田区教育委員会、国技館通り商店街（ほくさい音楽博のみ）
協力	回向院、陸奥部屋、シアターX（ほくさい音楽博のみ） 産業・教育資料室きねがわ、TOKYO油田（染谷商店）、墨田区社会福祉会館（BLOOMING EASTのみ）
機材協力	DESIGN UNDERGROUND、KORG、清繁（和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」のみ）
参加者数	2,095人

### 【事業趣旨（目的）】

多様な参加型音楽プログラムを用いて、墨田区を中心とした地域住民が交流できる場をうみだし、その活動を東東京全域へ広げていくことを目的としたプロジェクト。音楽を単に「鑑賞」するだけでなく、当事者として積極的に関わることのできる仕組みを検討し、実践していく。

### 【開催状況】

27年度は、主に3つのプログラムを展開した。子供たちが響きの美しい音楽や声の出し方を習い、練習を重ね、発表会を行うプログラム「ほくさい音楽博」。アーティストの和田永が中心となって創作楽器をゼロからつくり、奏法を考え、オーケストラを形づくっていくプログラム「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」。東東京の魅力ある様々な「場」をリサーチし、コンサートやパレードができる「舞台」へと変容させることを目指す、東東京総舞台化プロジェクト「BLOOMING EAST」。以上の参加型音楽プログラムを実施した。

プログラム構成：

#### （1）ほくさい音楽博

子供たちが普段触れる機会の少ない楽器や声の出し方を習い、練習を重ね、発表会を行うプログラム。（対象：小学生）

開催日：2月14日

練習期間：12月6日～2月6日

会場：回向院

#### ① 募集プログラム

プログラム名	内容	講師	参加者（人）
スティールパン	10人編成のスティールパンチームで合奏。	Panorama Steel Orchestra	13
義太夫	日本の伝統芸能「義太夫」の演目、「三番叟」に挑戦。	竹本京之助（義太夫）、鶴澤弥々（義太夫三味線）	12

#### ② 当日プログラム

プログラム名	出演者・講師	鑑賞者（人）
A) おうえんしょう！（発表会）		
スティールパンチームが合奏！	スティールパン募集プログラム参加者	70
義太夫チームが語ります！	義太夫募集プログラム参加者	80
B) やってみよう！（体験会）		
江戸時代にタイムスリップ！義太夫体験	竹本京之助、鶴澤弥々	12
お相撲さんから教えてもらえる！甚句体験	浦風富道	10
ドラム缶なのにキラキラした音！スティールパン体験	Panorama Steel Orchestra	18
オリジナル家紋を考えて描いてみよう！家紋づくり体験	竹内公啓	33

プログラム名	出演者・講師	鑑賞者(人)
ほくさい音楽博をスケッチでレポート！新聞記者体験	石黒宇宙	6
みんなでサンバ！両国をパレード！パテリア（楽器隊）体験	アダチ正芳	24
シェイカー、カズー、ガリンバ、太鼓づくり体験	磯辺綾子、水竹康夫	15
C) きいてみよう！（ライブ）		
子供ガムラン	ANAKANAK すみだがわ	120
相撲甚句披露	浦風富道	30
スティールバンドモ演奏	Panorama Steel Orchestra	60
義太夫	竹本京之助（義太夫）、鶴澤弥々（義太夫三味線）	17

## (2) 和田永「エレクトロニクス・ファンタスティコス！」

古い電化製品を使ってオリジナルな楽器を生み出してきたアーティストの和田永が、あらゆる人を巻き込みながら新たな楽器を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていくプログラム。

開催日	プログラム名	会場	内容	ゲスト	参加者(人)
7/12	公開ニコス考案会	TOPPING EAST	新たな楽器のアイデアをゲスト・参加者とともに考案した。	池田絢子（タブラ奏者）、中原裕一（株式会社コルグ製品開発担当）、川井敏昌（TOKYO FABBERS ディレクター）、熊谷薫（TOKYO FABBERS アートマネージャー）	28
8/1、2、10/18、29	出張プログラム	都内各所	「Maker Faire Tokyo 2015」、「第10回すみだ川ものコト市」、「Fab meet up vol.22」へ参加し、活動の広報とプログラム参加者募集を行った。		932
8/29	公開ニコスプレゼン会	すみだリバーサイドホール ミニシアター	和田永による「初合奏遭遇篇」のプラン紹介とオリジナル楽器制作者によるプレゼンテーションを行った。	岩田カブー、ジュンキングス久保田、坂口千明、nudgenudge有志、近未来楽器	20
10/10、11、17、18、24、25	滞在制作篇Ⅱ	TOPPING EAST	「初合奏遭遇篇」に向けた企画会議・楽器制作の様子を公開した。	畠中実（NTTインターコミュニケーション・センター主任学芸員）、楠見清（美術編集者／評論家）	79
11/23	初合奏遭遇篇	アサヒ・アートスクエア	NICOS LAB チームとともに、新たに開発した楽器群による合奏を本邦初披露。来場者が楽器に触れられる体験会も実施。	和田永、環ROY、池田絢子、吉田悠、吉田匡（from Open Reel Ensemble）、NICOS LAB	177

## (3) 東東京総舞台化プロジェクト BLOOMING EAST

ライブハウスやコンサートホールの少ない東東京で、まちのスペースの舞台化と人々が集う場を実現することを目的としたプログラム。多様な視点をもって埋もれた空間をリサーチし、オープンに有効活用できるよう人と場をネットワークしていく。今年度は墨田区の調査を目的としたリサーチツアーと、その成果を共有しエリアの魅力体験する企画「東東京プレイツアーvol.1『八広、東墨田、初花』」を実施。

### ① 東東京プレイツアーvol.1「八広、東墨田、初花」

開催日：3月12日

参加者数：297人

プログラム名	会場	ゲスト・講師
ファクトリーオーナーズ・トーク&墨田区総舞台化リサーチ報告会	油田カフェ	染谷ゆみ（株式会社ユーズ 代表取締役）、浜野慶一（株式会社浜野製作所 代表取締役）、山口明宏（山口産業株式会社 代表取締役）
Sami Elu ライブ&楽器づくり体験	吾嬬の里	Sami Elu（割り箸ピアニスト）
シンポジウム「公共、音楽」	吾嬬の里	岸野雄一（スタディスト/音楽家）、熊倉純子（東京藝術大学音楽環境創造科教授）、齋藤貴弘（弁護士/Let's DANCE 共同代表）、蓮沼執太（音楽家）、山川冬樹（アーティスト）
革ものづくり体験「生革太鼓をつくろう」	東墨田会館	チェ・ジェ Chol（崔在哲）（韓国太鼓奏者）
革ものづくり体験会「ミニぞうさんづくり」	社会福祉会館	
寺尾紗穂ライブ	メタルハウス	寺尾紗穂

### ② リサーチツアー

開催日	プログラム名	参加者(人)
7/17	BLOOMING EAST キックオフ！墨田区総舞台化計画ミーティング	15
11/7	リサーチツアーvol.1「防災からみる墨田区」	7

開催日	プログラム名	参加者（人）
12/13	リサーチツアーvol.2「空き地・倉庫の有効利用」	10
1/16	リサーチツアーvol.3「八広・東墨田を知る」	10

## 【参加者の声】

### ●ほくさい音楽博

- ・素晴らしい環境と衣装で大満足でした。先生方、スタッフの皆さんも熱心で大変いい経験をさせていただきありがとうございました。

### ●BLOOMING EAST

- ・公共と音楽というより、公共と音というイメージのシンポジウムに聞こえた。音楽についてももう一度考えさせられた。
- ・オープニングトークとても面白かったです。地元のオーナーさん達の職や街にかける熱い思いがとても素敵でした。音や革もとても楽しめました。また参加したいです。



和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」

# TOKYO FABBERS

## 【概要】

開催期間 平成27年4月～平成28年3月  
 会場 東京都内各所  
 主催 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／FabCafe LLP  
 参加拠点および実行委員メンバー FabCafe Tokyo、FabLab Shibuya、Makers' Base、HappyPrinters、coromoza、IID 世田谷ものづくり学校 ほか  
 参加者数 約260人

## 【事業趣旨（目的）】

デジタルファブリケーション（FAB）を用いたものづくり拠点のネットワークを中心に、クリエイティブなコミュニティ創出を目指す。今年度は、ものづくりを通じて人と人をつなぎ、日常の課題を解決していく人々＝「FABBER」の育成を行い、彼らの活動から生まれる新しいライフスタイルを検証し、提案する。

## 【開催状況】

プログラム構成：

### （1）FABBERSインタビュー

様々な領域で活躍するFABBERのこれまでの活動歴やこれからの展望などを聞きとり、発信することで、FABBERの可能性を提示するリサーチプログラム。新しい生き方やスキルの提案を公式ウェブサイトのインタビュー記事を通じて発信した。

掲載日	記事タイトル	FABBER
8/21	Vol.01 すべては患者さんのために。FABの力で、義肢装具士のものづくりをアップデートしたい。	多賀重雄 PODDA (Prosthesis Orthotics Digital Design Association)
10/9	Vol.02 一人ひとりが情熱と創造性を発揮して、生きていける世の中をつくりたい。FABは、きっと、その力になれる。	アルヴィン・チャン ABC COFFEE CLUB 共同創業者 Make It Creative 理事・共同設立者
12/1	Vol.03 iPhoneographer、そしてFABBERへ。さまざまな人とのつながりを楽しみながら、新しい作品を創り続ける。	松原悦子（ちえぶ） 主婦、iPhoneographer
1/15	Vol.04 FABスペースは、居心地のいい“サードプレイス”。人とつながり、人を喜ばせるものづくりをこれからも楽しんでいきたい。	織田公康
3/29	Vol.05 ものづくりを楽しむこと。そして、メカやからくりの技術を若い世代に伝えること。FABの力を活用して、二つを実現していきたい。	近藤嘉男 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 非常勤講師

### （2）FABBERS' ACTION PROJECT

現代社会に存在する大小さまざまな課題に光を当て、デジタルファブリケーション（FAB）を中心とするものづくりの力によって解決を目指すプロジェクト。TOKYO FABBERS事業に参加している6つのものづくり拠点が3チームに分かれ、それぞれ一般公募による多様な仲間を迎え、課題解決を目指すプロジェクトに6ヶ月かけて挑み、ものづくりイベントでその成果を発表した。それぞれのチームが挑んだ課題は、「FABでモノを作るための道具をつくる」「FABで実現する、公共施設のバリアフリー」「FABの力でオープンソースシェルターをつくる」の3つ。

実施期間：8月～1月  
 会場：TOKYO FABBERS参加拠点 ほか  
 TOKYO FABBERS拠点参加者：12人  
 一般公募参加者：11人  
 オリエンテーション（8/19）参加者：21人  
 中間報告会（9/30）参加者：24人  
 成果報告会（12/17）参加者：34人  
 大品モノラボ出展（1/15）参加者：約150人

## 【参加者の声】

● FABBERS' ACTION PROJECT 中間報告会 観覧者

・「3Dプリンターがあったとして、つくりたいものって思い浮かばない」そういうことを感じる人は多くいると思います。そうしたものづくりへの参加の敷居を下げるのが大切なんじゃないかと思っていました。そこに切り込む可能性を強く感じることができるアイデアが沢山あって刺激的で面白かったです。

●FABBERS' ACTION PROJECT チームメンバー

- ・皆から知らない知識やアイデアがたくさんでる。アイデアが連鎖していく。実際につくるところまで皆できるので早い。
- ・毎回の打ち合わせが深く様々な事を考えることができて良かった。
- ・バックグラウンドが異なる人が集まっているので、皆が教えてくれる事例などが新鮮でした！
- ・問題解決の前に発見がある。そこからFABで具体的に捉えるのがいい。これまでのデザインや大企業の手法とは異なるやり方を考えるのが大事だ。
- ・本業とは別の研究開発のようなことができたのが良かった。
- ・色々な情報交換ができ、運営者同士で話し合う場があったのはよかった。
- ・業界団体のように、本音で話せたのがよかった。
- ・ネットワークを介して専門的な情報共有やアドバイスがもらえてよかった。

●FABBERS' ACTION PROJECT 成果報告会 コメンテーター

- ・大きいテーマをスモールに考え、一般家庭などの色々なことで実践できるようにするのは、社会実験の本質だ。
- ・シリアスなものを楽しくできないかと考え、エクスペリエンス（体験）をデザインするという観点で、その後どう反応するかを前面にだして検討するとより面白くなるのではないか。
- ・身近な目線で作るのはとても大事。高齢者がこれからは3Dプリンターを利用して、自助具を作る時代が来るかもしれない。



FABBERS' ACTION PROJECT 制作過程



FABBERS' ACTION PROJECT 中間報告会



FABBERS' ACTION PROJECT 成果報告会



FABBERS' ACTION PROJECT 成果報告会

# 34

## 三原色〔ミハライロ〕

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	大島各所、kichi
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO法人kichi
協力	東海汽船株式会社
参加者数	約370人

### 【事業趣旨（目的）】

東京都の島嶼部である大島を舞台に、学び、気づきの場を提供するプロジェクトを展開する。『島の人々が島に誇りを持ち、自信をもって島の魅力を伝えられる』といった人々を増やすために、島の文化・風習をエッセンスとして取り込み、現代的な「デザイン」や「アート」と結びつけた活動を行った。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### (1) てんつなぎ

事務局のチームビルディングと島内外での活動のネットワーキングを構築するプログラム。各方面よりゲストを招いての講義や運営のためのレクチャーを開催した。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
7/19	てんつなぎ vol.4	ゲスト3人の活動である「カレーキャラバン」を実施後、活動について伺い、一時的・即興的に人々と交流の場が生まれるという「場のつくり方・つまれ方」、つながり方などを考える機会となった。	kichi	加藤文俊、木村亜維子、木村健世	9

#### (2) キッズプログラム

文化に触れる機会が少ない離島で、幼少から多様な文化に触れられるよう、島外から様々なジャンルのアーティストを招き、「つくる」「知る」「発見する」「見る」を親子で味わい感じるプログラム。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)	
5/23	キッズプログラム vol.1 「steelpanにふれよう steelpanで遊ぼう」	steelpanに触れながら、楽器のおもしろさ、新しい発見等を体験できるプログラム最後は参加者全員で一曲を仕上げ演奏した。	kichi	土生 Tico 剛 (スティールパン奏者)	8	
8/21、22	キッズプログラム vol.2 「夏休み親子映画会」	親と子供との繋がりを見つめなおす機会として、年代関係なく親子の交流を深める上映会を開催。体内記憶のドキュメンタリー映画「かみさまとのやくそく」を上映した。	8/21 kichi 8/22 北の山公民館		8/21	32
					8/22	12
3/5	キッズプログラム vol.3 「モールアートで遊ぼう！」	カラフルなモールを使い、モンスターをつくるワークショップ。鮮やかな色と形に親しみながら自由な発想で自分好みのモンスターに仕上げていった。	kichi	藤崎琢磨 (モール・アーティスト)	18	

#### (3) 大島魅力発見・創造プログラム

昔からある大島の文化・風習を知り学ぶ場をつくることで、次世代に伝えたい“大島らしさ”を見つけるプログラム。

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
12/5	12class発行イベント ユニークラス島の日々	伊豆大島の暮らしを伝えるフリーペーパー「12class」が2年振りの発行となるタイミングで、伊豆大島の暮らしの豊かさ・魅力の再発見につなげる場として企画した。発行された22号全てを展示し、ゲストに房総で地域の情報発信媒体として発行するフリーペーパー制作に携わるゲストを招き、トークセッションを行った。	kichi	鎌田真史 (房総「0470-」編集室)	14

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
2/6	大島イイもの展 ー自然と向き合 いよりの島 の暮らしー	大島で伝えられ、つくられてきた五感に響くもの、島に関連する作品を集めて展示することで、伊豆大島の魅力を再認識し、また新たに発見することを目的として開催。展示だけでなく、関連トークイベントやワークショップなども行った。25年10月に発生した台風26号土砂災害を乗り越えて復興に向かう取り組みや、それを支える多くの方とネットワークが繋がり様々な活動や作品が生まれた。また、展示内容を説明する冊子の配布、島の食材を使ったオリジナル料理を紹介する「つばきキッチン」も開催。	アーツ千代田3331 内ラウンジ	トーク①「あの日10.16」：清水勝子（語り部） トーク②「創作活動と島ぐらし」：キム・スンヨン（映像作家）×高野徹（映画監督）	約250
	大島イイもの展 ワークショップ	楕形りのミニあんにペインティングをして、自分だけのオリジナルストラップをつくるワークショップを実施。			18

(4) フリーペーパー12class発行

・フリーペーパー12class vol.22

特 集：黒潮作業所、島の家族など

仕 様：A5サイズ、8ページ冊子、フルカラー

発行部数：5,000部

配布場所：都内各店舗（飲食店、雑貨屋など）、島内各店舗 ほか

【参加者の声】

●てんつなぎ vol.4

- ・楽しいことがあると人は集まり、人が集まるところにまた人が集まるのだと思った。（島内30代男性・自営業）
- ・さまざまな枠にとらわれながら生活しているが、ちょっとした事で枠は簡単にはずせ、それがおいしいカレーなのは素晴らしい。（都内30代男性、会社員）

●キッズプログラム vol.3 「モールアートで遊ぼう！」

- ・普段ふれることのできないアート。やってみると楽しくて、世界が広がりました。（島内30代女性・会社員）
- ・子どもと楽しく作ることができました。（島内40代男性、公務員）

●12class発行イベント ージユウニクラス島の日々ー

- ・いろいろな生き方があり、好きな事を見つけることは素晴らしいと思った。（島内30代男性・公務員）

●大島イイもの展

- ・居心地の良い空間ですね、大島へ行った事はありませんが、大島の雰囲気が伝わってきてる気がします。（都内30代男性・会社員）
- ・ワークショップ楽しかったです。もっと多くの方が興味を持っていると思うので、SNS や告知等宣伝が広くされるといいと思います。（都内30代男性・自営業）

# 35

## リライトプロジェクト

### 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前、TSUTAYA TOKYO ROPPONGI、アーツカウンシル東京ROOM302 ほか
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO法人インビジブル
参加者数	約11,940人

### 【事業趣旨（目的）】

3.11に対する思いや記憶が移り変わる中、人々の心に問いと気付きを生み出すシンボルとして、23年3月13日に消灯したパブリックアート作品《Counter Void》を再点灯させると同時に、未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォームをつくりだす。25年度よりTokyo Art Research Lab内の研究会として議論を重ね、26年には東京アートポイント計画「光の蘇生プロジェクト」として始動。今年度より、「リライトプロジェクト」に名称変更し、具体的なアクションとして実施した。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### (1) 六本木アートナイト2015

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
4/25、26	「リライトプロジェクト」キックオフ!!	消灯中の《Counter Void》の上に「3.11が■ている。」という文字のインスタレーションを展開。同時に同じデザインの印刷物を用意し、来場者に自身が想像する■にはいる言葉や絵などを書いてもらうワークショップを展開した。	六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前		約1,800
4/25、26	Sign for public art	六本木のまちにある様々なパブリックアートの作品をモチーフにしたオリジナル看板をアート作品として制作し、港区立桜坂公園に設置。同時に、六本木にあるパブリックアートの場所が分かるチラシを配布し、作品鑑賞と同時にまちに散らばる作品をみてもらう機会をつくった。	港区立桜坂公園	作品制作：中崎透（アーティスト）	9,385

#### (2) Relight Committee

アートと社会について従来の定義や枠組みを超えた対話を重ねながら、具体的な行動につなげる人を育てる学びの場。アートというジャンル、世代、文化を超え、社会の形成に独自のスタイル・立場で活動する18人のメンバーが公募によって集った。参加者一人ひとりが「Relight Days」のイベント企画を題材に、3.11以後の社会について考え、具体的なアクションを起こすことを目指し、毎月一度の定例会議を軸に活動に取り組んだ。

実施期間：9月28日（月）、10月26日（月）、11月30日（月）、12月21日（月）、1月25日（月）、2月29日（月）、3月28日（月）

#### (3) Relight Session

アーティストやクリエイター、民間企業、行政関係者など立場の異なる人が、3.11以降の社会におけるアートやアートプロジェクトの役割を考察するトークプログラムを開催した。

開催日	プログラム名	内容	会場 / 協力	出演	参加者(人)
9/15	Relight Session vol.1	《Counter Void》の作者である宮島達男、東京アートポイント計画ディレクターの森司、今年度からリライトプロジェクトの運営事務局を担ったNPO法人インビジブルの2名がプロジェクトの今後の展開について公開で議論した。	アーツカウンシル東京ROOM302	宮島達男（アーティスト／リライトプロジェクトメンバー）、森司（アーツカウンシル東京）、林暁甫（NPO法人インビジブル）、菊池宏子（NPO法人インビジブル）	20
1/28	Relight Project × MEDIA AMBITION TOKYO・Relight Session Vol.2 「ソーシャル・エンゲージド・アート：行動するおとこたち」	アートの領域を超えた社会との関わりを持ち、何らかの変化・変革をもたらすアーティストの活動であるソーシャル・エンゲージド・アートを取り上げ、3.11以降の社会の中における、アートの役割・あり方について議論を展開した。	TSUTAYA TOKYO ROPPONGI 特別協力：MEDIA AMBITION TOKYO	齋藤精一（ライゾマティクス代表取締役／クリエイティブ&テクニカル・ディレクター／Media Ambition Tokyo実行委員会）、津田大介（ジャーナリスト／メディアアクティビスト）、宮島達男 モデレーター：菊池宏子	39

開催日	プログラム名	内容	会場 / 協力	出演	参加者 (人)
3/13	Relight Project × MEDIA AMBITION TOKYO ・ Relight Session Vol.3 「アート×社会—見えないモノを想像する—」	《Counter Void》の作品テーマである「生と死」について情報化社会で生きる我々はどのように向き合い、未来を考えていくべきかということについてトークセッションを行った。	TSUTAYA TOKYO ROPPONGI 特別協力：MEDIA AMBITION TOKYO	ドミニク・チェン（起業家・情報学研究者）、宮島達男、菊池宏子	43

#### (4) Relight Days

人間の「生と死」をテーマにした宮島達男氏のパブリックアート作品《Counter Void》を、2016年3月11日に5年ぶりとなる再点灯する（そして再消灯する）3日間限りのイベント。初日の3月11日は、《Counter Void》の再点灯、2日目はRelight Committeeが企画・運営するワークショップ、3日目はRelight Session vol.3を開催した。

会場：六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前、TSUTAYA TOKYO ROPPONGI

特別協力：MEDIA AMBITION TOKYO

参加者数：653人

#### 【参加者の声】

##### ● Relight Days

- ・ 3月11日～13日の期間、5年ぶりに再点灯している宮島達男さんの《Counter Void》ラスト4時間。トークの後に見にこられてよかった。
- ・ 昨日子どもたちとworkshopに参加後、夜に見に行きたいと再訪。8:30過ぎまで、寒い中、片付けされてました。ありがとうございました。workshop中は5年前のこと、その後の変化など話し合いました。
- ・ 《Counter Void》はまたその光を消します。華やかに点灯し、そして、ひっそりと消灯し、その光は私たちの心の中へと移行する。3.11、生き方、生、そして死、見えざる未来に不安を感じるより、この生をどうしたいのか？ どう生きたいのか？私にとって、そんな事を考えさせてくれた光でした。
- ・ リライトプロジェクトのように発信を続ける人がたくさんいる。そんな素晴らしい動きのほんの一部でしたが音楽という形で大切な思いの発信に関われたことは嬉しく思います。
- ・ 14日からその作品に光は灯らない。ただ、それだけの事だ。しかし、生、そして死について「どうしていくのか？」って事はこれからも考えていく事だし、3.11も自分事として考えて生き続けなければならない。そのキッカケとして《Counter Void》の再点灯は非常に大きな意味を与えてくれた。

# 36

## 東京迂回路研究

### 【概要】

- 開催期間 平成27年4月～平成28年3月
- 会場 都内各所
- 主催 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所
- 参加者数 229人

### 【事業趣旨（目的）】

現代社会において、生きることの多様化が大きな意味を持つ一方、実際にはいまなお多くの線引きがあり、人々は同化と排除のはざままで苦しんでいる。本事業は、社会における人々の「多様性」(diversity)と「境界」(division)に関する諸問題に対し、フィールド調査、その報告と対話、アーカイブ・情報発信等の事業を通じて、“生き抜くための技法”としての「迂回路」(diver-sion)の研究を行う。

### 【開催状況】

プログラム構成：

(1)〔調査研究〕もやもやフィールドワーク 調査編・報告と対話編・分析編

26年度に「調査編」「報告と対話編」の2つを開催したが、27年度は「分析編」を加え開催した。調査・報告・対話・分析のサイクルを通じ、様々な場を捉え直すことを試みた。

① 調査編（調査先一覧）（訪問順）6月～3月

調査編では、東京都を中心に国内の医療・福祉施設やケアに関わる団体、活動現場を訪れ、参与観察と聞き取りを行った。

- ・国際基督教大学ジェンダー研究センター「ふわカフェ」（東京都・三鷹市）5月14日、9月6日
- ・第12回当事者研究全国交流会・第23回べてるまつり in 浦河（北海道・浦河町）7月30日、31日
- ・田んぼ de ミュージカル（北海道・むかわ町）8月1日
- ・立石ディスコ・アフタヌーン（東京都・葛飾区）10月31日
- ・NPO法人ぱれっと（東京都・渋谷区）12月19日（予備調査：8月7日、9月24日、10月25日）
- ・視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ（全域）1月14日、19日、2月4日
- ・芝の家（東京都・港区）1月13日、20日、22日、2月2日、4日

② 報告と対話編（会場：芝の家）

報告と対話編では、調査の報告とそれに基づいたテーマ設定による対話を行い、多様性と境界に関わる活動やその状況への考察を深めた。

開催日	回数	内容	参加者(人)
6/18	第7回	第1部 報告：「JOURNAL 東京迂回路研究1」について 第2部 対話：哲学カフェ「対話は可能か」	12
9/17	第8回	第1部 報告：当事者研究とその文化—べてるまつりに参加した経験から 第2部 対話：哲学カフェ「文化が生まれるところとは」	13
12/17	第9回	第1部 報告：閉じながら開かれる場—ふわカフェの実践から 第2部 対話：哲学カフェ「安全な場所はどこにあるのか」	7
2/25	第10回	第1部 報告：共にみること—視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップに参加して 第2部 対話：哲学カフェ（テーマは当日集まったみなさんと決めます）	15

③ 分析編（会場：アーツカウンシル東京 ROOM302）

分析編では、研究者をゲストに招き、理論的・方法的な視座から考察を深めた。

開催日	回数	内容	ゲスト	参加者(人)
5/30	第1回	「記述の方法～データから論文へ」「データの中の注目すべき箇所とは?」「コミュニケーションを読み解くということについて」	照山絢子（筑波大学図書館情報メディア系助教・医療人類学）	9
8/29	第2回	「研究」とは?—当事者研究の視座から考える、東京迂回路研究	熊谷晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター准教授・当事者研究）	13

開催日	回数	内容	ゲスト	参加者(人)
12/23	第3回	生き抜くための<狡知>から、迂回路を読みとく	小川さやか(立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授・文化人類学)	10
1/23	第4回	<表現する>とはどういうことか?—非言語コミュニケーションを通して考える東京迂回路研究	中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院准教授・芸術社会学)	11

## (2)〔実践研究〕フォーラム：対話は可能か？

「対話は可能か？」をテーマに、介護士、詩人、研究者、写真家、美術家、プロジェクトディレクター、「おばちゃん」らによるトークセッションや対談、ライブなどを通じ、いまこの社会にあるわたしたちが、ともに生きるということを感じ、そのありようについて考える3日間のフォーラムを開催した。問題提起、応答としての実践、その検証のサイクルで実施することを意図した。

開催日	プログラム名	内容(80-100字)	会場	ゲスト	参加者(人)
9/4	前夜祭「幻聴妄想かるた」大会		芝の家	益山弘太郎、新澤克憲、富樫悠紀子(ハーモニー)	17
9/5	プログラム1: トークセッション「共に生きるということ」	1. 加藤正裕(井戸端げんき)×長嶋元子(元子おばちゃん家) 2. 荒木順子(akta)×高橋伸行(やさしい美術プロジェクト) 3. 坂倉杏介(ご近所イノベーション学校)×吉川由美(ENVISI) 4. ディスカッション	SHIBAURA HOUSE 1F リビング	加藤正裕(井戸端げんき)、長嶋元子(元子おばちゃん家)、荒木順子(akta)、高橋伸行(やさしい美術プロジェクト)、坂倉杏介(ご近所イノベーション学校)、吉川由美(ENVISI)	32
9/5	プログラム2: ライブ「Living Together×東京迂回路研究」		SHIBAURA HOUSE 5F パードルーム	朗読: GOMESS(ラッパー)、齋藤陽道(写真家)、佐藤郁夫(ぶれいす東京) Live: GOMESS(ラッパー) 進行: 長津結一郎、マダム ボンジュール・ジャンジ	30
9/6	プログラム3: 出張ふわカフェ in 東京迂回路研究	トークテーマ: カミングアウト	芝の家	進行: 加藤悠二(CGS 職員)、上田真央(元 CGS 非常勤助手)	8
9/6	プログラム4: シンポジウム「対話は可能か？」	第1部: 対談「まるっきり違うのにそれでも似るもの—迂回路をめぐって」(筆談による対談) 第2部: パネルディスカッション「対話は可能か？」	慶應義塾大学三田キャンパス東館 G-SEC LAB.	第1部登壇者: 齋藤陽道(写真家)×長津結一郎(多様性と境界に関する対話と表現の研究所) 第2部登壇者: 高嶺格(美術家)、上田假奈代(NPO法人ココローム代表)、細川鉄平(通所介護事業所 凡代表)、長津結一郎(多様性と境界に関する対話と表現の研究所) 進行: 井尻貴子(多様性と境界に関する対話と表現の研究所)	52

## (3)〔活動報告・論考〕JOURNAL 東京迂回路研究2 発行

今年度の活動と論考をまとめたジャーナル。B5変型版、1,000部発行。

### 【参加者の声】

#### ●もやもやフィールドワーク 報告と対話編

・頭の中をこうして一つのテーマからはじまったいろんなことがもやもやとうずまく時間を知らない人たちと共有する体験、なかなかないなあと、新鮮でした。頭をつかった—という感じです。来てみてよかったです。

#### ●フォーラム：対話は可能か？

・イベントの最後の感想を聞いて感じたのは『対話は可能か？』というイベントの最中のまさに今ここで「対話」はちゃんと成立していたのか？ というそもそもの問題意識 あまりにも洗練された言葉の裏に「本当に対話する気はありますか？」という問いが書かれていたような気がした。

# 37

## 東京スープとブランケット紀行

### 【概要】

**開催期間** 平成27年4月～平成28年3月  
**会場** 練馬区江古田、奥多摩町、アーツ千代田3331 ほか  
**主催** 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人指輪ホテル  
**参加者数** 45人

### 【事業趣旨（目的）】

演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、日本の来るべき人口減少社会と向き合い、生活圏に起こるものごとの「終わり方」や「立ち上げ方」を追求するアートプログラムを展開する。また、様々なコラボレーションのもと、テーマの追求を可能にするネットワーク形成を目指す。

### 【開催状況】

各プログラムのテーマに呼応するコラボレーターとともに、アートプログラム実施へ向けたリサーチを実施した。また今年度はコミュニケーションツールの作成も行った。

プログラム構成：

#### (1) 東京一箱

東京都内を移動しながら、住人との対話を通じ、その人の行動から見えてくる「東京」を考察するリサーチプログラム。今年度は大江戸沿線（西新宿5丁目、新宿、六本木、麻布十番、勝どき、月島、新御徒町）を練り歩き、水の流れや人々の営みの歴史について考察した。  
 実施期間：1月10日（日）

#### (2) 江古田スープ

江古田駅周辺を中心に、定期的にエリアリサーチを行うプログラム。その土地で購入した食材を調理し、季節のスープ料理をつくり、その場に参加したメンバーで食すことで、江古田市場閉場後のまちの移り変わりに寄り添い、人とまちの成り立ちについて調査を重ねた。  
 実施期間：5月～2月まで毎月1回

#### (3) 青ヶ島ブランケット

再開発などにより、急速に変容する地域を対象に、そこに暮らす人々や環境、生活、文化、芸能、神事のリサーチを行うプログラム。今年度は奥多摩町（旧小川内村エリア）を訪ね、生活圏に起こりうる終焉に寄り添うアートプログラムの検討を行った。  
 実施期間：6月24日（水）、25日（木）

#### (4) 対談紀行

「終わり方」や「立ち上げ方」をテーマに、話者の独自の手法や問題点を探るトークシリーズ。各リサーチプログラムの成果報告を中心に、羊屋白玉との対談、あるいはコラボレーターを含めた鼎談を実施した。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者（人）
10/4	対談紀行 2015年秋篇～転がしたり、迷ったり、眺めたり、そして、東京と話したい～場所の「終焉」に行った記憶をわけあって、「おわり」について考える。	前半では、奥多摩リサーチを元に「終焉」についてメンバーとふりかえり、後半はプロジェクトで制作したコミュニケーションツール『とむらい』を提案。『とむらい』について来場者と考えた。	アーツカウンシル 東京ROOM302	東京スープとブランケット 紀行メンバー	18
2/21	対談紀行 2016年春篇～転がしたり、迷ったり、眺めたり、そして、東京と話したい～東京の「記憶」を歩いて、都市の「うつりかわり」について考える。	前半では「看取り・とむらい」について対談。その後、『とむらい』制作作家の2名を迎えてトーク。後半は事務局メンバーがリサーチした東の「記憶」とその「うつりかわり」について振り返った。	アーツカウンシル 東京ROOM302	羊屋白玉（ディレクター）、伊藤馨（アシスタントディレクター）、草椰亮（デザイナー）、上田假奈代（詩人・ココローム代表） 狩野哲郎（とむらい制作作家、美術作家）、高橋つばさ（とむらい制作作家、画家）	27

### (5) コミュニケーションツールの制作

プロジェクトが提案するコミュニケーションツール『とむらい』を制作した。なくなった人・物・事・場所・動物・時間などを想いながら時節にあった作品を使用し食卓を彩ってもらうコミュニケーションツールで、実際に使用する様子も映像作品として制作し、対談紀行で上映した。

『とむらい』参加作家：狩野哲郎（美術家）、高橋つばさ（画家）、小林エリカ（作家・漫画家）、羊屋白玉（本事業ディレクター、劇作家）

映像撮影：杉田協士（映画監督）

### 【参加者の声】

#### ●対談紀行秋篇

- ・自分で話す事を考えて準備して語るより、聞かれるまま（問われる、尋ねられる）に語るやり方もあると思いました。
- ・『とむらい』という装置が一人一つあるだけで、それぞれが日常にとむらうことができ、それは忌み嫌うべき儀式ではなく、生と一緒に存在し、境（生と死）が薄くなっていくと良いなと思いました。
- ・『とむらい』について、映像で公開する、生で見せる以外のアウトプットの方法はあるだろうか。

#### ●対談紀行春篇

- ・2020年の東京オリンピックを前にし、ビジネススペースではどうしても東京は加速を強いられているような気がします。『とむらい』という加速と真逆のテーマで東京をもう一度見直して身近にある・いる、見送るものについて考えたいと思います。
- ・各トークの共通点は積み重ね、積層なのではないかと感じました。内容が濃く楽しかったです。
- ・テーマを設定すると意外と知らない話が聞ける事が面白いと感じた。



対談紀行2015年秋篇



対談紀行2015年秋篇



対談紀行2016年春篇



対談紀行2016年春篇

# 38 隅田川ルネサンス事業 「ピクニック形式パフォーマンス公演《威風DoDo》」

## 【概要】

開催期間	平成27年10月12日（月・祝）
会場	都立汐入公園内 汐入タワー周辺
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人谷中のおかって
助成・協力	東京都
後援	荒川区、隅田川ルネサンス推進協議会
協力	リバーパーク汐入町会、べるぼうと汐入商店街振興組合
参加者数	209人
参加費	2,500円

※ピクニックキット（ブックレット、音声案内、特製レジャーシート）を配布

## 【事業趣旨（目的）】

隅田川ルネサンスの取り組みの一環として、汐入タワー（都立汐入公園内）およびその周辺を舞台とした、パフォーマンス公演「ピクニック形式パフォーマンス公演《威風DoDo》」を実施した。

## 【開催状況】

プログラム構成：

### （1）出演者の募集とワークショップの実施

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者(人)
8/14、21、9/11、18、25、10/2、9 ※全日程金曜日	出演者募集とワークショップ	「堂々」と汐入タワーのふもとに「立つ」パフォーマンスをおこなう、一般公募による出演者を「アナター」と呼び、ワークショップを行った。	汐入ふれあい館	11
9/21、26	スタッフ募集と説明会	ボランティアスタッフをはじめ、本事業に関心を持つ人々を対象とした説明会を実施。説明会では、企画の主旨や概要、公演の流れを説明した後、会場となる汐入タワーを訪れ参加者に当日の様子をイメージしてもらった。また、風あそびワークショップのプレ開催も行い、大西健太郎が参加者に遊び道具の作り方や遊び方をレクチャーし、実際に会場で実践してみることで、どのような風景が立ち上がるのか体験してもらった機会となった。	都立汐入公園内	6

### （2）ピクニック形式パフォーマンス公演《威風DoDo》

開催日	プログラム名	内容	会場	主な出演者	参加者(人)
10/12	ピクニック形式パフォーマンス《威風DoDo》	若手パフォーマンス集団「フラワーズ」や様々なジャンルで活躍する若手アーティスト、地域住民や、公募による一般出演者「アナター」との共創により、公演をつくりあげた。観客は当日手渡されるピクニックキット（レジャーシート／ブックレット／音声案内）を手に、汐入タワー周辺に散らばられた多様な表現と、そこに立ち現れる新たな風景・空気感を体験した。	都立汐入公園内 汐入タワー周辺	○企画・構成・演出 富塚絵美 ○パフォーマー フラワーズ（大久保由美／大西健太郎／佐藤茜／富塚絵美／BARBARA DARLING／宮澤穂乃香）新人Hソケリッサ！（アオキ裕キ／小磯松美／横内真人）齊藤栄治（世界装置 主宰）／上本志保（すこやかクラブ 主宰）／有澤京花／坂田有妃子／星野綾子／宮保恵／ユン・ミョンフィ／rikaonほか ○音楽家 井川丹／田中文久／土屋薫／西本夏生／松岡美弥子／村上裕 ○美術家 小林耕平／藤田龍平	192

## 【参加者の声】

- ・今までにない空間、今までにない体験、今までにない人々とのふれあい。楽しかった！！参加できてよかった！！
- ・ホームレス生活者の肉体表現ソケリッサの方たちが1時間かけてストレッチをしていたのだけど踊りはもちろんこのストレッチやただ寝転んでいる姿が美しかった。
- ・寝転んで観ているなんてなかなか劇場ではない景色。なんとも豊かな時間を過ごさせていただきました。

# 39 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

## 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	岩手県、宮城県、福島県の各所
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人いわて連携復興センター／つながる湾プロジェクト運営委員会／えずこ芸術のまち創造実行委員会／福島県／特定非営利活動法人Wunder ground／森のはこ舟アートプロジェクト実行委員会
入場者数	約6,360人

## 【事業趣旨（目的）】

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に、東京や被災地の芸術文化を活用し、被災地のアートNPO等と連携して、地域コミュニティを再興するため、様々な人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを支援する。

## 【開催状況】

プログラム構成：

### (1) 岩手県

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者（人）
6/1～3/21	コミュニティ交流拠点形成プログラム 主催：特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）	震災の記録を活用し、地域住民の交流を生み出すプログラム開発を試みた。写真データの整理と公開、その活用による「語りの場」づくりの実験を行った。	みんなの家かだつてほか、金石市内各所	須之内元洋、松本篤	—
3/10～11	釜石アート支援プログラム「どうほくのこよみのよぶね」 主催：特定非営利活動法人いわて連携復興センター、東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 協力：特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、こよみのよぶね実行委員会、宝来館、三陸ひとつなぎ自然学校	東日本大震災で亡くなられた方々への慰霊の気持ちと復興への願いを「3、11」をかたどった行燈型の船に込めたプログラムを実施した。	釜石市鶴住居町、宝来館、根浜海岸	日比野克彦	211
5/17～20、6/29～7/2、10/1～8、12/18～20、2/7～9	きむらとしろうじんの「野点」in 金石・大槌 リサーチ&アーカイブ 主催：特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）	過去に複数回開催してきた「きむらとしろうじんの野点」in 金石・大槌のメンバーが現地を訪れ、地域の現状を調査し、記録に残し、その状況に応じた実験的なプログラムを試行した。	大念寺、みんなの家かだつてほか、大槌町・金石市内各所	きむらとしろうじん、安川雄基、渡邊梨恵子	約30

### (2) 宮城県

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者（人）
11/5～6、11/9	こどもを対象としたワークショップ（ダンスプロジェクト、ライブアートプロジェクト）	震災の影響により、ストレスを抱える環境にある子供たちとアーティストが協働し、創造活動を通して、こどもたちから地域の人々へ「心から楽しむこと」を発信した。	丸森町立丸森小学校、仙南ジェロントピア	山田うん、川合ロン、サトウタケシ	227

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
・チームWAN勉強会 5/26、7/14、8/31、10/27、2/25  ・そらあみ-松島湾-(多賀城政庁跡) 8/11~16、8/18~22  ・海底タイムカプセル 松島湾9/26、12/19  ・湾の記憶をたどる旅展2015-多賀城- 12/19	つながる湾プロジェクト	地域の若者たちが地域文化を学び続け、誇りを持ち、内外へ向けて発信していくプラットフォームをつくるため、実践を行うチームを結成するとともに、独自の表現方法で湾域に暮らす人びとに地域の文化を伝えた。	塩竈市公民館本町分室大講堂ほか	五十嵐靖晃、青谷明日香、木村浩二、新野一浩、高倉敏明、佐藤正実、佐野美里、wool.cube.wool!	約500

## (3) 福島県

開催日	プログラム名	内容	会場	ゲスト	参加者(人)
9/1~11/16、12/7、12/24~3/3、2/10	イトナミニティプロジェクト  主催：福島県、東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 Wunder ground 協力：特定非営利活動法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会	仮設住宅から移転したばかりの復興公営住宅での継続的なプログラムの実施と、これから必要とされる方策について議論したフォーラムを実施した。	下神白復興公営住宅、もりたか屋、いわきPIT	とっくん、開発好明、北澤潤、天野和彦	687
9/19~12/16、1/6~1/11	学校連携共同ワークショップ  主催：福島県、東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 Wunder ground 企画運営：福島県立博物館	県内在住3名のアーティストが学校で、子どもたちと創作活動を行うワークショップを幼稚園から高校まで12ヶ所で実施し、すべての作品は展示も行った。	A・O・Z（アオウゼ）	アサノコウタ、佐藤香、坂内まゆ子	889
5/16~2/28	森のはこ舟アートプロジェクト2015  主催：福島県、森のはこ舟アートプロジェクト実行委員会 共催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 協賛：日本たばこ産業株式会社 助成：公益財団法人福武財団、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人野村財団 協力：文化芸術による復興推進コンソーシアム	森林文化をテーマとして、会津地域3エリアと2つの新規エリアを加えて8つのプロジェクトを展開し、広報連携を軸としたパートナーシッププログラムも実施した。	福島県喜多方市、西会津町、三島町、猪苗代町、北塩原村ほか	森 誠一、稲葉 修、五十嵐靖晃、遠藤雄幸、江頭宏昌、渡部智史、佐々木長生、貝沼航、秋葉良栄、佐藤達夫、田附勝、菅家藤一、藤井光、稲垣立男、岩間賢、村山修二郎、逢坂卓郎、館そらみ、田上豊、EAT&ART TARO、木村正晃、木村崇人、林明輝	約3,800

## 【参加者の声】

## ●とうほくこよみのよぶね

- ・5年を経過して2時46分に黙とうをして津波の時を思い出した。仕方のないことだが生き残ってしまった自分を責めた。海に浮かぶ3・11の文字をみて心が落ち着いたような気がする。(50代・男性)
- ・5回目の3月11日を迎えて毎年悲しい思いをしている。海に浮かぶ「とうほくこよみのよぶね」を見ているとあの日を思い出すが、心が和らぐ。来年も同じような思いをすることを考えると、被災者のためにもこの行事を続けて欲しい。(60代・女性)

## 40

## 東京キャラバン

## 【概要】

開催期間	平成27年10月8日（木）～10日（土）
会場	駒沢オリンピック公園 軟式野球場 特設会場
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
協力	京都造形芸術大学、ULTRA FACTORY、一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構、特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AARJapan)、特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク、有限会社 古典空間、株式会社 中川政七商店
資材協力	株式会社 エービーシー商会、手塚運輸株式会社、株式会社 乃村工藝社「マチハコ (R)」
入場者数	約1,900人

## 【事業趣旨（目的）】

劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案・呼びかけのもと、東京をはじめ日本の多種多様な芸術が集う文化発信の新しいムーブメント。東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの先導的役割を果たすリーディングプロジェクトとして始動。

2016年（平成28年）夏、オリンピック・パラリンピック大会開催中のリオデジャネイロを出発点として、国内外各地でキャラバン隊がパフォーマンスを繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を図っていく。

## 【開催状況】

野田秀樹、彫刻家・名和晃平、現代美術家・日比野克彦の呼びかけにより賛同した参加アーティスト達が、「文化とは交通である」をテーマに、6つのワークショップを行い、2016年の夏から本格始動する「東京キャラバン」の可能性を探った。最終日10日の日没後には、ワークショップの総まとめとなる「ショーケース」を開催。「交わる」「旅」「交通」といったモチーフで、現代アートや音楽、ファッションから地域に受け継がれてきた伝統文化、能楽まで新旧が交わるコラボレーションを観客に披露した。

開催日：10月8日（木）～10日（土）

10月10日（土）18:00～ワークショップ「ショーケース」

会場：駒沢オリンピック公園 軟式野球場 特設会場

入場料：無料

監修：野田秀樹（劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授）

監修補佐：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授）

美術・空間構成：名和晃平（彫刻家、京都造形芸術大学大学院教授、SANDWICH Inc. ディレクター）

プログラム・参加アーティスト：

## ①「旅立つ前夜～1964年の子ら」

松たか子（朗読）、宮沢りえ、演劇アンサンブル

※演劇アンサンブルは、以下全ての演目に参加

## ②バイオリン「交わる」三味線

編曲：大曾根浩範

バイオリン：原田真帆、阪永珠水、日吉麻優子、宮崎美里、伊藤衣里（バイオリン）、立石さくら（ヴィオラ）、下斗米恒介（チェロ）、地代所悠（コントラバス）

太鼓：金刺敬大

津軽三味線：小山豊、藤井黎元、小山慶一、小山慶宗、小山清雄

## ③ロボット「交わる」能楽師

能楽師：津村禮次郎

お囃子方：藤田流笛方 大野誠、高安流大鼓方 佃良太郎

ロボット：ムラタセイサク君（映像による出演）

## ④乗り物「交わる」乗り物

宇治野宗輝、ULTRA SANDWICH PROJECT #11、佐藤悠、Daisy Balloon  
Nomart, Inc.、藤崎了一、Luigi Honorat、WOW（映像）

⑤ファッション「交わる」地上を目指した人魚

宮沢りえ（朗読）、松たか子

ドラッグ・クイーン：ジャスミン、マダム・レジーヌ、レイチェル・ダムール、松阪牛子

モデル：麻宮彩希、HESUI、山村紘未、立花恵理

スタイリング（モデル）：林道雄

⑥祝祭へのマレビト（客人）

アイヌ舞踊：OKI、MAREWREW

金津流獅子躍：金津流梁川獅子躍、金津流伊手獅子躍、金津流野手崎獅子躍、金津流浦浜獅子躍、金津流横浜獅子躍

琉球舞踊：玉城盛義、新垣悟、嘉数道彦、佐辺良和、玉城匠（踊り手）、花城英樹、横目大哉、豊里美保（地謡）

※その他の参加アーティスト：椿昇、土井志清、バラモデル、藤元明

※クリエイティブスタッフ：青木兼治（映像）、赤松絵利（ヘアメイク）、井手茂太（振付）、服部基（照明）、原摩利彦（音楽）、ひびのこづえ（衣装）

## 【参加者の声】

- ・オリンピックに向けて日本が盛り上がっている中で、スポーツだけでなく文化にも光が当たるのは素晴らしいことだと思います。初めて三味線とバイオリンの組み合わせを聴いて感動しました。予想もできないことがめまぐるしく起こりとても楽しい時間でした。
- ・今後どこでキャラバンが行われるか楽しみにしています。今回のような「交わる」企画は面白いです。

## 41

## TURN

## 【概要】

開催期間	平成27年4月～平成28年3月
会場	都内近郊ほか
主催	東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人Art's Embrace
監修	日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授）

## 【事業趣旨（目的）】

異なる背景や習慣を持ったさまざまな人々との出会い方、つながり方に創造性を携え働きかけていくアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの先導的役割を果たすリーディングプロジェクトとして、監修に日比野克彦を迎え、平成27年度より開始。「交流プログラム」の実施や年1回の「TURNフェス」の開催、「TURNセンター（仮）」（平成28年度開始予定）を通じ、一人ひとり異なる全ての人に向けて、新たな文化的体験をつくり出すことを目指す。

## 【開催状況】

## 1 交流プログラム

アーティストが、福祉施設やコミュニティなどを継続的に訪問し、障害のある人や生きづらさを抱えた若者たち、そしてその家族や支援者と出会い、彼らの日常に少しずつ触れながら関わり合う「交流プログラム」を実施した。

実施期間：12月～3月

参加アーティスト：13人

連携拠点：10か所

## 2 TURNフェス

異なる背景や習慣をもつ一人ひとりが、「出会う」ことを楽しみ、深め、共有するフェスティバル。「交流プログラム」を通して生まれた作品の展示やパフォーマンスを行うエキシビションとともに、福祉、アート、科学等の専門家を招いたカンファレンスを開催し、「TURN」という概念を考察した。

開催期間：3月4日（金）～6日（日）

会場：東京都美術館公募展示室1階 第2・3展示室、講堂

協力：東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」

入場者数：2,544人

## (1) エキシビション

アーティストが、「交流プログラム」のプロセスで生まれたコミュニケーションや気づきをインスピレーションとし、さらに交流先施設やコミュニティの協力も得て、インスタレーション、映像、音楽、パフォーマンスなど、多様な作品を制作した。そして「交流プログラム」に参加したアーティストを中心に15組16作品を展示した。

開催期間：3月4日（金）～6日（日）

会場：東京都美術館公募展示室1階 第2・3展示室

参加アーティスト×福祉施設・コミュニティ：

- ・ EAT&ART TARO
- ・ 五十嵐靖晃×クラフト工房 La Mano
- ・ 池田晶紀、川瀬一絵×社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター
- ・ 稲葉諒×クラフト工房 La Mano
- ・ 今井さつき×シューレ大学
- ・ 大崎晴地
- ・ 角銅真実×大田区立障がい者総合サポートセンター
- ・ 北澤潤
- ・ James Jack ×ハーモニー
- ・ 富塚絵美（協力：板橋区立小茂根福祉園）
- ・ 中崎透×認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ

- ・奈良県立大学地域創造学部都市文化commons×一般財団法人たんぼぼの家
- ・柳雄斗×コミュニティセンターakta
- ・山城大督×アプローズ南青山
- ・アジア代表マッチフラッグワークショップ×工房まる

## (2) カンファレンス

「TURN」という言葉を手がかりに、多様な経験や価値観を共有する対話の場を設けた。各セッションでは、アート、福祉、教育、科学など、多彩な分野からゲストを迎え、「人」「場」「アイデンティティ」をテーマに、これからの課題を共有した。

開催期間：3月5日（土）～6日（日）

会場：東京都美術館講堂

### ・3月5日

#### 第1部「芸術による人づくりと学びの場」

出演：松下功（東京藝術大学副学長）、本郷寛（東京藝術大学大学院美術研究科美術教育教授）、日比野克彦（TURN監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部先端表現芸術科教授）

ファシリテーター：伊藤達矢（とびらプロジェクトマネージャー）

#### 第2部「人という場をつくる実践」

出演：岡部太郎（一般財団法人たんぼぼの家）、小山田徹（美術家、京都市立芸術大学美術学部教授）、奥山理子（アーツカウンシル東京TURNコーディネーター、みずのき美術館キュレーター）

ファシリテーター：稲庭彩和子（東京都美術館学芸員アートコミュニケーション担当係長）

### ・3月6日

#### 第1部「“その人らしさ”について考える」

出演：海老原周子（非営利団体新宿アートプロジェクト代表）、富樫多紀（東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野学術支援専門職員）、奥山理子（アーツカウンシル東京TURNコーディネーター、みずのき美術館キュレーター）

#### 第2部「科学と未来と、人間であること」

出演：ドミニク・チェン（情報学研究者、IT起業家、『シンギュラリティ 人工知能から超知能へ』翻訳者）、久保田翠（認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ理事長）、日比野克彦（TURN監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部先端表現芸術科教授）

## 【参加者の声】

- ・面白かった。社会福祉という公的要素が強い空間と、自由闊達なアートの空間がいい感じで融合していたように思う。展示期間をもう少し長くしてほしい。もしくは毎年開催してほしい。（50代会社員）
- ・思ったより大掛かりで、バラエティに富んでいて、とても楽しめました。その場での作品づくりも面白かったです。（40代）
- ・エア迷路が楽しかった！案内の方がフレンドリーに接してくれたのが良かった！（高校生）
- ・正直まだアートやソーシャルインクルージョンが何かはわからないけれど、表現することは誰もがもつ権利だと思った。今後また発見や気づきを得たい。（40代公務員）
- ・子どもと一緒にたくさん楽しんだ。展示や作品がゆっくり見られるのがよかった。自分で製本する作品は子ども達がとても喜んでいて。子どもの参加しているプロジェクトがあってもいい。（40代主婦）

# 42

## アーツアカデミー

### 【概要】

開催日時	平成27年4月～平成28年3月
開催場所	アーツカウンシル東京、東京芸術劇場 など
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
参加者数	計13人

### 【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

〈調査員制度〉では、芸術文化活動の評価やこれからの支援のあり方についての見識をもった人材の育成、そして、OJT型〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉（東京芸術劇場への執行委任事業）では、公立文化施設等の専門人材の育成をそれぞれ目的に実施している。

### 【開催状況】

〈調査員制度〉コースでは、「東京芸術文化創造発信助成」等における助成事業や関連事業を視察し調査レポートを作成する調査業務、有識者を招いたレクチャーやディスカッションや演習などを実施し、年度末には事業報告会を開催。

〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉コースでは、本格的な音楽、演劇・舞踊等の専用ホールおよびスタッフを有し、積極的な創造発信を行う東京芸術劇場の特性を活かし、レクチャーやゼミ、現場体験を通じて、それぞれの業務に必要な知識や技能や他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会をOJTとして提供する。研修生は、研修内容を報告書として作成する。

# Tokyo Art Research Lab

## 【概要】

開催期間 平成27年4月～平成28年3月  
 会場 アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか  
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／一般社団法人ノマドプロダクション  
 参加者数 131人

## 【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

## 【開催状況】

プログラム構成：

### （1）思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、平成26年度より「思考と技術と対話の学校」を実施。アートプロジェクト運営に欠かせない3つの基礎力（思考力、技術力、対話力）を3年かけて身に付ける「基礎プログラム」ほか、「集中講座」では広報や人、お金についてのサポートプログラムを開講した。

### ①基礎プログラム1 [思考編]、2 [技術編]

アートプロジェクトを動かすための考える力を養う [思考編] と企画をかたちにするためのスキルを身につける [技術編] を実施した。

開催期間：6月～平成28年2月（隔週日曜開催 / 全11回）

参加費：一般60,000円、学生40,000円（通期）

参加者数：49人 うち修了人数 基礎プログラム1：23人 / 基礎プログラム2：11人

スクールマネージャー：坂本有理・佐藤李青・古屋梨奈・嘉原妙（アーツカウンシル東京）、橋本誠・及位友美・坂田太郎・阿比留ひろみ（一般社団法人ノマドプロダクション）

### ●ガイダンス（基礎プログラム1、2共通）

6月28日（日）14:00～17:00

ゲスト：藤浩志（美術家 / 十和田市現代美術館館長 / 秋田公立美術大学教授）、小山田徹（アーティスト）、中崎透（美術家）

### ●基礎プログラム1 [思考編]

開催日	前半	後半
7/11	アートプロジェクト概論1	アートプロジェクト概論2
7/25	仕事を知る① ゲスト：松尾真由子（Breaker Project 事務局長）	現場に出会う① ゲスト：ヨネザワエリカ（ライター）
8/8	仕事を知る② ゲスト：佐脇三乃里（認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンターアシスタントディレクター）	思考を深める / 想像を広げる① ゲスト：手塚夏子（ダンサー / 振付家）熊谷晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター准教授 / 医師） モデレーター：大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 / 文化生態観察）
9/12	仕事を知る③ ゲスト：宮永琢生（演劇プロデューサー）	思考を深める / 想像を広げる② ゲスト：港千尋（写真家 / 著述家）、スザンヌ・ムーニー（アーティスト） モデレーター：毛利嘉孝（社会学者 / 東京藝術大学准教授）
9/26	仕事を知る④ ゲスト：長内綾子（Survivart / キュレーター）	思考を深める / 想像を広げる③ ゲスト：伊藤亜紗（美学者）、西尾佳織（劇作家 / 演出家 / 鳥公園主宰） モデレーター：石幡愛（としまアートステーション構想事務局長 / 一般社団法人オノコロ）
10/17	現場に出会う② ゲスト：杉崎栄介（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、広報ACYグループ担当リーダー、プログラム・オフィサー）	中間まとめ 現場に出会う③ ゲスト：落雅季子（劇評家 / 編集者 / BricolaQ）

開催日	前半	後半
11/7	仕事を知る⑤ ゲスト：小林瑠音（應典院アートディレクター／文化政策研究者）	思考を深める／想像を広げる④ ゲスト：EAT&ART TARO（アーティスト）、山田慎也（国立歴史民俗博物館民俗研究系准教授） モデレーター：長島確（ドラマトゥルク／翻訳家）
11/28	仕事を知る⑥ ゲスト：田中真実（NPO法人STスポット横浜地域連携事業部ディレクター／横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局長）	思考を深める／想像を広げる⑤ ゲスト：家成俊勝（建築家／京都造形芸術大学空間演出デザイン学科特任准教授）、鈴木一郎太（(株)大と小とレブ取締役） モデレーター：佐藤慎也（日本大学准教授／建築家）
12/19	仕事を知る⑦ ゲスト：新居音絵（エヌ・アンド・エー株式会社【ナンジョウアンドアソシエイツ】取締役）	思考を深める／想像を広げる⑥ ゲスト：伊藤洋志（起業家／ナリワイ代表）、現代芸術活動チーム「目め」（南川憲二／ディレクター 荒神明香／アーティスト） モデレーター：吉澤弥生（共立女子大学文芸学部准教授）
1/16	後期まとめ	後期まとめ／修了式 ゲスト：帆足亜紀（アート・コーディネーター／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー）、林暁甫（プロデューサー／林暁甫事務所 代表）

●基礎プログラム2 [技術編]

開催日	前半	後半
7/12	概論1・2：プロジェクトのはじめからおわりまで	概論3・4：プロジェクトのはじめからおわりまで
7/26	仕事を知る① ゲスト：吉澤弥生（共立女子大学文芸学部准教授）	企画をかたちにする① トークイベントをつくる（レクチャー／演習）
8/9	仕事を知る② ゲスト：上田假奈代（詩人／詩業家／NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココローム）代表）	企画をかたちにする② トークイベントをつくる（演習）
9/13	仕事を知る③ ゲスト：雨森信（大阪市立大学文学部 特任講師／Breaker Projectディレクター）	企画をかたちにする③ まちなか公演／プログラムをつくる（レクチャー／演習）
9/27	中間まとめ	企画をかたちにする④ まちなか公演／プログラムをつくる（演習）
10/18	仕事を知る④ ゲスト：帆足亜紀（アート・コーディネーター／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー）	企画をかたちにする⑤ まちなか公演／プログラムをつくる（演習／グループ成果発表）
11/29	仕事を知る⑤ ゲスト：齋藤啓（鳥の劇場 制作担当）	企画をかたちにする⑥ 拠点をつくる／つかう（レクチャー／演習）
12/20	仕事を知る⑥ ゲスト：山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト）	企画をかたちにする⑦ 拠点をつくる／つかう（演習）
1/24	仕事を知る まとめ	企画をかたちにする⑧ 拠点をつくる／つかう（演習／グループ成果発表）
2/7	後期のまとめ	後期のまとめ／修了式

\* 5/15基礎プログラム説明会を実施。（参加人数45人）

②集中プログラム「ウェブ広報集中講座」

誰でも手軽にウェブサイト上で情報発信できるからこそ見落としがちなポイントや具体例を提示しつつ、ウェブ広報の基本をおさえるプログラムを実施した。（東京アートポイント計画共催団体を対象に実施）

開催日：3月24日（木）

担当：中田一会（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー兼コミュニケーション・デザイン担当）

(2) 研究・開発

専門家との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信、アーカイブの手法をまとめた冊子やシステムの開発を行った。

①アートプロジェクトの「言葉」を編む 2015

編集者の齋藤歩氏を講師に迎え、メディア編集／制作においてもつべき視点や技術についてのレクチャーを実施。複数のスタッフと共同で報告書や記録集を制作する際に、共有すべき要点の洗い出しなどを行った。また、デジタル・アーカイブの事例について学ぶ機会を提供した。レクチャーの報告はレポートにまとめウェブサイトにて公開した。

期間：6月～平成28年3月

講師：齋藤歩（編集者／メディア・デザイン研究所）

②『幸せな現場づくり』のための研究会

「文化」「文化事業」「アート」「アートプロジェクト」の現場の環境改善および人材育成（キャパシティ・ビルディング）・キャリア形成の前提となる条件を洗い出し、文化創造基盤の充実及び担い手の専門性の向上、職域の認知向上に必要な言説とメソドロジーを提示することを目指し研究会を実施。アート・コーディネーター、プランナー、コミュニティデザイナー、会計士という専門性の異なる4人の研究会メンバーによって、現在進行形の現場の課題や可能性について議論し、その一連を記録した。また、中間報告会の実施やウェブサイトへの対談原稿全7本の掲載などを通して研究会の取組を発信した。

期 間：6月～平成28年3月

研究会メンバー：帆足亜紀（アート・コーディネーター／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー）、菊池宏子（コミュニティデザイナー／アーティスト／米国・日本クリエイティブ・エコロジー代表）、若林朋子（プロジェクト・コーディネーター、プランナー）、山内真理（公認会計士・税理士／Arts and Law代表理事）

共同研究者：大澤苑美（八戸市まちづくり文化スポーツ観光部 芸術環境創造専門員）、松尾真由子（Breaker Project 事務局長）、吉田有里（アートコーディネーター）

編 集：川村庸子（編集者）

記 録：高橋かおり（早稲田大学文学学術院助手／社会学者）

中間報告会：

『幸せな現場づくり』のための研究会 中間報告会 ～異なる立場で働く4人が伝えたいメッセージ～

日 程：平成28年1月18日（月） 19:00～21:00

会 場：アーツカウンシル東京ROOM302

参 加 費：無料

参加人数：37人

③旅するリサーチ・ラボラトリーⅡーフィールドワークと表現

アートの現場におけるフィールドワーク的実践に着目し、旅を通してリサーチやアウトプットの手法、それらにまつわる作法に関するグループリサーチを行った。移動車内の時間をフィールドワークのための考察、咀嚼の場とし、編集・制作会議を進めるのみならず、ゲストシートを設け、ゲストとともに旅をしながらロングインタビューを試みるといったリサーチの手法を提示した。アウトプットの実践としては、車内を録音スタジオに見立て、ポッドキャスト番組を録音。音源を旅中に編集し、配信するという方法を確立させた。

期 間：7月～11月 ※旅リサーチ8月23日～9月4日

企画・監修：mamoru（サウンドアーティスト）、下道基行（美術作家／写真家）

デザイン：丸山晶崇（デザイナー）

ドラマトウルグ：山崎阿弥（声のアーティスト）

アシスタントスタッフ：平石直輝、山岡由佳

④デジタルアーカイブプロジェクト2015

アートプロジェクトの持続的活動のために、日常的に活動を記録し、残すためのアーカイブ・システムの開発に取り組んだ。分散しているデータを簡単に一元管理する方法として、既に各団体が導入しているクラウドシステムのデータをフック（Hook）という仕組みを使い、データのインデックス化を行い、一括検索できるサービス「アーカイブ・サービスβ版」を考案した。

期 間：6月～8月（リサーチ）、9月～平成28年2月（システム開発）、平成28年3月頃（システムプロトタイプ発表）

監修・開発：須之内元洋（札幌市立大学デザイン学部助教）

共同開発：川名宏和（デザイナー／エンジニア）

コーディネーター：熊谷薫（デジタルアーカイブ・コーディネーター／アートマネージャー）

⑤日本型アートプロジェクトの歴史と現在についての情報発信研究

「日本型アートプロジェクトの歴史と現在1990年→2012年」（25年度発行）に収録されたエッセンスを広く国内外に発信することを目指し、研究者や翻訳者で構成された専門家チームによる定期的な研究会を実施。日本型アートプロジェクトを紹介する冊子を日英2ヶ国語で発行した。英語版冊子の制作においては、アートプロジェクトの紹介

を英訳することで発生する課題を洗い出しながら、英語圏にも伝わる表現を構築した。

期間：6月～平成28年3月

#### ⑥ P+ARCHIVE

「地域・社会に関わるアート」に関心のある市民や学生、研究者が情報収集をおこなうことができるアート・アーカイブを構築・公開する「P+ARCHIVEセンター」の運営と、アーカイブするために役立つアプローチや手法を紹介した入門書「アート・アーカイブの便利帖」を制作した。

開館日：木曜、金曜 13:00～18:00

休館日：年末年始、祝日 ※資料整理等で臨時休館する場合があります

会場：アーツカウンシル東京 ROOM302（アーツ千代田3331 3F）

利用料：無料

対象：「地域・社会に関わるアート」に関心のある市民や学生、研究者や実践者、アート・アーカイブに興味のある方

企画運営：NPO法人アート&ソサイエティ研究センター

(3) 「思考と技術と対話の学校」他のプログラムの企画協力・運営

#### ● TERA English

一般社団法人Ongoingが共催する全28回の講座運営協力（広報協力）を行った。

### 【参加者の声】

#### ● 「思考と技術と対話の学校」基礎プログラム1 思考編

・ これまでは、実施することに精一杯で、何をどうやっていいのかわからなかったんだと思います。これからは、“自分の思い”を入れたプロジェクトをやっていきたいです。

#### ● 「思考と技術と対話の学校」基礎プログラム2 技術編

・ 放課後の話し合いも多く、点ではなくて線として、ずっと考え続けている感じがありました。現在同世代の仲間と、地域とアートの関係性を「アートプロジェクト」という言葉を外してリサーチすることを始めています。春から社会人になりますが、これをライフワークにしたいと思っています。

#### ● 『幸せな現場づくり』のための研究会 中間報告会

・ 学芸員をめざし、地方から東京の大学に出て、大学院に行って、そして今就職を目前にもものすごく大きな不安を抱えている。今までは「やりたいことをやるためならば我慢」とどこかあきらめの心境でいたが、アートシーンで働くことをこんなにも熱く考える場に参加できたことに感謝しています。

・ 昔の行政よりだいぶ理解し合える環境になって来ていると現場では実感するが、やはりコーディネーターという職種が「専門職」であるという認識がクライアント＝行政には、まだまだ薄いと切実に感じる。働き方について考えさせられました。

## 44

アーツカウンシル・フォーラム  
(オープンフォーラム2016「アート、テクノロジー、市民社会」)

## 【概要】

開催日時	平成28年2月27日(土)
開催場所	アーツカウンシル東京 会議室
主催	アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
参加者数	71人

## 【事業趣旨(目的)】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

## 【開催状況】

都市の社会学を専門とする吉見俊哉の基調講演により、近代の東京を形成してきた文化拠点や市民のコミュニティの可能性について展望した。また、アジア各都市の現場でアートを通じた市民プロジェクトの実践を行っているパネリストたちを迎えてディスカッションを行い、多様な分野から市民が集い、アートの発想でまちを変えるアイデアを生み出す活動について、各都市における広がり可能性、課題を考える場となった。

## 基調講演

吉見俊哉 [東京大学大学院情報学環教授]

## パネルディスカッション

鷺尾和彦 [株式会社博報堂 クリエイティブ戦略企画室 クリエイティブプロデューサー、FUTURE CATALYSTS (Hakuhodo × Ars Electronica) プロジェクトリーダー]

ジェイソン・スー [Shareable Cities & TEDxTaipei キュレーター、MakerBar 共同設立者/台湾]

ヴェンザ・クリスト [メディアアーティスト、HONF ファンデーションディレクター/インドネシア]

森まゆみ [作家・編集者、東京大学客員教授]

## モデレーター

若林朋子 [プロジェクト・コーディネーター、プランナー]

# 45

## 企画戦略事業

### 【概要・事業趣旨（目的）】

東京の芸術文化環境を向上させるため、様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信する。

### 【開催状況】

音楽、演劇、舞踊、美術・映像および伝統芸能分野を中心とした事業視察や調査、主催によるパイロット事業や各芸術文化団体との共催事業等および小冊子「オリンピック・パラリンピック文化プログラム概説」の企画・制作を実施した。

#### (1) タニノクロウ バブリックトーク～ドイツ公立劇場でのレパートリー作品の制作をめぐって～

開催日時 6月5日（金）  
 開催場所 アーツカウンシル東京  
 主 催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 合同会社アルシュ  
 参加者数 48人

#### (2) フォーラム「障害のある人の文化芸術活動と、これからの社会」ーロンドン2012から東京、その先の未来へー

開催日時 6月17日（水）  
 開催場所 国立新美術館  
 主 催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、厚生労働省、独立行政法人国際交流基金、ブリティッシュ・カウンシル、文化庁（五十音順）  
 協 力 国立新美術館  
 参加者数 200人

#### (3) 文化経済学会〈日本〉2015年度研究大会シンポジウム

「五輪文化プログラムの社会的な意義と役割——ロンドン2012の実績と東京2020への展望」

開催日時 7月4日（土）  
 開催場所 駒澤大学駒沢キャンパス  
 主 催 文化経済学会  
 共 催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 ブリティッシュ・カウンシル  
 参加者数 400人

#### (4) 実演とお話による伝統芸能パースペクティヴ<第3回>「庭を読む<六義園>」ー 景色とうつろひ・「和歌の宇宙」に遊ぶー

開催日時 11月9日（月）  
 開催場所 東洋文庫2階 講演室、六義園  
 主 催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 後 援 公益財団法人東京都公園協会  
 協 力 公益財団法人東洋文庫  
 参加者数 77人

#### (5) フォーラム&ワークショップ「音楽がヒラク未来～明日のワークショップを考える～」

開催日時 3月25日（金）、26日（土）  
 開催場所 東京芸術劇場  
 主 催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 共 催 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 協 力 ヤマハ株式会社  
 参加者数 100人

## 広報活動

### 【概要・事業趣旨（目的）】

アーツカウンシル東京の個別事業に関する広報を個々の実施団体が中心となって行っている一方で、アーツカウンシル東京として統一のイメージを構築し、発信力を強化するため、メディアをはじめ一般に認知を広めることを目的とした広報活動を行っている。

具体的には、プレスリリースの発行に加え、媒体各社を訪問して記者との対話の中から記事化を目指すキャラバン活動やメディアの方々とアーツカウンシル東京事業についての意見交換を行う記者懇談会の開催など、様々な手法によるパブリシティ活動を中心としている。また、適宜媒体を選択してタイアップ記事も展開している。さらに、広報紙「TOKYO PAPER for Culture」やラジオ番組、ウェブサイト、SNSなど独自媒体を持ちコンスタントに情報発信を行っている。

#### ●公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/>      <https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

平成27年4月に事業を再編し、組織統合したことにより、より使いやすいウェブサイトを目指し、公式ウェブサイトを一新。トップページ上で最新のニュースがひと目でわかるようにニュース欄を目立たせる工夫を行った。また、ユーザーが必要とする情報にいち早くアクセスできるようデザイン上も分かりやすさを重視して使い勝手の向上に努めた。さらに、アーツカウンシル東京が主催するプログラムにライターが出向き、現場をレポートするブログのほか、カウンシルボード委員が執筆するアカデミックなコラムにより、ユーザーの興味、関心の喚起に努めた。また、広報紙である「TOKYO PAPER for Culture」がウェブでも楽しめるように第十二号からはウェブマガジン化を実現した。

#### ●SNS（Facebook、Twitter）

アーツカウンシル東京の公式FacebookおよびTwitterアカウントから様々な情報を写真も交えて随時発信した。

	登録者数（人）
Facebook（「いいね」）	5,898
Twitter（フォロワー）	5,698

※平成28年3月31日現在

#### ●メールニュース

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、9月より月2回メールニュース（日英バイリンガル）の配信を開始した。

配信者数 390人

※平成28年3月31日現在

#### ●事業案内パンフレット（日英併記）

日本語／英語併記版5,000部

アーツカウンシル東京の設立趣旨や位置づけ、事業体系を広くPRするために日本語と英語を併記したパンフレットを作成し、都内文化施設等で配布した。

#### ●PR活動

「組織統合に関するお知らせ」、「年間ラインアップ発表」、「2020東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに向けた『リーディング・プロジェクト』実施のご案内」、「助成の公募、採択情報」など計23本のプレスリリースを日本語（19本）、英語（4本）で発行し、国内外に配信すると同時にメディアキャラバンを展開した。また、記者懇談会を開催するなど、アーツカウンシル東京の浸透を図り取材誘致やパブリシティ獲得へと繋げた。また、首都圏の芸術文化団体の広報担当を主な対象者とした研修・情報交換の場として、芸術文化団体広報ネットワーク会を立ち上げた。

#### 【記者懇談会】

平成27年4月に事業を再編・組織統合し、東京の文化政策の目標実現において一翼を担う新「アーツカウンシル東京」に対する理解・共感を深めていただくことを目的に、記者懇談会を開催。東京2020オリンピック・パラリンピック



媒体7件

ジャンル	日付	媒体	言語	内容
雑誌・フリーペーパー	10-12月配布号	Time Out Tokyo マガジン第8号	英	1/8P4C東京大茶会2015情報掲載 1/2P4Cフェスティバル/トーキョー15情報掲載 1/2P4C東京アートミーティングVI情報掲載 1P4C編集タイアップ掲載 ※WEBサイトでも同記事掲載
	4月号	&Premium	日	4P4C 編集タイアップ掲載 (TURN)
	12月号	TOUR KOREA (韓国)	韓	4P4C 編集タイアップ掲載 (東京大茶会2015 ほか)
	8月号~3月号	TRAVELER Luxe (台湾)	中	1/4P4C コラム掲載 (東京の演劇祭、東京のアートプロジェクト、東京の伝統芸能 ほか)
WEB	10/16~	The Huffington Post Japan	日	編集タイアップ掲載 (アンサンブルズ東京 大友良英インタビュー)
	4/1~3/31 (英: 4/1~9/30、 1/15~3/31)	GO TOKYO	日・英	バナー広告
	8月末~	Time Out Tokyo ウェブサイト	日・英	東京、アートな秋を過ごす20のこと 編集タイアップ掲載

【ラジオ放送実績】

アーツカウンシル東京の各事業のPRを通して、アーツカウンシル東京を戦略的かつ積極的に発信し、広く周知することを目的に、25年度より開始したラジオ情報番組「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」。リスナーからも好評であったため、1年間番組提供し、リスナーの興味、参加意欲の向上に努めた。また、今年度から、アーツカウンシル東京の取り組みについて外国人を対象に積極的かつ定期的に発信し、ブランドイメージの浸透を図ることを目的として、インターネットラジオチャンネルTOKYO FM WORLDにて、英語番組「TOKYO ART BLOOM」の配信を行った。東京に暮らし文化・芸術分野で活躍する外国人の方などを招いたゲストトークと、アーツカウンシル東京が展開する事業の紹介により構成。広く世界各国のリスナーへ情報発信することができた。

(1) J-WAVE 「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」

平成27年度 アーツカウンシル東京提供ラジオ番組 J-WAVE 「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」放送実績 (毎週土曜日/午前11時35分ごろから10分間放送)

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
1	4/4	東京文化発信プロジェクト室とアーツカウンシル東京の組織統合、今後の取り組みについて		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
2	4/11	TACT/FESTIVAL 2015		前田圭蔵 (東京芸術劇場広報担当係長)
3	4/18	六本木アートナイト2015		日比野克彦 (アーティスト)
4	4/25	六本木アートナイト2015		齋藤精一 (メディアアートディレクター)
5	5/2	オリンピックの文化プログラムについて		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
6	5/9	Tokyo Art Research Lab	思考と技術と対話の学校 説明会	佐藤李青 (アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画プログラムオフィサー)
7	5/16	TERATOTERA	TERAKKO 募集	小川希 (TERATOTERA チーフディレクター)
8	5/23	Music Program TOKYO	オペラをつくろう!	里神大輔 (東京文化会館事業企画課事業係)
9	5/30	Museum Start あいうえの	キュッパ部	稲庭彩和子 (東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長)
10	6/6	アーツカウンシル東京の芸術文化支援事業について		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
11	6/13	Music Program TOKYO	小曽根真×ブランフォード・マルサリス "Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団	小曽根真 (ピアニスト)
12	6/20	キッズ伝統芸能体験		神令 (尺八奏者)
13	6/27	芸劇セレクション	障子の国のティンカーベル	穂谷友子 (女優)
14	7/4	TOKYO PAPER for Culture vol.9		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
15	7/11	TOKYO FABBERS	FABBERS' ACTION PROJECT	金岡大輝 (FabCafe Tokyo)、杉原彩子 (HappyPriners HARAJUKU)、西田拓志 (coromoza)
16	7/18	アンサンブルズ東京		大友良英 (音楽家)
17	7/25	三原色 (ミハライロ)		千葉れみ (ミハライロ事務局長)
18	8/1	盆踊りとアートの幸せな関係		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
19	8/8	キネコ国際映画祭2015		戸田恵子 (女優)

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
20	8/15	としまアートステーション構想	アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口	稲継美保、山崎朋 (居間theater)
21	8/22	東京迂回路研究	東京迂回路研究フォーラム「対話は可能か？」	長津結一郎、井尻貴子 (NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所)
22	8/29	リライトプロジェクト	Relight Session Vol.1、Relight Committeeメンバー募集	宮島達男 (現代美術家)、林曉甫 (NPO法人インビジュアル代表理事)
23	9/5	アンサンブルズ東京	当日の振り返り	森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
24	9/12	古典芸能の祭典 アジアの記憶 日本の宝		原正隆 (プロデューサー)
25	9/19	東京スーパとブランケット紀行	対談紀行 2015年秋篇～転がしたり、迷ったり、眺めたり、そして、東京と話したい。～	羊屋白玉 (演出家・劇作家)
26	9/26	芸劇セレクション	カントール生誕100年記念 カントールと演劇の二十世紀	前田圭蔵 (東京芸術劇場広報担当係長)
27	10/3	秋のトーキョーカルチャー見どころよりどころ		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
28	10/10	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住2015 足立市場」	大巻伸嗣 (現代美術家)
29	10/17	フェスティバル/トーキョー15		小島寛大 (フェスティバル/トーキョー15 副ディレクター)
30	10/24	芸劇セレクション	書を捨てよ町へ出よう	村上虹郎 (俳優)
31	10/31	トッピングイースト	和田永「エレクトロニクス・ファンタスティクス！」～初合奏遭遇篇～	和田永 (アーティスト)
32	11/7	ストリートカルチャー		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
33	11/14	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2015		鶴賀若狭掾 (新内節人間国宝)、日置圭子 (企画)
34	11/21	Shibuya StreetDance Week 2015		三浦大知 (ミュージシャン)、森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
35	11/28	江戸糸あやつり人形の世界 ～女形人形の美～		十二代目 結城孫三郎
36	12/5	アーツカウンシル東京の新規助成プログラムについて		佐藤道元 (アーツカウンシル東京企画助成課企画係長)
37	12/12	日本美と伝統芸能の饗宴「FUJIYAMA」		藤間勘十郎 (日本舞踊家、宗家藤間流八世宗家)
38	12/19	Music Program TOKYO	プラチナ・シリーズ 第5回	荘村清志 (ギタリスト)
39	12/26	東京アートミーティングVI "TOKYO" 見えない都市を見せる		長谷川祐子 (東京都現代美術館チーフキュレーター)
40	1/2	アート詣	都立文化施設のお正月開館情報	浅野五月 (アーツカウンシル東京広報担当係長)
41	1/9	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	千住・縁レジデンス	久保ガエタン (アーティスト)、友政麻理子 (アーティスト)
42	1/16	上野「文化の杜」新構想	UENO WELCOME PASSPORT	茅野雅弘 (上野「文化の杜」新構想実行委員会事務局)
43	1/23	Art Bridge Institute	BRIDGE STORY ラウンドテーブル 2015→2016	港千尋 (写真家、Art Bridge Institute ディレクター)
44	1/30	第8回恵比寿映像祭		佐々木有美+ドリタ
45	2/6	メディアアート		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
46	2/13	キッズ伝統芸能体験	発表会	芳村伊十治郎 (長唄三味線方)
47	2/20	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第3弾：タイ調査篇 レクチャー&コンサート「熱タイ音楽隊の一週間」	小日山拓也、能見ゆう子、石橋鼓太郎 (熱タイ音楽隊メンバー)
48	2/27	TURN	TURN フェス	奥山理子 (TURN コーディネーター、みずのき美術館キュレーター)
49	3/5	リライトプロジェクト	Relight Days	菊池宏子 (アーティスト、コミュニティデザイナー)、青山裕美 (Relight Committee メンバー)
50	3/12	パフォーマンスキッズ・トーキョー	ね、つむご。わ、つなご。ーキッズ つむぎねパフォーマンスー	宮内康乃 (作曲家)
51	3/19	アートの「サードプレイス」		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
52	3/26	Music Program TOKYO	プラチナ・シリーズ	里神大輔 (東京文化会館事業企画課事業係)

(2) TOKYO FM WORLD 「TOKYO ART BLOOM」

	配信日	トークゲスト	紹介事業名
第1回	11/30	Lucas B.B. (クリエイティブディレクター、編集人)	外国人向け伝統文化体験プログラム (日本舞踊、長唄三味線、演芸)

	配信日	トークゲスト	紹介事業名
第2回	1/25	Mike Kubeck (SuperDeluxe エグゼクティブプロデューサー/ディレクター)	第8回恵比寿映像祭
第3回	3/1	Mark Dytham (建築家)	TURN フェス
第4回	3/28	Joseph Tame (パフォーマンス・アーティスト、講演者(スピーカー)、コンサルタント、発明家 ほか)	東京アートポイント計画 (TERATOTERA、アートアクセスあだち 音まち千住の縁、ミハライロ)

【THE TOKYO ART BOOK FAIR 2015 出展】

アジア最大規模のアートブックフェアである「THE TOKYO ART BOOK FAIR 2015」において、アーツカウンシル東京のブースを出展し、広報紙「TOKYO PAPER for Culture」のバックナンバーや東京アートポイント計画の成果物等を配布した。3日間のフェア期間中、約15,000人が来場し、海外からの来場者も多かったことから、国内外問わず幅広い層にアピールすることができた。



編集…アーツカウンシル東京  
制作 / 印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8 階  
T E L : 03-6256-8430  
F A X : 03-6256-8827  
M A I L : [info@artscouncil-tokyo.jp](mailto:info@artscouncil-tokyo.jp)  
U R L : [www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)



ARTS COUNCIL TOKYO

**公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京**

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8階

TEL:03-6256-8430 FAX:03-6256-8827

[www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)